

官報

號外

大正六年七月八日

日曜日

印刷局

第三十九回 帝國議會 衆議院議事速記録第七號

大正六年七月七日(土曜日)午前十時十九分開議

議事日程 第六號 大正六年七月七日

午前十時開議

第一 大正四年年度豫備金支出ノ件
大正四年年度特別會計豫備金支出ノ件
大正四年年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件
(承諾ヲ求ムル件)

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 阿片法中改正法律案(政府提出)

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第五 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第七 農工銀行法中改正法律案(政府提出)

第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第九 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)

第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十一 産業組合法中改正法律案(政府提出)

第十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十三 工業所有權戰時法案(政府提出)

第十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十五 銃砲火藥類取締法中改正法律案(政府提出)

第十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十七 裁判所ノ設立ニ關スル法律案(政府提出)

第十八 大正二年法律第九號中改正法律案(政府提出)

第十九 北海道拓殖鐵道建設費利子支出ニ關スル法律案(政府提出)

第二十 輕便鐵道補助法中改正法律案(政府提出)

第二十一 軍事救護法案(政府提出)

第二十二 軍人恩給法中改正法律案(政府提出)

第二十三 大正五年法律第四號中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第二十四 電話事業公債法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十五 朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十六 朝鮮鐵道用品資金會計法廢止法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十七 東京帝國大學及京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十八 京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十九 學校及圖書館特別會計資金ノ一部ヲ一般會計ニ繰入ルル件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第三十 農業倉庫業法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第三十一 戰時海上再保險法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第三十二 (第一號)大正六年度歲入歲出總豫算追加案(委員長報告)

第三十三 (特第二號)大正六年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(委員長報告)

第三十四 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スル要スル件(委員長報告)

第三十五 (第二號)大正六年度歲入歲出總豫算追加案(委員長報告)

第三十六 (第三號)大正六年度歲入歲出總豫算追加案(委員長報告)

第三十七 臨時軍事費豫算追加案(委員長報告)

第三十八 (特第二號)大正六年度特別會計歲入歲出豫算追加案(委員長報告)

第三十九 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スル要スル件(委員長報告)

第四十 (第四號)大正六年度歲入歲出總豫算追加案(委員長報告)

第四十一 (特第三號)大正六年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(委員長報告)

第四十二 通行稅法中改正法律案(高木益太郎君提出) 第一讀會

第四十三 東方調查局設置ニ關スル建議案(伊東知也君提出)

第四十四 單科大學令發布ニ關スル建議案(八木逸郎君提出)

○議長(大岡育造君) 諸般ノ報告ヲ命ジマス

(書記朗讀)

一 貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ

銃砲火藥類取締法中改正法律案

工業所有權戰時法案

第三 阿片法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

阿片法中改正法律案

阿片法中左ノ通改正ス

第二條中「毎年十二月二十日迄ニテ」地方長官ノ定ムル期日迄ニ毎年ニ改ム

第三條中「醫藥用品」ヲ下ニ「及製藥用品」ヲ加フ

第四條中「阿片ノ價格」ヲ「醫藥用阿片ノ價格」ニ改ム

第五條第六條及第七條中「阿片」ヲ「醫藥用阿片」ニ改ム

第八條ノ二 製藥用阿片ノ賣下ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第九條中「百圓以上五百圓以下ノ罰金」ヲ「五百圓以下ノ罰金」ニ改ム

第十一條中「三十圓以上三百圓以下ノ罰金」ヲ「三百圓以下ノ罰金」ニ改ム

第十二條中「十圓以上百圓以下ノ罰金」ヲ「百圓以下ノ罰金」ニ改ム

第十二條ノ二 藥品營業者又ハ阿片製造人未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ適用スル罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十二條ノ三 藥品營業者又ハ阿片製造人ハ其ノ代理人戸主家族同居者雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違背シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免カルルコトヲ得ス

第十二條ノ四 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ適用ス

第十三條中「阿片卸賣人」ヲ「醫藥用阿片卸賣人」ニ改ム

(國務大臣男爵後藤新平君)

○國務大臣(男爵後藤新平君) 茲ニ提出ニナリマシタ 阿片法中改正法律案ニ對シテ、提出ノ理由ヲ簡單ニ申述セマス、此改正案ハ醫藥用阿片ノ拂下ニ限リテ居リマシタ所ノモノヲ製藥用阿片ノ拂下ニ對シテ、新シイ制度ヲ設ケタイト云フコトガ一つ、次ニ納付ノ期限ヲ改メタイト云フコトガ一つ、次ニ未成年者法人ニ關スル罰則ヲ設ケタイト云フコトガ一つ、此三ツノ改正アリマスガ、製藥用阿片ノ拂下ニ限リテ居リマシタマデ無イ爲メニ、此戰時ニ對シテ製藥用ノ諸般ノ變遷ニ對シマシテ差支ガ起ツテ居リマスカラ、此制ヲ設ケナケレバナラヌヤウニナリマシタ、更ニ賣下ノ途ヲ開カントスルノデアリマス、又納付期限ハ從來長イ期限阿片製造人ノ手許ニアルガ爲ニ却テ犯罪ニ便ナルコト、或ハ他ノ不正行為ヲ醸スノ憂ガアリマスカラ、此期限ヲ改メタイト云フコト、次ハ罰則ノ改正デアリマス、御審議ノ上協賛ヲ與ヘラレントラ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 日程第四、右議案、審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第四 右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 本案ハ九名ノ委員ニ議長指名テ付託セレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハ御坐イマセヌカ

(「異議ナシ」與議ナシノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ケレバ恆松君動議ノ如ク決シマシタ、日程第五、第七、第九ノ議案ハ同種ノ議案ニシテ且ツ提出者同一ナルニ依リ、一括シテ議題ト爲スニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」與議ナシノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ケレバ第五日本勸業銀行法中改正法律案、第七農工銀行法中改正法律案、第九北海道拓殖銀行法中改正法律案、右ヲ一括シテ議題ト爲シ、此第一讀會ヲ開キマス——大藏大臣

第五 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

日本勸業銀行法中改正法律案

日本勸業銀行法中左ノ通改正ス

第三十二條ニ左ノ一號ヲ加フ

三 產業組合又ハ其ノ聯合會ニ對シ手形ノ割引又ハ當座預金貸越ヲ爲ス

第三十四條中「年賦償還貸付金總高」ノ下ニ「定期償還貸付金總高」ヲ加フ

第七 農工銀行法中改正法律案

農工銀行法中左ノ通改正ス

第二十三條ニ左ノ一號ヲ加フ

三 產業組合又ハ其ノ聯合會ニ對シ手形ノ割引又ハ當座預金貸越ヲ爲ス

第二十六條中「控除シタル金額」ノ下ニ「及定期償還貸付金總高」ヲ加フ

第九 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

北海道拓殖銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中左ノ通改正ス

第十二條中年賦償還貸付金總高ノ下ニ「及定期償還貸付金總高」ヲ加フ

(國務大臣勝田主計君登壇)

○國務大臣(勝田主計君) 唯今提案ニナッテ居リマスル二案ハ、御承知ノ如ク產業組合法ヲ改正致シマシタ、產業組合中ノ信用組合デアリマスガ、信用組合ノ活動ノ區域ヲ擴張マシタ、商農工業ニ向ッテ利便ヲ與ヘルコトニナッテ居リマス、之ニ關聯致シマスル所ノ勸業銀行、農工銀行及北海道拓殖銀行ノ條件ノ改正ヲ詰リ提出致シマシタ、其要旨ハ信用組合ニ向ヒマシテ手形ノ割引ヲ致シマス、或ハ當座預金ノ貸越ヲ致シマス、カ云フコトヲ一面ニ於テ致シマス、又他面ニ於テマシテハ之ニ要シマスル資本ヲ豐富ニ致シマス、從來是等ノ銀行ニ於テ債券ヲ發行致シマスル場合ニハ、年賦償還貸付金見返トナッテ居リマシタ、之ニ定期償還貸付金ノモノモ亦見返ト致シテ債券ヲ發行シテ、成ルベク資金ノ豐富ヲ計ル、斯様ナ事ガ本案ノ精神ヲ御坐イマス、ドウカ御審議ノ上協賛ヲ與ヘラレントラ切望致シマス

○議長(大岡育造君) 右三案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 此三案ヲ付託スベキ委員ノ數ハ十八名トシ、議長指名アラントラ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハ御坐イマセヌカ

(「異議ナシ」與議ナシノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ケレバ恆松君動議ノ如ク決シマシタ、日程第五、第七、第九ノ議案ハ同種ノ議案ニシテ且ツ提出者同一ナルニ依リ、一括シテ議題ト爲スニ御異議ハアリマセヌカ

官報號外 大正六年七月八日 衆議院議事速記第七號

阿片法中改正法律案 第一讀會 後藤新平君提出 貴族院送付

日本勸業銀行法中改正法律案 第一讀會 勝田主計君提出 貴族院送付

農工銀行法中改正法律案 第一讀會 勝田主計君提出 貴族院送付

北海道拓殖銀行法中改正法律案 第一讀會 勝田主計君提出 貴族院送付

一五

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」異議ナシ)ノ聲起ル

○議長(大岡育造君) 御異議が無ケレバ恆松君動議ノ如ク決シマシタ、日程第一、産業組合法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、仲小路農商務大臣

第十一 産業組合法中改正法律案(政府提出貴族院 第一讀會 送付)

産業組合法中改正法律案

産業組合法中左ノ通改正ス

第一條中「物ヲ使用」ヲ「設備ヲ利用」ニ改メ同條ニ左ノ四項ヲ加フ
信用組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ對シ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者ノ公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得

市又ハ主務大臣ノ指定スル市街地カ組合ノ區域ニ屬スル信用組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ對シ其ノ產業若ハ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ノ爲手形ノ割引ヲ爲シ又ハ前二項ノ貯金ノ外組合ノ區域内ニ居住スル組合員外ノ者ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル貯金ハ有限責任組合ニ在リテハ出資總額及準備金其ノ他ノ積立金ノ額ノ合計ノ保證責任組合ニ在リテハ之ニ保證金額ヲ加ヘタル合計ノ無限責任組合ニ在リテハ出資總額ノ五倍及準備金其ノ他ノ積立金ノ額ノ合計ヲ超エ之ヲ受入ルコトヲ得ス

第四項ノ規定ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合ハ第一項第二號乃至第四號ノ事業ヲ兼ヌルコトヲ得ス

第九條第一項中第三號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ
三ノ二 區域

同條第二項ヲ左ノ如ク改ム
信用組合ノ區域ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外市町村ノ區域内ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第十一條ニ左ノ一項ヲ加フ
出資一口ノ金額ノ最高限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條及第十四條中「二週間内ニ」ヲ削ル

第十五條 行政區劃又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ登記簿ノ記載ハ變更セラレタルモノト看做ス但シ其ノ記載ヲ更正スルコトヲ妨ケス

第十五條ノ二ヲ削ル

第十六條 民法第四十五條第二項、第三項及第四十八條ノ規定ハ期間ヲ除クノ外産業組合ニ之ヲ準用ス

第十六條ノ二 第十二條ノ拂込アリタルトキハ組合ハ二週間内ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出テ同時ニ組合原簿ヲ提出スヘシ

前項ノ規定ニ依リ届出及提出アリタルトキハ地方長官ハ遲滞ナク各事務所所在地ノ登記所ニ設立ノ登記ヲ囑託シ且主タル事務所所在地ノ登記所ニ組合原簿ヲ送付スヘシ

第十六條ノ三 第十四條第一項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ組合ハ二週間内ニ變更ノ登記ヲ爲スヘキ事項ヲ地方長官ニ届出ツヘシ但

シ登記ノ事由カ地方長官ノ認可其ノ他ノ處分ニ因リテ生シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リ届出アリタルトキハ地方長官ハ遲滞ナク各事務所所在地ノ登記所ニ登記ヲ囑託ヲ爲スヘシ前項但書ノ場合亦同シ

第十六條ノ四 組合ハ主タル事務所ノ移轉又ハ組織變更ノ登記ニ關スル届出ヲ爲スト同時ニ組合原簿ヲ地方長官ニ提出スヘシ但シ同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

地方長官ハ主タル事務所所在地ノ登記所ニ前項ノ登記ヲ囑託スルト同時ニ組合原簿ヲ送付スヘシ

第十六條ノ五 組合原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一 出資ノ總口數
二 拂込ミタル出資ノ總額
三 無限責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所
四 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所及保證金額
登記所ノ受理シタル組合原簿ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其ノ記載ハ之ヲ登記ト看做ス

シ登記ノ事由カ地方長官ノ認可其ノ他ノ處分ニ因リテ生シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リ届出アリタルトキハ地方長官ハ遲滞ナク各事務所所在地ノ登記所ニ登記ヲ囑託ヲ爲スヘシ前項但書ノ場合亦同シ

第十六條ノ四 組合ハ主タル事務所ノ移轉又ハ組織變更ノ登記ニ關スル届出ヲ爲スト同時ニ組合原簿ヲ地方長官ニ提出スヘシ但シ同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

地方長官ハ主タル事務所所在地ノ登記所ニ前項ノ登記ヲ囑託スルト同時ニ組合原簿ヲ送付スヘシ

第十六條ノ五 組合原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一 出資ノ總口數
二 拂込ミタル出資ノ總額
三 無限責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所
四 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所及保證金額
登記所ノ受理シタル組合原簿ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其ノ記載ハ之ヲ登記ト看做ス

第十四條第二項及第十五條ノ規定ハ組合原簿ニ之ヲ準用ス

第十六條ノ六 第十六條ノ三ノ規定ハ組合原簿ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタル場合ニ之ヲ準用ス但シ前條第一項第一號及第二號ニ掲ケタル事項竝組合員ノ氏名及住所ニ付テハ變更ノ生シタル事業年度ノ終ヨリ二週間内ニ届出ヲ爲スヲ以テ足ル

組合員ノ加入ノ場合ニ於テハ無限責任組合ニ在リテハ加入者ノ氏名及住所ヲ、保證責任組合ニ在リテハ加入者ノ氏名住所及保證金額ヲ記載シタル組合原簿ヲ加入ノ日ヨリ二週間内ニ地方長官ニ提出シ地方長官ハ遲滞ナク之ヲ主タル事務所所在地ノ登記所ニ送付スヘシ

第十七條第二項中「十口」ヲ「二十口」ニ改メ同項ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ五十口迄之ヲ増加スルコトヲ得

第二十五條中「定ムルコトヲ得」ヲ「定ムヘシ」ニ改ム

第三十一條ノ二 産業組合カ其ノ組合員ニ對シテ爲ス通知又ハ催告ハ組合員名簿ニ記載シタル組合員ノ住所又ハ其ノ者カ組合ニ通知シタル住所ニ宛ツルヲ以テ足ル

前項ノ通知又ハ催告ハ通常其ノ到達スヘカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス

第四十條中催告スヘシ「ヲ」定款ノ定ムル方法ニ從ヒテ公告シ且知レタル債權者ニ各別ニ之ヲ催告スヘシニ改ム

第四十六條ノ二 信用組合ハ第一條第四項ノ規定ニ依リ貯金ノ總額ノ四分ノ一以上ノ金額ヲ拂戻準備金トシテ勅令ノ定ムル所ニ依リ管理スヘシ

前項ノ金額ハ事業年度ニ從ヒ毎六箇月末日現在ノ貯金總額ニ依リ之ヲ定ム

第一條第四項ノ規定ニ依リ貯金ヲ爲シタル者ハ第一項ノ拂戻準備金ノ上ニ先取特權ヲ有ス

一一七

同條第一號ヲ左ノ如ク改ム

一 本法ニ定メタル届出若ハ組合原簿ノ提出ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ届出ヲ爲シ若ハ組合原簿ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

同條第四號ヲ左ノ如ク改ム
四 第一條第五項第四十三條、第四十五條乃至第四十六條ノ二、第四十八條又ハ第七十二條ノ規定ニ違背シタルトキ

同條ニ左ノ二號ヲ加フ
十 第四十條又ハ第四十一條ノ規定ニ違背シテ出資一口ノ金額若ハ組合員ノ保證金額ヲ減少シ、第五十八條ノ規定ニ依ル責任期間ノ短縮ヲ爲シ又ハ組合ノ合併若ハ組織變更ヲ爲シタルトキ

十一 法令又ハ定款ニ違背シテ剩餘金ヲ處分シタルトキ
第九十八條 登記ノ囑託ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

囑託書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一 産業組合、産業組合聯合會又ハ産業組合中央會ノ名稱及事務所

二 登記ノ目的及事由

三 年月日

四 登記所ノ表示

第九十九條 設立登記ノ囑託書ニハ定款及届書ヲ添附シ其ノ他ノ登記ノ囑託書ニハ届出ニ因ル場合ニ於テハ届書ヲ添附スヘシ

第一百條 削除

第一百條 削除

第一百條 削除

第一百條 削除

第一百條 削除

第一百條 削除

第一百條 削除

第一百條 削除

第一百條 削除

第一百條 削除

第六百六條中「沖繩縣ノ區ニ於テハ區長」ヲ削ル
第六百七條ヲ削ル

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前ニ登記シタル産業組合及産業組合聯合會ニシテ定款ニ區域ノ定アルモノニ付テハ地方長官ハ本法施行ノ日ヨリ三月内ニ區域ノ登記ヲ各事務所所在地ノ登記所ニ囑託スヘシ

(國務大臣仲小路廉君登壇)

○國務大臣(仲小路廉君) 本案提出ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲマス、是ハ産業組合法ハ施行以來漸次全國ニ普及シテ、一般農民農村ノ爲ニ妙カラス便利ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、更ニ時勢ノ推移ニ伴ヒマシテ産業組合ノ機能ヲ揮ハセマスルコト、併セテ其範圍ヲ擴張致シ、尙登記其他ノ手續ニ依リマシテ、出來得ル限りノ簡捷ノ途ヲ取リタイト存ジマス、尙今日時局ニ際シテ最モ必要ナルハ、中産以下ノ小工業者ニ付テ信用組合ヲ基ト致シマシテ、特殊銀行其他ノ手ニ依リマシテ低利ノ資金ヲ融通ス

ル途モ開キタイト存ジマス、是レ皆今日ノ場合ニ必要ナル事ト存ジマシテ、産業組合法中ニ改正ヲ致シタイノデアリマス、御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望致シマス
○議長(大岡育造君) 日程第十二、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 本案ハ九名ノ委員議長指名ヲ以テ付託セシムコトヲ望ミマス
○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ
(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ケレバ恆松君動議ノ如クニ決シマシタ、——日程第十三、工業所有權戰時法案ノ第一讀會ヲ開キマス——仲小路農商務大臣

第十三 工業所有權戰時法案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

工業所有權戰時法案

第一條 工業所有權ニ關スル敵國人ノ出願又ハ請求ニ付テハ戰時中特許又ハ登録ヲ停止ス

前項ノ出願又ハ請求ニ係ル發明、意匠又ハ考案カ戰時中左ノ各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ出願又ハ請求ニ付テハ特許又ハ登録ヲ爲サス

一 帝國内ニ於テ公然知ラレ又ハ公然用井ラレタルモノ

二 容易ニ應用スルコトヲ得ヘキ程度ニ於テ帝國内ニ頒布セラレタル刊行物ニ記載セラレタルモノ

第二條 敵國人ハ戰時中工業所有權ニ關シ審判若ハ抗告審判ノ請求又ハ抗告審判ニ對スル出訴ヲ爲スコトヲ得ス

第三條 戰時中ニ發生シタル特許權ニ對シテハ敵國人ハ萬國工業所有權保護同盟條約第四條ノ優先權ヲ主張スルコトヲ得ス

第四條 時局ノ關係ニ於テ軍事上又ハ公益上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ敵國人ニ屬スル特許又ハ商標ノ登録ヲ取消スコトヲ得

第五條 敵國人ニ屬スル特許發明ハ免許ヲ受ケタル者之ヲ專用スルコトヲ得前條ノ規定ニ依リ取消セラレタル特許發明ニ付亦同シ

前項ノ規定ニ依ル專用權ノ存續期間ハ當該特許權ノ殘期間ノ範圍内ニ於テ定メタル期間トス

專用權ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 第四條ノ規定ニ依リ登録ヲ取消サレタル商標ト同一又ハ類似ノ商標ニシテ同一商品ニ使用スヘキモノハ之ヲ登録セズ

第七條 敵國人ニ非サル者ノ出願、請求若ハ出訴又ハ特許權若ハ商標權ニシテ其ノ利益カ主トシテ敵國人ニ歸スルモノニ付テハ前六條ノ規定ヲ準用ス

第八條 戰爭終了ノ際ニ於ケル必要ナル事項ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九條 本法ニ依ル專用權ヲ侵害シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

○紫安新九郎君 靜カニ御聽キナサイ、私ノ問ト農商務大臣ノ答トハドウシテモ行掛リガアル、何トナラバ農商務大臣ハ之ヲ勅令デ出シタト云フコトハ、聯合國側ノ態度ヲ一ニスル爲メト云フコトデアル、私ハ聯合國ノ態度ヲ一ニスル爲メニ敵對取引禁止ヲシタ事柄ニハ反對シナイノデアリマス、事柄ニハ反對シナイガ、是ハ法律ニ據ルノカ適當デアル、何トナラバ取引ノ自由ヲ契約ノ自由ヲ制限スルノデアルカラ、是ハ法律ニ據ルノカ

適當ナル、ソコテ問フタノデアアル(無用々々)ト呼フ者アリ然ルニ聯合國ノ態度ヲ一ニスル爲メト云フガ如クハ本員ノ質問ニ當ラヌデアアル、私ハ此上此處デハ問ヒマセヌ
○議長(大岡育造君) 日程第十四、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 本案ハ前ノ産業組合法中改正法律案ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ恆松君ノ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十五、銃砲火藥類取締法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス

第十五 銃砲火藥類取締法中改正法律案(政府提出 第一讀會 貴族院送付)

銃砲火藥類取締法中改正法律案

銃砲火藥類取締法中左ノ通改正ス

第二條第一項中「火工品」ヲ「火藥類」ニ改メ第六號及第七號ヲ削ル
第二條ノ二「前條第一項第二號又ハ第三號ノ場合ニ於テ火藥、爆藥ヲ製造スルコトヲ得ル者ハ帝國臣民又ハ帝國臣民ノミヲ社員若ハ株主トスル會社ニ限ル

第十四條中「範圍ノ下ニ」及第二條第一項第三號ノ規定ニ依リ製造又ハ變形若ハ修理シ得ル普通火藥類ノ範圍ヲ、取扱人ノ下ニ「及火藥類ノ作業主任者」ヲ加フ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(國務大臣男爵後藤新平君登壇)

○國務大臣(男爵後藤新平君) 茲ニ銃砲火藥類取締法中ノ改正法律案ガ提出ニナツテ居リマス、之ニ對シテ提出ノ理由ヲ一言致シマス、從來ハ火藥爆藥ハ本邦ノ學術界ノ製造及使ニ關スル知識ガ幼稚ナルガ爲ニ、民間ノ製造ヲ許サザル方針ヲ執リ來ツテ居ルト云フコトハ諸君ノ御承知ノ通りデアリマス、然ルニ近年此知識ノ進歩モ著シク且ツ歐洲事變ノ勃發以來、火藥爆藥ノ輸入ガ杜絶致シマシテ、我工業鑛山事業ノ大ナル打撃ヲ被ツテ居リマスガ爲メ、是等ノ現狀ニ照ラシテ此製造ヲ許スノ必要ヲ認メテ之ヲ提案シタデアリマス、御審議ノ上協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス
○議長(大岡育造君) 第十六、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 本案ヲ付託スヘキ委員ヲ九名トシ、議長指名アランコトヲ望ミマス
○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ノ通りニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ恆松君ノ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十七第十八ハ同一委員ニ付託シ、且ツ同種ノ關聯セル議案ナルニ依リ一括シテ議題トナスニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト云フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、委員長戸水寛人君

第十七 裁判所ノ設立ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十八 大正二年法律第九號中改正法律案 第一讀會ノ續(委員長報告)

(法學博士戸水寛人君登壇)

(拍手起ル)

○法學博士戸水寛人君 裁判所ノ設立ニ關スル法律案及大正二年法律第九號中改正法律案、之ニ關シテハ委員會ニ於テハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、併ナガラク同時ニ附帶ノ決議ガアリマスノデ朗讀ヲ致シマス「區裁判所ノ設立ハ本案所掲ノ外ニ於テ尙必要ナルモノ」ニシテ足ラズ政府ハ宜シク速ニ之ヲ調査シテ次期議會ニ其設立ヲ提案スベシ」斯ウ云フ附帶ノ決議ガアリマシテ、是モ矢張り全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告致シマス

(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 本案ニ付テ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ決シマス、第二讀會ヲ開クト云フニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ
○恆松隆慶君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ三讀會ヲ省略致シマシテ、委員長報告通り可決確定アラムコトヲ望ミマス

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ノ如ク御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ恆松君ノ動議ノ如ク決シマシタ
○恆松隆慶君 一寸議事ノ進行上簡單ニ申上ゲマス、宜シウ御坐イマスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 恆松隆慶君
○恆松隆慶君 前ノ日程ノ委員付託中デ已マラ得ズ茲ニ更正致シテ置キマス、日程第十一ト第十二ト同一ニ致シマシタガ、十一ノ産業組合法案ハ最モ前ノ銀行其他ノモノニ類似シタ案デ御坐イマスカラ、其方ニ組入レマシテ、サウシテ工業所有權云々ト云フモノヲ特ニ九名ノ委員ト云フコトニ訂正アラムコトヲ、茲ニ希望ヲ申上ゲマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) モウ一度發言ラシテ……
○恆松隆慶君 ヲレデハ前ノコトヲ繰返シマス、第十一ノ産業組合法改正法律案ト云フモノハ、詰リ其前ノ日本銀行農工銀行北海道ト云フ各種ノ銀行ニ類似シタ案デアリマスカラ、其方ノ委員ニ繰替フシタ方ガ餘程議事ノ整理上便利ト思ヒマスカラ、右様ニ訂正ヲ願ヒタイト云フデアリマス分リマシタカ(笑聲起ル)

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 今既ニ決シテ仕舞ッタモノヲ御訂正ナサルノデスカ
○恆松隆慶君 ヲレハ前ニ間違ッタノデ御坐イマスカラ、議場ニ諮ラデ下サイ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ唯今ノ發言ニ御異議アリマセヌカ
(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ恆松君動議ノ如ク決シマシタ

裁判所ノ設立ニ關スル法律案 第二讀會(確定議)

大正二年法律第九號中改正法律案 第二讀會(確定議)

○議長(大岡育造君) 第十七第十八ノ案ニ付テ直ニ二讀會ヲ開キマス……二讀會ヲ省略シテ可決ト云フコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガアリマセヌカラ可決確定ヲ宣告致シマス、日程第十九、北海道拓殖鐵道建設費利子支出ニ關スル法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、小林源藏君

第十九 北海道拓殖鐵道建設費利子支出 第一讀會ノ續(委員長報告)

〔小林源藏君登壇〕

○小林源藏君 北海道拓殖鐵道建設費利子支出ニ關スル法律案ニ付キマシテ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス、本案ニ付テ委員會ハ政府ニ對シテ質問應答ヲ重ネマシタ結果ハ、北海道拓殖事業速進ノ爲メ、本案ハ最モ必要ニシテ且ツ機宜ニ適シタル處置ト認メテ可決スベキモノト決議致シタ次第アリマス、而シテ委員會大多數ノ決議ヲ以テ之ニ附帶シテ希望ヲ述べタル云フコトニナリ居リマス、元來鐵道ノ建設改良ニ關スル計畫ナルモノハ、公債若クハ借入金ニテ之ヲ行フニテハ、鐵道ノ建設改良ノ計畫ナルカ非常ナル益金ノ數ガ多額ニ上リ居ルノデアリマス、隨テ鐵道ノ建設改良ノ計畫ナルモノモ近キ將來ニ於テ積極的ニ改良スベキ傾向ヲ有シ居ル、若シ政府ガ積極的ニ既定ノ鐵道計畫ヲ變ヘテ、鐵道全體ノ改良普及ヲ圖フニシラバ、北海道ニ對シテハ此案ヲ以テ満足セズシテ、更ニ北海道ニモ鐵道ヲ普及セシメ且ツ既定ノ鐵道ヲ改良セシムルコトヲ望ムト云フコトノ希望ヲ附シテ、本案ヲ可決スルコトニ大多數ヲ以テ決議致シタ次第アリマス、本議場ニ於テモ恰モ委員會ノ如ク大多數ヲ以テ可決セラレムコトヲ望ミマス

〔拍手起ル〕

○議長(大岡育造君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ第二讀會ヲ開クコトニ致シマス

○恆松隆慶君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ三讀會ヲ省略致シマシテ、委員長報告通り可決確定セラレムコトヲ望ミマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナシト認メマス、直ニ第二讀會ヲ開イテ全部ヲ讀題ト致シマス

北海道拓殖鐵道建設費利子支出ニ關スル法 第二讀會(確定議)

○議長(大岡育造君) 御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

官報號外 大正六年七月八日

衆議院議事速記第七號

裁判所ノ設立ニ關スル法律案 大正二年法律第九號中改正法律案 第二讀會(確定議) 北海道拓殖鐵道建設費利子支出ニ關スル法律案 第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案ノ可決確定ヲ宣告致シマス、日程第二十、輕便鐵道補助法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、粕谷義三君

第二十 輕便鐵道補助法中改正法律案 第一讀會ノ續(委員長報告)

○粕谷義三君 簡單ナル報告デアリマスカラ當席ヨリ發言ノ御許シヲ願ヒマス

〔粕谷義三君登壇〕

○粕谷義三君 輕便鐵道補助法中改正法律案ノ委員會ノ結果ヲ報告致シマス、御承知ノ如ク現行ノ補助法ニ於テハ輕便鐵道ニ對スル補助金額ガ一箇年百二十五萬圓トナリ居リマス、今日ニ於テハ既ニ各地ノ輕便鐵道ニ向テ補助額ヲ與ヘテ居リマス、剩ス所幾許モナイノデアリマス、然ルニ之ニ反シマシテ現在補助ノ出願ヲ致シ居ル所ノ線ガ殆ド既ニ百二十九哩ニモナリ居リマス、現行定額ノ百二十五萬圓ヲ以テ致シマシテハ之ニ對シテ僅ニ二十三哩ダケキリ補助ヲ與ヘルコトノ出來ナシト云フコトノ狀態ニナリ居リマス、故ニ今回政府ニ於キマシテハ更ニ二十五萬圓ヲ増額シテ之ヲ百五十萬圓ニシテ貰ヒタイ、斯ウ云フ改正案デアリマス、委員會ハ審議ヲ致シマシタ結果、此提案ヲ以テ相當ナリト認メマシタ滿場一致ヲ以テ之ヲ可決致シタノ御座イマス、此段御報告致シマス

〔拍手起ル〕

○議長(大岡育造君) 本案ノ二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ諮リマス、二讀會ヲ開クニ異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○恆松隆慶君 本案モ直ニ二讀會ヲ開キ委員會ニ於テハ異論ナシ問題デアリマスカラ、ドウゾ讀會ヲ省略シテ委員長報告通り確定セラレムコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 動議ガナケレバ直ニ二讀會ヲ開キマス、全部ヲ讀題ニ付シマス

輕便鐵道補助法中改正法律案 第二讀會(確定議)

○議長(大岡育造君) 御異議ガアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ可決確定致シマシタ——日程第二十一、軍事救護法案第一讀會ノ續ヲ開キマス——委員長田邊熊一君

第二十一 軍事救護法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

〔田邊熊一君登壇〕

○田邊熊一君 唯今讀題ニ供サレマシタ軍事救護法案ノ委員會ノ經過及結果ヲ極メテ簡單ニ申上ケマス、本案ハ軍事上社會政策上最モ重要ナル案件デアリマシテ、當テ我衆議院ニハ建議トナリ現レ、又第三十七讀會ニ於テハ法律案トシテ提出セラレマシテ、我衆議院ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタケレドモ、政府財政上ノ都合ト貴族院ニ於テハ十分ノ調査ガ日取リガナイ爲メニ、ツイ提議シノ運命ニナッタデアリマス、政府ガ今回世論ニ鑑ミテ且我衆議院ノ決議ノ精神ヲ尊重シテ、此讀會ニ提出セラレタルコト

ハ大ニ吾々ハ政府ノ誠意ヲ諒ト致シマシテ欣ブノデアリマス、本案ニ依テ救護セラルベキ者ハ戰死或ハ負傷シ疾病ニ罹リタル者及其家族遺族ニテ生計ヲ營ムニ困難ナ者、又出征ノ應召中ノ下士卒ニシテ自己ノ力ニ據ルニ非ザレバ一家ヲ生活スルコトが出来得ナイ者ヲ救護セントスル目的デアリマス、勿論之ニ付キマシテハ色々救護法モ出來テ居リマス、又徴收延期トカ、或ハ其他ノ扶助方法モアリマス、義勇奉公ノ出來テ居リマス、又徴收延期トカ、或ハ其他ノ扶助方法モアリマス、義勇奉公ノ赤誠ヲ捧ゲマシテ國家ノ犧牲ニ供セラル、所ノ其ノ兵士ニ對シマシテハ、國家ハ出來ルガケノ費用ヲ投ズルコトハ當然デアル、況ヤ其兵士ノ遺族カ家族カ生活困難ヲ感シテ居ルノニ、國家ガ之ヲ傍觀スルコトハ、如何ニモ道理ノナイコト、考ヘルノデアリマス、幸ヒ政府ガ種々ノ事情ヲ參酌シテ本案ヲ提出スルニ至ッタノデ、委員會ハ極メテ慎重ニ叮嚀ニ、政府委員ノ出席ヲ求メマシテ全會一致ヲ以テ可決スルニ至ッタデアリマス、人員即チ救護サルベキ所ノ人員ハ約五万人以上デアリマス、一箇年ノ救護金額ハ八十二萬圓ニ上ッテ居リマス、本年度即チ來年ノ一月カラ實施サレルノデ、準備其他ニ三十二萬圓ヲ要シ居ルノデアリマス、若シ本議會ニ於テ此法律ノ制定ヲ見ルニ至リマシタナラバ、金額以外ニ或戰時ニ關スル所ノ此忠勇ナル軍隊ニ、如何ニ此決議ノ精神ガ徹底シテ、金額以上ニ多大ノ效果ヲ私ハ與ヘルコトヲ信ズルノデアリマス、委員會ハ右ノ精神ヲ能ク了得致シマシテ、滿場一致原案ヲ可決シテ釋デアリマス、此段御報告致シマス、願タハ諸君ノ御贊成ニ依リマシテ滿場一致可決セラレンコトヲ望ミマス、終リニ一言御報告申上ゲンケレバナラヌコトハ、委員會ノ樋口秀雄君ヨリ一ノ希望ガアリマス、是ハ委員會ノ決議デアリマス、私ガ紹介ノ勞ヲ執ラント欲スルノデアリマス、其意味ハ本法ニ據ル救護ト同一ノ目的ヲ有スル私設團體中、成績優良ノ者ニ對シテ政府ハ速ニ別ニ法令ヲ以テ補助金交付ヲ發布シテ、補助金發布ノ希望ヲ發スベシト云フノデアリマス、斯クノ通り一モウ一遍朗讀致シマセウ、本法ニ據ル救護ト同一ノ目的ヲ有スル私設團體中成績優良ナルモノニ對シテ政府ハ速ニ別ニ法令ヲ以テ補助金發布ノ交付ヲ求ムヘシトアリマス、モウ一遍「ト呼フ者アリ」モウ了解サレタラウト思ヒマス

(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ二讀會ヲ開クニ決シマス

○議長(大岡育造君) 直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 直ニ二讀會ヲ開キマス

軍事救護法案

第二讀會(確定議)

○議長(大岡育造君) 別ニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(大岡育造君) 全部議題トナリマシタカラシテ御異議ガナイノデアリマス、此場合三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナキモノト認メマス、依テ三讀會ヲ省略シ委員長報告通リ可決確定ノ宣告ヲ致シマス

(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 日程第二十二、軍人恩給法中改正法律案、第一讀會ノ續

ヲ開キマス——委員長漆昌巖君

第二十二 軍人恩給法中改正法律案(政

第一讀會ノ續

(漆昌巖君登壇)

(拍手起ル)

○漆昌巖君 軍人恩給法中改正法律案ノ委員會ノ經過ト結果ヲ御報告致シマス、御承知ノ如ク本案ハ多年ノ懸案ニナッテ居リマシテ、今回政府ガ提案サレマシタノ御坐イマス、本案ノ要旨大體ヲ一寸御報告申上ゲマセウト思ヒマス、本案ノ大體ハ三十七議會ニ衆議院カラ、提出シマシテ、其趣旨ニ基キテ軍事當局者ニ於テ提案セラレマシタノデアリマス、衆議院ノ案ト違ヒマス所ハ、飛行機ダト潜水艇ダトカ雪中ノ行軍其他戰術ノ進歩ニ伴ヒテ起ル所ノ最モ危險ノ勤務ヤ又ハ試験ニ從事シタ場合生ズル所ノ死傷ヲ、普通ノ公務ニ依ル死傷トシテ安イ手當ニ止メルト云フノハ遺憾デアリマス、此等ニ對スル恩給ノ方法ヲ規定スル必要ガアルト云フノハ衆議院ノ主張シ來ッタ所デ御坐イマス、デ今回ノ案ニハ是ガ除イテアリマシタカラ、此點ニ付テ隨分政府ト論争シマシタ上、政府ニ於キマシテハ法制上ノ議論又ハ取扱ノ點カラ同意セラレナカッタノ御坐イマス、委員會ハ一致ヲ以テ戰闘ニ準ズベキ公務ニ依ル死傷ニ付、戰闘同様ノ恩給ヲ與ヘルコトニ修正ヲ致シマシタ、又金額ノ點ニ付キマシテハ、長年不公平ニナッテ居リマス、故、一時モ早ク支給サシタイノハ勿論デアリマス、財政上ノ餘儀ナキ都合ニ依テ五箇年ニ跨ッテ漸次増給スルコトニナッテ居リマシタ、デ委員會ハ大藏ノ當局ト折衝シタ上八年度九年度ニ大凡六十萬圓ヲ増加スルコトヲ同意ヲ得マシタ、是ハ佐官尉官ノ恩給扶助料ヲ五年遲レテ支給スルコトニナッテ居リマシタ、是等ノ人ノ中ニハ老人多ク折角ノ恩給ヲ受ケズニ死ヌ人モアラウト云フ同情ヨリ起リマシタト、大藏省ニ於テモ此邊ニ御同情下サツテ、免二角滿足トハ行キマセヌカ六十萬圓程ノ奮發セラレマシテ、茲ニ委員會ハ審查ヲ終リシタ次第デアリマス、デ其問答中主張ノ理由ハ會議錄ニ讓リマシテ大要ノ御報告ヲ致シマス、委員會ハ此案ニ付キマシテハ慎重審議ノ上御手許ニ迴シテアリマス、修正ヲ致シマシテ、アトハ原案ノ通り全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告ヲ致シマス

(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス

○議長(大岡育造君) 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 直チニ二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 本案ノ第二讀會ヲ開キマス

軍人恩給法中改正法律案

第二讀會

○議長(大岡育造君) 一讀會ハ開カレマシタ

○議長(大岡育造君) 然ラバ之ニハ議論ノナイ問題デ御坐イマス、此場合三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ可決確定アラント望ミマス

○議長(大岡育造君) 修正ガアリマス——委員會ノ修正ガアリマス

○議長(大岡育造君) 委員長報告通リ御異議御坐イマセヌカ

○議長(大岡育造君) 委員長報告通リ御異議御坐イマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、依テ二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(大岡育造君) 三讀會ヲ開クニ御異議ハナシト認メマス、直チニ三讀會ヲ開イテ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(大岡育造君) 異議ナケレバ直チニ三讀會ヲ開キマス

軍人恩給法中改正法律案

第二讀會

○恆松隆慶君 一讀會決定ノ通り即チ委員長報告通り可決アラムコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 二讀會決議ノ通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス、依テ可決確定ヲ宣告致シマス、日程第二十三、大正五年法律第四號中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス——委員長齋藤壽雄君

第二十三

大正五年法律第四號中改正法

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔齋藤壽雄君登壇〕

〔拍手起ル〕

○齋藤壽雄君 大正五年法律第四號中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、本案ハ其條文極メテ簡單デ御坐イマシテ、即チ現法律ハ大正三年臨時事件費ノ事件ノ經費ヲ支辨スル爲メニ、特別會計ノ資金ヲ繰替使用シ及借入金ヲ爲スコトヲ得ト云フノ規定アリマシタノヲ、時局次第ニ發展ヲ致シマシテ益々經費ヲ多ク要シマスルガ爲メニ、更ニ今回借入金ヲ爲シ及公債ヲ募集スルコトヲ得ト改正スルノガ本改正案ノ骨子デアリマス、尙ホ第二項ヲ設ケマシテ、其前項ノ借入金及公債ノ額ハ三千四百萬圓以內トスト云フ條項ヲ設ケテアリマス、尙之ヲ借替整理スル場合ニ於テハ、前項ノ制限以外ニ更ニ公債及借入金ヲ爲スコトヲ得ト云フ第三項マモ規定サレテアル、而シテ現在現行法律ニ依リマシテ借入金ヲ既ニ致シテ居リマスノガ、其額四百萬圓、今回提出ニナリマシタ追加豫算ニ依テ要求セラレマシタ所ノ金額ガ二千萬圓、即チ第二項ノ制限額ハ今回ノ豫算ヲ以テ其全部ヲ盡ス譯ニナッテ居ル、デアリマス、時局今日ノ有様デ御坐イマシレバ此改正案ハ洵ニ緊急已ムベカラザル法案デアルト考ヘマシテ、委員會ニ於キマシテ其點ニ付キマシテハ別段異論ヲ認メヌノデ御坐イマス、唯併ナガラ此臨時事件ノ經費ヲ處理スルコトニ付コトニ付キマシテハ、既ニ事件發生以來四年ニモナルト云フヤウナ長年月デ御坐イマスカラ、實ハ事件ノ發生當時餘リ多クノ歲月ヲ要セシテ、前内閣ニ於テハ適當ナル根本的ノ財政計畫ヲ立テ、而シテ進ムト云フノガ適當デアッタラウト考ヘルノデアリマスガ、在職三年ノ間其金額ハ追々増加シテ數億萬圓ニ上リマシタニモ拘ラズ、前内閣ニ於キマシテハ一向是等ノ根本計畫ヲ立テズニ其職ヲ去ルヤウナコトニナッタデアリマス、之ニ次デ起リマシタ所ノ現内閣ハ、成立後今ニ至ルマデ九箇月ノ間ニ於キマシテ、各種此臨時事件ニ對スル法案ヲ御定メナリマシテ、此臨時議會ニ提出サレマシタ議案ノ殆ト總テハ、此臨時事件ノ處理ニ付テノ案ト申シテモ宜シイヤウナ狀況デアリマスカラ、此現内閣ニ致シマシテハ根本政策ニ屬スル所ノ所謂

戰時財政ニ關スル根本方針ヲ定メテ、其提案ヲセラル、ト云フコトモ亦適當ナ機會デアアルマイカ、頗ル期待ヲスル譯デアルト云フ意見ガ委員會中ニアリマシタノデ、此點ニ付キマシテ特ニ大藏大臣ノ出席ヲ求メ質問ヲ致シマシタル所、大藏大臣モ其趣旨ニ於テハ極メテ同意デアル、ツレ故ニ既ニ此對策案トシテ將來ノ臨時事件ノ支辨方法トシテハ、之ヲ全部租稅ニ取ルト云フコトモ爲シ難イデアラウガ、又之ヲ全部借入金若クハ剩餘金若クハ公債ニ取ルト云フコトモ甚ダ當ラ得ナイ、ツレ故ニ將來ノ考トシテハ一部ハ之ヲ公債其他ノ財源ニ取リ、其一部ハ租稅ニ取ルト云フコトガ最モ適當ナ政策デアルト考ヘルノデ、此臨時議會ニ向テ世間ニ申シマス、此戰時利得稅案トモ言ヒマセウカ、斯様ナ案ヲ收入案ノ一部トシテ提出ヲ致サウカト云フ考ヲ以テツレ、調査研究ヲツレ、盡シテ譯デアルガ、何ニ致セ事ハ新設ノ稅費ニモ屬シマス、併シ又免ニ角モ國民ノ重大關係ヲ持チマス所ノ增稅ノ案ヲ、此短期ノ臨時議會ニ提案スルコト云フコトハ聊カ其當ラ缺クヤウナ嫌モアルト云フヤウナ所カラ致シテ、此臨時議會ニ此等ノ案ヲ提出スルコトヲ姑ク見合セタノデアル、斯様ナ答ヲ得タノデアリマス、ツレ故ニ委員會中ヨリ更ニ進シテ然ラバ政府ノ今回ノ手段ハ之ヲ諒トスルガ、此冬ニ開カルベキ通常議會マデニハ此等ノ案ヲ具ヘテ議會ニ御提出ニナルノデアルカ、斯様ナ問ヲ覆シマシタ所ガ、之ニ對シテ大藏大臣ハ事政府ノ内情ニ關スルコトデアルカラ、冬ノ通常議會マデニハ必ズ增稅ニ關スル案ヲ提出致シマス、ト言明スルコトハ聊カ憚ル所デアルガ、併シ其意味ヲ以テ精々計畫ヲ進ムル考デアル、即チ時局ガ今日ト變ラヌ以上ニ於キマシテハ、冬ノ通常議會迄ニハ所謂臨時事件ニ關スル根本的ノ財政政策ヲ定メテ諸君ノ御協賛ヲ仰グ考デアル、斯様ナ明言ヲサレマシタノデ、此大藏大臣ノ言明ヲ信賴致シマシテ、委員會ニ於テハ緊急止ムベカラザル譯案ト認メテ全會一致可決致シマシタ次第デ御坐イマス、ドウ御贊成ヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤ御諮リ致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナキモト認メマス、第二讀會ヲ開クニ決シマス

○恆松隆慶君 直チニ第二讀會ヲ開キ三讀會ヲ省略シテ唯今ノ委員長ノ報告通り可決確定セラレコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 直チニ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナキモト認メマス、直チニ第二讀會ヲ開キマス

大正五年法律第四號中改正法律案

第二讀會(確定議)

○議長(大岡育造君) 別ニ御異議ガナケレバ三讀會ヲ省略シテ可決確定ヲ宣告致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 委員長報告通り可決確定致シマシタ、日程第二十四、電話事業公債法案ノ第一讀會ヲ開キマス、委員長白石直治君

第二十四 電話事業公債法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔工學博士白石直治君登壇〕

○工學博士白石直治君 電話事業公債法案委員會ノ經過ト結果ヲ御報告致シマス、成ベク簡單ニ申述ベマスガ、多少ノ時間ヲ要シマスデ御聽取ヲ願ヒマス、本案ハ電話交換ヲ擴張スル爲メニ八箇年ノ繼續事業ト致シマシテ一億二百五十萬圓ノ公債ヲ

募集スル云フ案アリマス、而シテ此電話ノ加入申込ガ停滯致シテ居ルコト目下十
五萬箇ニ達シテ居ル、加入者ノ數ガ——加入希望ノ者ガ十五萬ニモ達シテ居ルカ
ラ、ソレハ此擴張案ハ八箇年間ニ一掃致シテ、尙工事中ノ八箇年間ニ更ニ加入申
込ノ生ズルハ勿論ノコトデアリマスカラ、此擴張案ハ二十萬ノ加入ニ應ズルベキ事ト
致シテ、十五萬ノ外尙四萬五千萬ノ餘裕ヲ見込ナル、斯ウ云フデアリマス、加フルニ遠
距離ノ電話ガ甚ダ不都合ニナリ居リマスカラ、之ヲ改良シテ十分急ニ應ズルヤウニ
致サウト云フデアリマス、數回委員會ヲ開キマシテ審議ノ結果、多數ヲ以テ本案ハ可決
スルコトナリマシタセ、前後致シマスガ現在ノ電話ノ有様ハドウナリ居ルカト申シマス
ト、從來電話事業ニ投ジテ資本ガ五千數百萬圓デアリマシテ、而シテ政府事業トシテ
最モ有利ナル事業デ、從來ノ統計ニ據リマス利益ハ資本ニ對シ一割九歩ト云フコトニ
ナリ居リマス、而シテ今後一億二千五百萬ノ擴張ハ收支如何ニナルベキカト云フコ
トヲ豫想シタ所デハ、若シ之ヲ特別會計ノ如キモノニ致セバ、十七箇年デ元利ノ償還ガ
出來ル、斯ウ云フ政府ノ説明ニナリ居リマス、擬此電話交換ヲ擴張致スト云フ案ノ
實質ニ付キマシテハ、委員會全員一人モ異議ハ無イノデ、皆之ヲ贊成——贊同致シタ
ノデアリマスガ、且此案ニ付テハ贊否ノ岐ル、所ハ、此短期ノ議會ニ八箇年ノ繼續費ヲ
協賛スルカ、原案ニ贊成スルカ或ハ本年度即チ六年度ノ費用ヲ與ヘテハ繼續事業ノ如
キハ徐ロ二次ノ議會ニ研究致シテ宜カラウト云フ、此點ガ即チ贊否ノ岐ル、所デ、案其
モノヲ全部贊成スルカ、今年デケノ費用ヲ贊成シテ置クカ、此處ガ委員多數諸氏ノ議
論ノ岐ル、所デアリマス、先ヅ其少數反對者ノ意見ヲ概略御紹介致シマス、此原案ニ
反對スル少數ノ意見ノ概要ヲ申上ケマスレバ二箇條アリマス、ソレハ將來即チ八箇年ノ
計畫、大正十三年迄ニ此莫大ナル公債ヲ他ノ公債ト併セテ募集シ得ルカ否ヤ、之ヲ募
集シ得ルト云フハ全ク空想ニ屬シテ、何人モ之ヲ確定スルコトガ出來ナイノデアル、是
ガ一ノ反對ノ理由、其次ハ今日定メタ所ノ豫算ハ歐洲大亂ノ影響ヲ受ケテ、今日物
價勞銀ノ非常ニ高價ナル場合、其高價ナルモノニ基テ立テタ豫算ハ、今後八箇年
間ニ如何變ズベキヤ、是モ甚ダ本案ノ豫算ガ杜撰ナル、斯ウ云フガ第二ノ理由、而シ
テ第三ノ理由ハ此計畫ハ需要ニ對シ甚ダ過大ノ計畫デアル、固ヨリ詳細ノ所迄ハ私ハ
報告ハ出來マセヌガ、大要ハ此三點デ反對ニナリマス、而シテ多數贊成ノ意
見ヲ御紹介致シマスルガ、是ハ政府委員ノ説明ヲ良シトシテ技術上ノ點カラ觀察致シ
マスルニ、要スルニ此一億何百萬ト云フ擴張計畫ハ種々ノ工事ヲ綜合シタ一ノ總計
畫デアル、一寸御解リ難イカモ知レマセヌガ、例ヘテ云ヘバ今年千萬圓ヲ出シテ一萬ノ
加入者ヲ入レル、來年二千萬圓ヤレバ二萬、再來年三千万圓ヤレバ三萬ト云フヤウ
ニ加入者ノ數ナルモノヲ増スノニハ、其數ハ年度々々ノ豫算金額ニ比例シテ増シ得ルヤ
ウナ簡單ナルモノデアリマス、其大擴張ノ工事タルヤ先ヅ一例ヲ申セバ東京市ニ今
後四萬ナラ四萬、五萬ナラ五萬ノ加入者ヲ増スト云ヘバ先ヅ以テソレニ對スル計畫ノ骨
組ヲ定メテ、局ヲ何局置カネバナラス、局ト局トノ間ニ地下線ヲ設ケンナラス、局ニ据ル
コロノ機械モ是デケノ規模ニシナケレバナラヌト云フ風ニ、種々ノ工事ガ相俟テ然ル後
ソレヲ實施シテ初メテ運用ノ完キヲ得ルノデアリマスカラ、豫算ニ比例シテ年々加入者ヲ増
スト云フヤウナ譯ニハ參ラヌ、ソレデ此一億二千五百萬圓ト云フ計畫ヲ爲スノニハ、先ヅ
加入者ノ數ヲ豫定シテ置イテ、二十萬ナラ二十萬ニ應ズル規模ニシテ、其規模ニ應ズル
種々ノ計畫ヲ定メテ行ク、斯ウ云フ風ニナリマスカラ、此案ヲ改正致サウト思ヘバ其
規模ノ大小カラ改正ヲシナケレバナラス、二十萬箇ハ多キニ過ギルカラ十萬箇ニスルトカ
或ハ少イカラ二十萬箇ニスルトカ云フ規模ヲ極メテ、サウシテ公債額ヲ制限スルト云フ風

ニ改正ヲ致サスト云フト、本年度分ダケト云フコトハ意味ヲ爲サヌデアリマス、之
ヲ例ヘテ申セバ、軍艦一艘ノ豫算ガ出タトキニ、ソレハ其繼續事業ヲ此短期ニ議スル
必要ハナイカラ、先ヅ以テ其軍艦一艘ノ費用ガ一億圓掛ルナラバ、本年ニ使フ船體ナ
ラ船體ノ費用一千万圓ダケ協賛シテ置イテ、跡ノ設計ハ徐ロ二次ニヤレバ宜イト云フト
同ジヤウナ意味デ、ドウモ工事ノ聯絡シテ居ル性質カラ論ズルト、本年度分ダケヲ與ヘテ
置クト云フコトハ意味ヲ爲サヌト云フコトニナル、斯様ナ理由ニ依テ原案ヲ多數ハ贊成
致シタデアリマス、尙一ツ御報告致シマスノハ、此多數ヲ代表シタ論者ノ中カラ一ノ
警告ヲ政府ニ與ヘタデアリマス、ソレハ如何ナル事カト云ヘバ、逓信省政府當局者ハ、
此電話擴張ノ如キハ繼續事業トセバ出來ナイト云フコトハ疾ヨリ御承知ノ答デアル、
而シテ電話ノ擴張ガ迫リテ居ルト云フコトハ素ヨリ御承知ノコトデアル、然ラバ如何ニ倉
卒ノ際ニ雖モ前議會ニ於テ此繼續費ノ御要求ガアルベキ答デアル、然ルニソレヲ一年度
限リニ致シテ置イテ、而シテ此短期ノ議會ニ於テ擴張シテ、斯ノ如キ關聯シタル工事
ヲヤルノデアルカラト云フ御説明ハ甚ダ穩當ヲ缺クモノト吾ハ認メ、尤モ財政ノ都合デ
逓信當局ハ之ヲ繼續事業トシテ前カラ爲サント思ヘドモ大藏當局トノ交渉ガアルトカ何
トカ、政府内部ノ事情ハ御坐イマシタラウガ、政府對議會トシテハ、甚ダ徹底シナイ態
度ニナリテ居ルト吾ハ認メ、以後ハ斯様ノ事ノ無イヤウニト云フ警告ヲ多數ヲ代表シ
タル論者ヨリ與ヘタデアリマス、而シテ多數贊成者ハ其案ニ就テハ萬事ノ總テノ行掛リ
ヲ拾テ冷靜ニ研究ヲ致スト、此原案ハドウシテモ贊成シ遂行ヲ致サスト、次ノ議會ニ延バ
セバ矢張ソレデ擴張ノ事業ガ延滞スル、斯ウ云フ理由ニ依リマシテ總テノ行掛リヲ拾テ冷靜
ニ案其モノニ就テ贊成ヲ表スル、斯ウ云フコトデ可決ニナリマス、右概要ノ經過
結果ヲ御坐イマス(拍手起ル)

○早速整爾君 議長

○議長(大岡育造君) 早速整爾君

(早速整爾君登壇)

(拍手起ル)

○早速整爾君 諸君、私ハ此電話事業公債法案ニ反對スル者デアリマス、唯今ノ委
員長ノ報告ニ不同意ヲ表スルノデアリマス、極メテ簡單ニ其理由ヲ申述べタイト思フ
デアリマス、此法案ニ就キマシテ先ヅ申上ケナケレバナラヌノ電話ノ事業ヲ擴張シナケレ
バナラヌト云フコトガ、政府ノ此法案ヲ説明セラル、所ノ趣意ニナリテ居ルデアリマス、
此事業ヲ擴張シナケレバナラヌト云フ事ト、其擴張ノ財源ヲ何レニ求ムルカト云フ事ハ自
ラ問題ノ區別ガアルト云フコトヲ御了解ヲ願ハナケレバナラヌデアル、此特別委員會ア
リニ於キマシテ、逓信大臣並ニ大藏省ノ政府委員ナドノ説明ニ依テ見マシテモ、其述ベ
ラル、所ハ主トシテ電話ノ事業ヲ擴張シナケレバナラヌト云フコトニ歸著ヲ致シテ居ル
デアリマス、其財源ヲ公債ニ求ムルガ宜イト云フコトニ就キマシテハ、實ハ甚ダ杜撰ナル
説明ノ致シ方デアル、私共モ電話ノ事業ヲ擴張シナケレバナラヌト云フコトニ就テハ、滿
堂ノ諸君ト意見ヲ一ニ致シテ居ルデアリマス、別ニ反對スル旨モ無カラネバ、無論電
話事業ノ擴張ハ同意ヲ致シテ居ル一人デアリマス、併ナガラデス、今日ノ場合ニ當リテ
政府ノ財政計畫ハ孟浪杜撰デアル、此財政計畫ノ孟浪杜撰デアル今日ノ場合ニ於テ、
此電話ノ擴張財源ヲ公債ニ求ムルト云フ意見ニ至リマシテハ、吾ハ斷ジテ之ニ贊成ス
ルコトガ出來ナイデアル(ヒヤ／＼ト呼フ者アリ)財政計畫ガ孟浪杜撰デアルト云フ
コトニ就テハ尙ホ別ノ機會ニ於テ私ハ申述べタイト思フデアル(君ノ演說モ孟浪杜撰

〔河上哲太君登壇〕
〔拍手起ル〕
○河上哲太君 私ハ此案ニ賛成ノ意ヲ表スル者デ御坐イマス、實ハ委員長ガ賛否兩方ノ意見ヲ紹介セラレマシタ中デ、賛成意見ガ非常ニ明白デアリ反對意見ガ非常ニ薄弱デアリマスルカランテ、最早私ハ辯論ノ必要ハ無イト思ッテ居ッタノデアリマシタケレドモ、今早速君カラ一言言ハレマシタカラ、私ハツレニ對シマシテ一言辯解ヲ致シタイト思フノデアリマス、早速君ハ非常ニ澤山言ハレマシタケレドモ、御趣意ヲ摘ミマシナラバ電話キニ、又一般會計ノ仕事デアアルベキモノヲ今日公債ニ依リテヤルツ云フコトハ不健全デアアルカラ、一年度限ナラバ賛成ハスルケレドモ、此計畫ハ杜撰ナルモノデアアルカラ反對ヲスル斯ウ云フノデアリマス、併ナガラ私ハ其處ニ過ガアリハセヌカト思フノデアリマス、第一今日ハ平生ニ於テデサヘモ電話ノ必要デ有リ、サウシテ政府ハツレニ對シテ申込料ヲ取ッテ架ケテヤルツ云フコトヲ約シナガラ、ツレヲ行ハヌト云フ事ハ非常ナル政府ノ罪惡デアアル、平時ニ於テデモ一日モ忽ニスベカラザル事業デ有ル、況ヤ今日我日本帝國ガ此時局ニ於テ敏活ニ種々ノ仕事ヲセナケレバナラヌノデアリマシテ、今日ノ時局ニ於キマシテ電話ノ必要ハ非常ニ感ツテ居ルト云フ事ハ、諸君モ御同意デアラウト思フノデアリマス〔拍手起ル「分テ居ル」ト呼フ者アリ〕分テ居ルカラ申スノデ御坐イマスガ〔笑聲起ル〕次ハ財政問題デアリマス、貴下方ハ財政ヲ行フ上ニ於キマシテ一番今迄日本ノ財政ニ於キマシテ不健全ナル原因トナッテ居リマシタ事ハ、繼續シテ爲スベキ事實デアアルト拘ラズ、世間ノ人氣ヤ一部ノ人氣ニ脅カサレテ、頭ガケラ出シテアトハ順々ニ出シテ來ルト云フヤウナ案ヲ出シタ事ガ茲ニアリマシタガ、是ハ非常ニ不健全ナル方案デアリマシテ、電話ノ如キハ繼續ニヤラナケレバナラヌ、繼續的ノ計畫ヲ立テナケレバ意味ヲ成サヌ事業デアルナラバ、初カラツレバ永續ノ計畫ヲ立テ、ヤルト云フコトハ正シイ事デアアル、ツレヲ一年度限云々ト云フヤウナ事ハ意味ヲ成サヌミナラズ、不健全ナル財政政策ヲ行ハントスルモノデアルト私ハ思フノデアリマス、又公債問題ニ付キマシテハ私ハ最早多ク言フ必要ハ無イト思フ、今日ノ時局ニ於キマシテは位ナル所ノ公債ヲ募ルト云フコトハ、當然出來得ルコトデアアル、將來ニ於キマシテモ如何ニ時勢ガ變化致シマシテモ、今度ノ日本ノ勢力ト云フモノハ戰後ニ於テ殖エマヌノデ、決シテ實行ガ出來ナイモノトハ信セヌノデアリマス〔旨イモノト呼フ者アリ〕既ニ早速君モ言ハレタ如ク、電話ノ如キハ實ヲ申シマスレバ是ハ元々本來自ノ性質ト致シマシテ公債財源ニ依ルベキガ本當デアアル、鐵道ノ如キ電話ノ如キハ大イニ公債財源ニ依ルノガ本當デアラウト私ハ信スルノデアリマスカラ、ツレヲ此時局ニ於テ——行ヒ易イ時局ニ於テ、而シテ必要ノアル時ニ於テ、而シテ正直ナル健全ナル繼續事業トシテヤルノハ洵ニ宜イコトデアリマシテ、私ハ反對ノ理由ガ殆ド無イデハナイイカト云フコトヲ信ズル者デアリマス

○恆松隆慶君 議長
○東武〔大岡育造君〕 恆松隆慶君
○恆松隆慶君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス
○議長〔大岡育造君〕 恆松君ノ討論終結ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシ〕〔聲起ル〕
○議長〔大岡育造君〕 異議ナシト認メマス——本案ニ付テ第二讀會ヲ開クベシト云

起立者多數

○ 恆松隆慶君 議長
○ 東武(大岡育造君) 恆松隆慶君
○ 恆松隆慶君 討論終結ノ勳議ヲ提出致シマス
○ 議長(大岡育造君) 恆松君ノ討論終結ノ勳議ニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(大岡育造君) 多數——直ニ二讀會ヲ開クコトニ御異議ハ御坐イマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス、依テ直チニ第二讀會ヲ開キマス

電話事業公債法案

第二讀會(確定議)

○恆松隆慶君 讀會ノ順序ヲ略シテ委員長報告通リ決セラレンコトヲ望ミマス
○議長(大岡育造君) 讀會省略ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス——本案ニ付テ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、依テ本案ハ可決確定ヲ宣告致シマス——是カラ暫ク休憩致シマス
午前十一時五十四分休憩

午後一時十三分開議

○議長(大岡育造君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、日程第二十五、朝鮮事業公債法中改正法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス……委員長白石直治君

第二十五 朝鮮事業公債法中改正法律案 第一讀會ノ續(委員長報告)

○工學博士白石直治君 願ル簡單デスカ此席カラ……
〔工學博士白石直治君登壇〕
〔拍手起ル〕

○工學博士白石直治君 朝鮮事業公債法中改正法律案ノ結果ヲ願ル簡單ニ御報告致シマス、此朝鮮事業公債法中ニ、本年ノ十二月期限ニテ償還ヲ要スル分ガ二千万圓アルト云フコトデス、而シテ是ハ借換ヲ要スルノデ、之ヲ認ムル爲ニ此第二項中ニ「借入金」トアリマスノヲ「公債」ト云フ「字」ヲ入レ「公債又ハ」ト入レテ「公債又ハ借入金」ト改ムト云フデアリマス、又同法中ノ第三項ノ朝鮮事業費ノ額ヲ公債及借入金通シテ八千四百萬圓以內トス「トアリマス」ノヲ「二千万圓ノ追加ヲ致シテ」九千六百萬圓ニ改ムト云フノデス、此追加道路ノ修築ト數箇ノ費目ニ分テアリマスガ、適當ノ要求ト認メマシテ全會一致ヲ以テ此案ヲ可決致シテ次第デアリマス、右報告致シマス〔拍手起ル〕

○議長(大岡育造君) 本案ニ二讀會ヲ開キマスルコトニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス

○議長(大岡育造君) 恆松隆慶君

○議長(大岡育造君) 直ニ二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ確定セラレンコトヲ望ミマス
○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス、第二讀會ヲ開クコトニ決シマシテ、直ニ第二讀會ヲ開キマス

○議長(大岡育造君) 朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出) 第二讀會(確定議)
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ケレバ三讀會ヲ省略シテ可決確定ヲ宣告致シマス——日程第二十六、朝鮮鐵道用品資金會計法廢止法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長齋藤安雄君

朝鮮鐵道用品資金會計法廢止法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

〔齋藤安雄君登壇〕

○齋藤安雄君 朝鮮鐵道用品資金會計法廢止法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告申シマス、本案モ案其モノハ極メテ簡單デ御坐イマス、而シテ今回政府ニ於キマシテ滿洲及朝鮮ニ於ケル鐵道ヲ、一手ニ統一シテ經營スルト云フ計畫ヲ定メラレタニ就キマシテ、自然其結果現行ノ朝鮮鐵道用品資金會計法ト云フモノハ廢止スルコトナルト云フルガ本案ノ趣旨デアリマス、委員會ニ於キマシテハ斯様ナル譯デアリマスカラ、其根本ノ原因タル朝鮮鐵道ヲ南滿洲鐵道株式會社ニ委託經營セシムルト云フ問題ニ、勢ヒ觸レザルヲ得ザル場合ニ遭遇致シマシタノデ、國務大臣ノ出席ヲ求メマシテ其點ニ就キマシテ段々質問應答ヲ重ネテ譯デアリマス、此問題ニ付キマシテハ國務大臣ノ頗ル丁寧親切ナル説明ヲ與ヘラレマシタ、而シテ已ナラズ委員會中ニ於キマシテハ特ニ懇談ノ方法ニマデ依リマシテ、段々詳細ナル説明ヲ聽キマシタガ、其結果此滿洲ノ鐵道ヲ一手ニ統一シテ經營スルト云フコトハ、植民行政上確ニ必要ナル施設デアルト云フコトハ委員全體認メタデアリマスガ、但シ斯ノ如ク致シマスレバ自然南滿洲鐵道會社ノ勢力ト云フモノハ益々増大シテ譯ニナリマスカラ、其結果萬一此同地方ニ於ケル個人經營ノ事業等ニ壓迫ヲ加ヘルト云フヤウナ眞ラ生ジテハ相成ラヌガ、其點ニ關スル政府ノ注意ヲ質シタ所ノ委員ガ御坐イマシタガ、之ニ對シマシテモ政府ハ十分ナ注意ヲ拂ッテ、決シテ個人經營ノ事業ニ對シテ壓迫ヲ加フル如キコトハ斷ジテ致サヌ覺悟デアルト云フ言明ガアリマシタ、斯様ナ次第、本案モ委員會ニ於テ全會一致ヲ可決致シテ次第デアリマス、此段御報告ヲ致シマス〔拍手起ル〕

○議長(大岡育造君) 本案ニ就キ第二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 第二讀會ヲ開クコトニ決シマス

○議長(大岡育造君) 恆松隆慶君

○議長(大岡育造君) 直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松隆慶君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ケレバ直チニ第二讀會ヲ開キマス

○議長(大岡育造君) 朝鮮鐵道用品資金會計法廢止法律案 第二讀會(確定議)
○議長(大岡育造君) 恆松隆慶君
○議長(大岡育造君) 別ニ異論ガナイヤウデ御坐イマスルデ、三讀會ヲ省略シテ二讀會ニ於テ確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 三讀會ヲ省略シテ二讀會ニ於テ可決スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、依シテ本案ハ讀會ヲ省略シ可決確定致シマシタ。日程第二十七、第二十八、第二十九ハ同一委員ニ付託シ且同種ノ議案ナルニ依リ一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ第二十七、東京帝國大學及京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案、京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案、第二十九學校及圖書館特別會計資金ノ一部ヲ一般會計ニ繰入ルル件ニ關スル法律案、右第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長米田權君

第二十七

東京帝國大學及京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十八

京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十九

學校及圖書館特別會計資金ノ一部ヲ一般會計ニ繰入ルル件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○米田權君 當席ニ於テ……

○議長(大岡育造君) 登壇ヲ希望致シマス

(米田權君登壇)

○米田權君 三案ヲ一括シテ御報告致シマス、本案ハ委員會ニ於テ慎重審議ノ上滿場一致ヲ以テ原案ヲ可決致シマシタ、此段御報告致シマス(拍手起ル)

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 三案ヲ通過シテ第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○恆松隆慶君 直チニ讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 異議ガナケレバ直チニ第二讀會ヲ開キマス、議案ノ全部ヲ議題ト致シマス

東京帝國大學及京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案 第二讀會(確定議)

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ日程ノ第二十七、第二十八、第二十九ノ三

案ハ讀會ヲ省略シテ全部可決確定スルコトヲ宣告致シマス、次ハ日程第二十、農業倉庫業法案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長鵜澤總明君

第二十 農業倉庫業法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

(法學博士鵜澤總明君登壇)

○法學博士鵜澤總明君 農業倉庫業法案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、此案ハ諸君ノ御承知ノ通りニ大キク申シマスレバ農業ノ開發國本培養トモ申シマル大經綸サウデアリマス、小サク申シマシテモ農民ニ資金ヲ供給スル爲メ案アルト云フコトアリマシテ、委員會ニ於キマシテハ三回之ヲ開イタ上デ、各委員カラ熱心ナル質問等モアリマス、政府ノ答辯モアリ、遂ニ討論ノ上ニ二三ノ修正意見ハ現ハレマシタガ、併シ軌レモ少數御坐イマシテ原案ノ通り可決ニナツタデアリマス、修正意見ト申シマスルノハ第一條ニ「穀物若ハ繭」トアルノヲ廣ク農産物トシタナラバ何ウデアル、斯ウ云フ事ガ一ツ、ツレカラ營業稅所得稅課セズト云フ規定ガ有ルカラ、印紙稅モ免除スルヤウニシタラ何ウデアアルカト云フ事、夫カラモウ一ツハ北海道府縣及市町村及之ニ準ズルモノ、附加稅ヲ免ズルコトニシタラドウデアアルカト云フ、斯ウ云フヤウナ意見ガ出タデアリマシタガ、孰レモ少數否決ニナツタデアリマス、本案ニ付キマシテハ諸君ノ御承知ノ通りニ營利ヲ目的トスル事業ヲ爲スコトヲ得ズト云フ規定ノ爲メ、政府ニ於キマシテモ全國ノ町村ノ内ニ於キマシテ、三箇村毎ニ一箇ノ倉庫ヲ設ケルコトヲ云フ位ノ見當ニ致シマシテ、其倉庫ノ一番小サイモノヲ五十坪ト見テ、一坪約五十圓ト云フ費用ヲ要スルモノト假定致シマシテ、之ニ二割程ノ補助金ヲ出ス、ツレバ七万五千圓程ヲ補助金ハ豫算ノ方ニ廻ッテ居ルコトアルト思ヒマス、サウ云フヤウナ仕組ニナツテ居リマス、營利事業デハナイツ云フコトニナツテ、倉庫業ノ經營ガサルコトニナツテ居ルデアリマス、併ナガラ之ニ對シマシテ倉庫業ニ關スル其取締ノコト、或ハ此倉庫業者ノ責任ノ事ニ關シマシテハ全部商法ノ規定ヲ準用スルコト云フ事ニナツテ居リマシテ、從ツテ此倉庫業者ノ責任モ極メテ重大ナコトニナツテ居ルデアリマス、營利事業ニアラザル倉庫業ニ對シテ、營利事業デアル倉庫事業ノ法案ヲ規定セラレテ居リマス、此結果ガ如何ニ運用サルコトカト云フ事柄ハ、實際ノ上ニ之ヲ徹スルノ外ハナイノ御坐イマスケレドモ、本會各委員ノ全會一致ニ依リマシテ可決サレマシテ御坐イマスカ、此段御報告ニ及ヒマス(拍手起ル)

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 本案モ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 異議ガナケレバ直チニ本案ノ二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ諮ヒマス

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ直チニ第二讀會ヲ開キマス、議案全部ヲ議題ト致シマス

農業倉庫業法案

第二讀會(確定議)

○恆松隆慶君 三讀會ヲ省略シテ二讀會ヲ委員會長報告通り決セラレムコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス、三讀會ヲ省略シテ本案ハ可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、日程第三十一、戰時海上再保險法案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長熊谷直太君

第三十一 戰時海上再保險法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

〔熊谷直太君登壇〕

○熊谷直太君 戰時海上再保險法案ノ特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、本案ハ會ヲ重スルコト四回アリマシテ、當路大臣及政府委員ノ説明ヲ求メマシテ、滿場一致ヲ以テ可決致シタル御坐イマス、御承知ノ如ク本案ハ戰時海上補償法ノ身代リ案アリマシテ、戰時海上補償法ハ大正三年九月實施セラレマシテ、本年五月ニ至ル迄國庫ガ負擔セシ所ノ補償額ハ千六百七十八萬六千三百八十八圓ノ多キニ上ツタノ御坐イマス、現ニ本年ノ五月ニ於キマシテ五百九十五萬三千六百四十二圓ノ補償金ヲ國庫ヨリ支出シタルモ、アリマス、翻テ現時ノ狀態ヲ見マスルト云フト、戰局ト云フモノハ愈々擴大セラレマシテ、從テ補償法ノ目的タル所ノ保護スル範圍ハ又擴大セラレ、コトハ論ヲ俟タヌノ御坐イマス、故ニ此法案ハ即チ現行法ノ補償法ト云フモノヲ維持シテ行ク日ニハ、ドレカノ金ヲ國庫ガ負擔スルカト云フコトヲ豫測スルコトガ出來ヌヤウナ狀態ニアリマス、故ニ政府ハ戰時海上再保險法案ヲ出シマシテ之ニ代ハラウトスルノ御坐イマス、海上補償法ガ九キリ無クナツテ仕舞ヘバ、船舶所有者及荷主ハ全ク保護ヲ得ナイ事ニナリマス、併ナガラ一面ニ於テ今申上ケル通り多大ノ國家ガ補償負擔ト云フコトガ不能事デ御坐イマス故ニ、一面ニ於テハ國家ノ幾分ノ收入ヲ計リマシテ、一面ニ於テハ船舶所有者主並ニ荷主ト云フ者ヲ保護スル法案ハ、即チ此戰時海上再保險法案デ御坐イマス、本案ハ御承知ノ通り其實質ハ第三條第六條第七條ニ依リマシテ、多ク命令若クハ勅令ニ其規定ヲ讓ツテ居ルコトデ御坐イマス、故ニ委員會ニ於キマシテハ此命令並ニ勅令ニ讓ツテ居ル所ノ點ハ、ドウ云フ事項アルカト云フコトヲ仔細ニ審議シタルノ御坐イマス、而シテ政府ニ説明ヲ求メタイノ御坐イマス、即チ其點ニ關スルコトハ第一ハ再保險ノ目的、第二ハ航路、第三ハ保險額ヲ定ムル規定、第四ハ保險金ノ支拂等デ御坐イマスガ、之ヲ一ニ申上ケルト甚ダ時間ガ掛リマスカラ省略シテ置キマス、斯ウ云フ點ヲ仔細ニ審議シマシテ、政府ノ説明ヲ求メマシテ本案ハ滿場一致ヲ以テ可決シマシタルノ御坐イマス、終リニ臨ミマシテ本案ニ付キマシテハ委員竹村君並ニ橋本君ノ御希望ガ御坐イマシタ、其竹村君ノ御希望ハ本案ハ他ノ營利會社ノ事業トハ違フノ御坐イマスカラ、飽迄モ救済ノ精神ニ基キマシテ、此精神ヲ何處マデモ當局者ニ於テ發揮セラレンコトヲ望ムト云フ御希望アリマス、橋本君ノ御希望ハ再保險ノ目的ハ成ベク其制限ヲ狹クセラレザラムコトヲ希望スルト云フノ御希望アリマス、此段御報告申上ゲマス

○議長(大岡育造君) 本案ニ付キ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○恆松隆慶君 直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、直ニ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ニ供シマス

戰時海上再保險法案

第二讀會(確定議)

○恆松隆慶君 此二讀會ニ於キマシテ三讀會ハ省略シテ委員長報告通り決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス

○恆松隆慶君 今ノ宣告ニナリマシタカ

○議長(大岡育造君) マダデス、——本案ハ讀會ヲ省略シ可決確定致シマシタ

○恆松隆慶君 此場合緊急動議ヲ提出致シマス、ソレハ此次ノ日程ニ載テ居リマスル所ノ總豫算ニ關聯シテ居ル所ノ問題、即チ臨時國庫證券法案、臨時國庫證券收入金特別會計法案、此二案ハ何レモ豫算案ニ關聯シテ居リマス、依テ日程ヲ變更シテ此際議題トシテ議セラレンコトヲ望ムノデアル

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ日程變更ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス、日程ハ變更セラレマシタ、即チ臨時國庫證券法案、臨時國庫證券收入金特別會計法案、此二案ニ付キ委員長ノ御報告ヲ求メマス、江藤哲藏君

臨時國庫證券法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

臨時國庫證券收入金特別會計法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

〔江藤哲藏君登壇〕

○江藤哲藏君 臨時國庫證券法案ハ時局ノ影響ニ依リマシテ在外正貨ヲ増加シ、加フルニ輸出超過ニ依リマシテ爲替資金ノ缺乏ヲ來シ、之ヲ救フト云フ目的ガ一ツ、第二ハ聯合國ニ對シマスル軍需品ノ代金決済ノ爲メニ資金ヲ調達スルト云フ目的ガ一ツ、此二ツノ目的ノ爲メニ最高限二億圓ノ國庫證券ヲ發行スルコトヲ得ルト云フノガ此案ノ趣意デアリマス、委員會ハ政府トモ質問應答ヲ重ネマシテ、此案ハ最モ時勢ニ適應シタル緊急ノ必要アルモノト認メタルノデアリマス、第二ノ國庫證券收入金特別會計法案ハ、此前ノ法案ニ依リテ得タル所ノ資金ヲ一般會計ト離シマシテ、此資金ヲ運用シ整理スル爲メノ法案デアリマス、此二案共ニ全會一致ヲ以テ可決セラレタ次第デアリマス

〔拍手起ル〕

○議長(大岡育造君) 此二案ハ同一委員ニ付託セラレ且ツ同種ノ議案ナルニ依リ一括シテ議題トナスニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(大岡有造君) 異議ナシト認メマス、一括議題ニ供シマス、——本案ニ付二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ諮ヒマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡有造君) 御異議ガナケレハ本案ハ二讀會ヲ開クコトニ決シマス

○恆松隆慶君 此二案トモ直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡有造君) 御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡有造君) 異議ナシト認メマス、依テ直ニ二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ニ供シマス

二供シマス

臨時國庫證券法案

臨時國庫證券收入金特別會計法案

第二讀會(確定議)
第二讀會(確定議)

○恆松隆慶君 讀會ノ順序ヲ省略シテ二讀會ニ於テ確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡有造君) 恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡有造君) 異議ナシト認メマス、依テ二案トモ讀會ヲ省略シテ直ニ可決確定スルコトニ致シマス——日程第三十二ヨリ第四十一マデノ豫算追加案ヲ一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡有造君) 異議ナシト認メマス、即チ第一號大正六年度歳入歳出總豫算追加案、特第一號大正六年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、第二號大正六年度歳入歳出總豫算追加案、臨時軍事費豫算追加案、特第二號大正六年度特別會計歳入歳出豫算追加案、追第一號豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、第四號大正六年度歳入歳出總豫算追加案、特第三號大正六年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、之ヲ一括シテ議題ト爲シマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、山本悌二郎君

第三十二 (第一號)大正六年度歳入歳出豫算追加案 (委員長報告)

第三十三 (特第一號)大正六年度各特別會計歳入歳出豫算追加案 (委員長報告)

第三十四 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件 (委員長報告)

第三十五 (第二號)大正六年度歳入歳出總豫算追加案 (委員長報告)

第三十六 (第三號)大正六年度歳入歳出總豫算追加案 (委員長報告)

第三十七 臨時軍事費豫算追加案 (委員長報告)

第三十八 (特第二號)大正六年度特別會計歳入歳出豫算追加案 (委員長報告)

第三十九 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件 (委員長報告)

第四十 (第四號)大正六年度歳入歳出總豫算追加案 (委員長報告)

第四十一 (特第三號)大正六年度各特別會計歳入歳出豫算追加案 (委員長報告)

〔山本悌二郎君登壇〕

○山本悌二郎君 豫算委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス、委員長ノ選舉分科ノ區分、分科委員ノ配置、主査ノ選定等ニ付キマシテハ既ニ公報ニ於テ御承知ノコト、存シマスルガ故ニ、是ハ絮說致シマス、委員會ハ六月二十五ヨリ七月六日ニ至ル迄ノ間ニ於テ六回開會致シマシテ、尙本會ニ御報告致シマスマデ、成案ヲ得マシタ、此間ニ於テ質問應答等ハ連日ニ亘リ行ハレマシタケレドモ、是ハ速記録ニ於テ御承知ノコト、存シマスルガ故ニ、是亦詳シク御報告ハ致シマス、政府ヨリ提出セラレタル所ノ諸案ハ、其數ニ於テ十案、其大體ノ内容ノ輪廓ヲ一通リ申上ゲマス、數字ニ亘ルコトテアリマスカラ自然御倦意ヲ催シ易イコトデハ御坐イマスガ、必要ナコトデアリマス、故ニ暫ク御清聴ヲ煩ハシマス(諸君「ト呼フ者アリ」)一般會計ニ於キマシテハ九千二百五十萬圓ト云フモノヲ要求致サレタデアリマス、其内譯ヲ申セバ第一號ニ於テ八千八百二十八萬圓ト云フモノヲ要求シテ居ルデアリマス、是ハ各省ニ亘リテ追加豫算デアリマス、第三號ニ於キマシテ二百萬圓ト云フモノヲ要求シテ居リマスガ、是ガ即チ今回ノ電話擴張費ノ追加豫算ノ本年度分デアリマス、第四號ニ於キマシテ二百一十六萬圓ヲ更ニ要求致シマシタガ、是ハ矢張各省ニ亘ル所ノ經費ノ追加デアリマシテ、第一號ノ八千何百萬圓ト云フモノニ漏レタ其殘リデアリマス、此一般會計ノ九千二百五十萬圓ノ外ニ、臨時事件費ト致シマシテ矢張一般會計カラ支出スベキモノガ六千九百三十五萬圓餘デアリマス、是ハ所謂第二號案ニ依テ要求サレテ居リマス、此内テ軍事費ノ財源ノ一部トシテ臨時軍事費特別會計ノ方ヘ一般會計カラ繰入ルベキモノガ千五百八十五萬圓デアリマシテ、殘リ五千三百五十萬圓ト云フモノガ、是ガ臨時事件豫備費ト云フモノニナツテ居リマス、是ガ即チ一般會計テ御坐イマスガ、特別會計ニ於キマシテハ特第一號ニ於テ從來ノ特別會計二十六號ニ對スル所ノ追加要求ラシテ居ルデアリマス、特第二號ニ於テ國債整理基金ノ方ヘ電話公債ノ利子手数料ヲ支出スルコト云フ、是ハ金額ニシテ僅カナモノデアリマス、ソレカラ特第三號ニ於テ要求サレテ居リマスガ、是ガ國債整理基金特別會計及臨時國庫證券特別會計ニ於キマシテ、例ノ國庫證券三億五千四百七十萬圓ト云フモノガ、是ガ兩方ノ特別會計ニ出タリ入ッダリシテ居リマスノデ、其外ニ學校及圖書館ノ特別會計ニ於テ四十餘萬圓ノモノガ要求サレテ居ルデアリマス、此外ニ臨時軍事費ノ追加豫算ト致シマシテ五千六百六十二萬四千二百六十七圓ト云フモノガ要求サレテ居リマスノデ、其内二千萬圓ニ豫備費トシテ計上サレテアリマス、斯様ニ歳出入計上ニ對シマシテ歳入ハドウ云フヤウナ財源ニ依ルカト申シマス、一般ノ租稅收入官業收入其他零細ノ財源ヲ除クノ外、主トシテ此公債及借

ノ説明ハアツタケレドモ、免モ角モ結論スル所ハ其必要ヲ認メナト云フコトデアツタニ拘
ラズ、其後僅カナ年月ヲ經過シタ今日ニ於テ之ヲ提出セザルヲ得ナクナツタヤナリカ、斯
様ニ政府ガ無定見デアリ無責任デアルト云フコトデアル以上ハ、國民ハ政府ノ當局者ノ議
會ニ向テ言明スル所ニ信ヲ置クコトガ出來ナイノデアル、斯様ナ意味合ヲ以テ斯ウ云フ
警告ヲ述ベラレタデアリマス、曩ニ二個師團増設案ノ本院ニ提出セラレ、ヤ吾人ハ歐
洲戰爭ノ實験ニ鑑ミ相當ナル措置ヲ執ルベク即チ兵器ノ改良特科兵ノ新設又ハ増設
其他各般ノ改良施設ヲ要スベキヲ認メ陸軍當局ノ意見ヲ徵シタリ然レニ當局ハ其必
要ナキ旨ヲ言明セルニ拘ラズ事實ハ著々吾人所見ニ合致セザルハ續々新規ノ計畫ヲ
立テ之カ經費ヲ要求セリ是陸軍當局ノ無定見ヲ立證スルモノニシテ吾人ノ頗ル遺憾ト
スル所ナリ依テ將來ノ爲メ茲ニ之ヲ警告ス「是レガ二土君ノ警告デアリマス、次ニ武藤
金吉君ヨリ官有財産ノ管理ニ關スル所ノ警告ガ述ベラレマシタ、元來官有財産ノ管理
ト云フコトハ、土地船舶其他ニ付キマシテ今迄種々様々ノ放漫不當ノ措置ヲ耳ニシテ居
ル、其一例トシテハ武藤君ノ述ベラレタ所デハ、製鐵所ヨリ松昌洋行ト云フ合資會社ニ影
島丸、惠山丸、此二艘ノ船ガ貸付ケテアル、是レハズト前ニ貸付ケタモノデアルガ、其
契約ハ更ニ影島丸ニアツテハ大正五年五月二十一日ニ契約ガ更改サレテ居ル、惠山丸
ハ大正四年十二月ニ更改サレテ居ル、而シテ其年限ハ影島丸ニ於テハ大正八年迄繼
續サレテ、惠山丸ニ於テハ大正七年迄繼續スルコトニナツテ居ル、所ガ此船ニ對スル所
ノ貸賃ト云フモノガドレダケデアルカト云フト、影島丸ハ八萬圓、惠山丸ガ稍之ニ類似
シタ率ヲ以テ貸付ケテアル、即チ之ヲ一噸當リニ致シマスレバ、影島丸ハ七千噸ノ船デ
アリ惠山丸ハ四千六百噸ノ船デアリマスカラシテ、一噸當リニ致シマスルト影島丸ハ一
圓三錢、惠山丸ガ九十八錢ト云フヤウナモノニナツテ居ル、昨今戰爭勃發以來ノ船ノ
備船料ハ非常ニ暴騰シテ居リ尙暴騰ヲ續ケツ、アルノデアル、ソレデ此契約ガ更改サレ
タ當時ニ於テモ二十圓位ノ備船料ニナツテ居タノデアル、ソレガ一圓何ボトカ九十何
錢トカ云フモノデ貸付ケラレルトニナツタノデアル、勿論之ニ對シテハ開平炭ヲ三萬噸乃
至八萬噸、此松昌洋行ヨリ或一定ノ値段ヲ以テ製鐵所ニ供給スルコト云フ約束ニナツ
テ居ル、併ナガラ若シ石炭ノ値段ガ騰貴シタ場合ニ於テハ、其騰貴セル部分ノ半分ダケ
ハ値上ケシテアル、斯ウ云フ契約ニナツテ居ル、此義務ト之ニ對スル所ノ貸船料ト云フモ
ノヲ比較致シマスルト云フト、如何ナ算盤ニ暗イ者ガ見マシテモ、如何ニモ是レハ不當デ
アルト斷定シナケレバナラヌ、モウ一ツハ汝首丸ト云フ船ガ、是ガ製鐵所カラシテ臺灣
總督府ニ貸付ケラレ、臺灣總督府カラ更ニ轉シテ南洋開發組合ト云フモノニ貸付ケ
ラレテ居ル、是レハ矢張安イ賃錢デ貸付ケテハ居リマスカレドモ、其代リニ南洋開發ニ對
シテ餘計ノ利益ノアツタ場合ニハ、其利益ヲ使ハナケレバナラヌト云フコトニ相成ツテ居ル、
是等モ南洋開發ハ頗ル結構ナコトデ御坐イマスルガ、モウ少シ此契約ト云フモノヲ嚴重
ニスル必要ハ確カニアルト認メラレ、是レハ期限ハ僅カ此先一年程ノコトデアリマスルカ
ラ、其一年後ニハ又何トモ契約ノ更改ガ出來ル狀態ニナツテ居ルノデアリマス、斯様ナ
事ガ屢々行ハル、ヤウデアリ、又此事ガ長ク繼續サレルヤウデハ甚ダ不當ト認メルカラシテ
ト云フ意味ヲ以テ、斯様ナ警告ガアリマシタノデス、土地船舶其他官有財産ノ管理ニ
關シ政府ノ處置往々其當ヲ得ザルモノアリ須ク之ガ整理ヲ實行シ管理ノ目的ニ悖ラサ

ラムコトヲ期ス可シ「ワレカラ堀切善兵衛君カラ希望ガ述ベラレマシタガ、是レハ教育會
議設置ニ關スル條件デアリマシテ、教育會議ト云フモノハ前カラシテヤテ居リマスカレドモ、
三年經テモ五年經テモ其成績ヲ見ルコトガ出來ナイノデアル、何時モ小田原評定ニ
パカリ終テ居ルノデアルカラ（拍手起ル）今回更ニ此經費ヲ許シテ之ヲ設置サセマシタ所
デ、從來ノ經驗ニ徴スレバ其成果ヲ見ルコトガ出來ルヤ大ニ疑ハサルヲ得ナイノデアル、
故ニ此經費ヲ許ス以上ハ相當ノ年限ノ間——相當ノ期間ノ中ニ於テ此調査ヲ結了
速カニスルト云フコトヲ條件トシナケレバナラナイ、就中昨今教育界ニ於キマシテ非常ニ
苦シテ居リマスルノハ、高等教育ノ學校ガ乏シイ、其數ガ少ナイガ爲ニ幾千幾萬ノ學生
ガ之ニ入學ノ機會ヲ得ズシテ徒ラニ彷徨シテ居ルト云フ狀態デアル、ソレカラ愈々大學ニ
入リマシテモ其大學ノ年限ト云フモノガ餘リニ長キニ過ギル嫌ガアル、從テ世間ノ事情
ト相違カッテ、折角卒業シテモ餘リ役ニ立ツ人間ガ出來ナカッタト云フ結果ガ能ク見
ル、ソレ故ニ大學卒業ニ至ル迄ノ修業年限ヲ短縮スルコト、高等教育ニ關スル學校ヲ
増設シテ學生ノ就學ニ付テ遺憾無カラシムコトヲ期スルコト云フ、此方針ヲ中心トシテ、此
方針ヲ基礎トシテ速カニ調査ヲ終リ、即チ長クモ向フ一箇年間、此間ニ調査ヲ終ルト
云フ位ノコトニシテ實ヒタイ、是レガ即チ堀切君ノ御希望デアリマス、斯様ナ經過ヲ以テ
委員會ハ終了ヲ告ゲマシタ次第デアリマス、此段御報告致シマス

（拍手起ル）

○議長（大岡育造君） 加藤政之助君

（加藤政之助君登壇）

（拍手起ル）

○加藤政之助君 諸君、私ハ憲政會カラ提出致シマシタ豫算ノ修正案ニ付テ説明ヲ試
ミントスルモノデアリマス、而シテ其修正案ノ要領ハ先刻豫算委員長ヨリ此演壇デ詳ニ
御報告ニナリマシタカラ、重ネテ之ヲ諸君ニ紹介スルノ必要ヲ認メナト思フノデアリマ
ス、故ニ私ハ其理由タケラ此席ヨリ簡單ニ諸君ニ申上ケテ其責ヲ塞ガウト思フノデアリ
マス、而シテ其第一ハ減債基金ニ千萬圓ノ復舊ニ反對致スト云フコトデアリマス、減債
基金ニ千萬圓ヲ復舊スルノ可否ハ、是ハ今日始ツタル所ノ議論デアリマセヌ、久シイ
所ノ懸案デアリマスガ、併ナガラ此還元論ハ其初ニ於テコノ多少其値打アリ其意味ガ
アツタモノト考ヘマスカレドモ、此時勢ノ變遷ヲ經過シタル今日ニ於テハ、其値打ハ殆ド
滅却シテ仕舞ツタモノト云ハナケレバナラヌト考ヘル、何故デアルカ、歐洲戰爭ノ開クル以
前ニ於キマシテハ、我日本帝國ノ財政經濟ハ極メテ不況ナル有様デアリマシタ、隨ツテ
我帝國ガ外國ニ負ヘル所ノ債務ハ大正十四年ニ五六億、大正二十年ノ期限マデヲ合
セレバ殆ド八億ト云フ高デアッタデアリマス、此八億ノ高ニ對シテ年々三千万圓ノ還
元、是ハ大正二十年度ニナリマシテモ尙ホ三億前後ノ拂殘リガアルノデアリマスカラ、此
拂殘ニ付テ心配サレルト云フコトモ尤モ至極デアル、又一面ニ於テハ前途一朝緩急ノ
アツタ場合ニハ、此戰費ハ何レノ點カラ得ルヤ、ドウシテモ是ハ内外ノ公債ニ求メナケレ
バナラヌ、然ラバ此際ニ公債償還ヲ急ガナケレバナラヌ、斯ウ云フコトノ理由モ多少尤モナ
ル點ガアツタデアリマス、併ナガラ此歐洲戰勃發以來、我日本ノ財政經濟ハ著シキ變化
ヲ來シタノデアリマセウ、諸君ノ御承知ノ通り年々逆調デアッタ所ノ輸出入ハ順調ニ向ヒ

マシテ、年々海外ニ支拂ハナケレバナカッタ所ノ正貨ハ、却テ我國ニ流入スルト云フコトニナツタデアリマス、其結果トシテ債務國デアッタ所ノ我日本帝國ハ、次第ニ債權國ニ今ヤ化シツ、アルデアアリマセヌカ、露西亞ニ於テ、英吉利ニ於テ、佛蘭西ニ於テ、又其他ノ國ニ於テ今ヤ四億ニ垂ントスルノ債務ヲ有スルニ至ツタ、加之内外債ノ借替ヲ以テ外債ヲ償還シタ高モ尠クナイデアリマス、而シテ現ニ本年度ニ於テ當局者ノ説明ヲ承ツテモ八億前後ノ正貨ガ入ルト云フ算ヲ示シテ居ルデアリマセヌカ、果シテ然ラバ我日本國ハ此狀況ニ於テ尙且前途大正二十年ニ於テ三億前後ノ外債ノ殘ルコトヲ心配セネバナラヌト云フ有様デアリマセウカ、大正二十年ニ於ケル三億前後ノ外債、若シ三千万圓償還ラ此儘ニシテ行キマシタ所ガ、我日本ノ財政經濟ノ現狀ニ於テ還サント欲スレバ一二年ノ間ニモ借替若クハ其他ノ手段ヲ以テ三億位ノモノハ償還スルコトガ出來ル、然レニ今日此三億ノ大正二十年度ニ於ケル外債ノ殘金ニ驚イテ、今日ノ場合ニ一般會計カラ二千万圓ト云フ貴重ナル金ヲ繰込シテ、サウシテ外國ノ年賦拂ヲ増サナケレバ不安心デアルト云フ當局者ノ考ハ、恰モ杞人ノ天ヲ憂フルト一般ナル事デハナイカト考ヘマス、當局者ガ此ノ如キ心配ヲサレルト云フコトハ殆ト了解ニ苦シム、何故ナレバ今ノ當局ハ聰明ナル所ノ財政經濟ノ現狀ヲ知リ前途ヲ知ル人々デアアルデアアル、然レニ今日ニ於テ何故ニ斯様ナル謀ニ出ヅルカト云ヒマス、惟フニ私ノ見ル所デハ彼等ガ過去ノ言責過去ノ行掛リニ囚ヘラレテ、此行掛リ言責ヲ打シテ、財政經濟ノ現狀ニ應ジテ臨機應變ノ處置ヲスルト云フ膽力ヲ缺イテ居ルガ故デアルト私ハ考ヘル(拍手起ル)殊ニ政友會ノ諸君ハ積極ノ政策ヲ常ニ主張セラル、所ノ諸君デアアル、積極ノ政策ヲ主張セラル所ノ諸君ガ、此ノ如キ消極モ消極大消極ナル外國債ノ年々ノ年賦拂ヲ此際増サナケレバナラヌト云フガ如キ政策ニ、御贊成ナサルコトハ斷ジテ無イデアラウト私共ハ思ツテ居ル(拍手起ル)諸君ガ之ニ贊成サル、ト云フコトハ極メテ不利益デアアル、今二千万圓ノ金ガ年々ニ我國庫ニアリマセヌカ、今日ノ國運ノ進歩ニ於テ爲サナケレバナラヌ所ノ事業ハ極メテ多デアリマセウ、其爲サナケレバナラヌ所ノ事業ニ此二千万圓ノ金ヲ振向ケルト云フコトニナツタナラバ、恐ラク我日本ノ財政經濟ニ於テ大ニ益スル所ガアルデアナイカト、吾ハ信ズル所ノ者デアリマス、然レニ之ヲ今ヤ不必要ナル所ノ減債基金ニ三千万圓ヲ、更ニ二千万圓償還シテ五千万圓償還スルト云フガ如キハ、今日ノ財政政策ニ於テ其宜キヲ得タルモノトハ考ヘマセヌ、故ニ吾ハ之ニ反對シテ之ヲ一時削減シテ今ノ所臨時軍事實費ニ充當シテ置イテ、徐ロニ其計ヲ前途爲サント欲スルガ故ニ之ヲ反對スルデアリマス、ソレカラ其次ニ此ノ電話事業費デアリマス、電話事業ニ付キマシテハ先刻吾ガ政友早速君カラ一應ノ理由ヲ陳述致シマシタガ、此ノ電話擴張ノ事、停滯シテ居ル所ノ電話ヲ之ヲ架設シナケレバナラヌト云フコトハ吾等シク之ヲ認メルデアリマス、之ニ反對スルデアリマセヌ、併ナガラ我が日本ノ今日ノ財政經濟ハ果シテ政策確立シテ居リマスカ、當局者ガ若シ財政經濟ノ策果シテ確立シテ居ルト云フナラバ、私ガ過日豫算內示會ニ於テ大藏大臣ニ求メタル所ノ「バランシシート」即チ歳出入ノ前途ノ比較表ハ明カニ吾等ニ示スコトガ出來ナケレバナラヌ、然レニ大藏當局者ハ其ノ「バランシシート」ヲ示スコトガ出來ナイ、今ハ出來テ居ラナイ、此ノ冬ニモナツタナラ作シテ見ヤウカト考ヘテ居ル、斯様ナ話デアアル、此ノ答辯ニ依ツテ見マスト政府ノ前途ノ財政

計畫ハ少シモ立ツテ居ラナイ、歳入幾ラアル、歳出幾ラアル、之ヲ國家ノ必要ナ事業ニ割當テ、如何ナル經營ヲ爲スカト云フ此ノ財政計畫ハ更ニ立ツテ居ラヌト云フコトヲ證明シテ居ル、斯ノ如ク大藏當局者ガ前途ノ財政經濟ノ策ガ更ニ確立シテ居ラヌ、蒙味——曖昧模糊デアルト云フノニ、此ノ場合ニ於テ單リ電話事業ニ一億數百萬圓、之ヲ七年間ノ繼續事業ニシテサウシテ公債ヲ支辨サスルト云フコトヲ今日極メルガ好キハ所謂暗中摸索ノ政策ト言ハナケレバナラヌ(拍手起ル)諸君ハ斯ノ如キ暗中摸索ノ政策ニ贊成セラレテ前途ノ我が國ノ財政計畫ヲ如何ニセントサレルデアリマスカ、此於ニテ吾等ハ此ノ乙號——乙號全部ヲ削除シテ前途此ノ公債支辨ニスルト云フコトニハ反對スル者デアリマス、併ナガラ本年度ニ於ケル電話ノ擴張事業ハ之ヲ否認スルデアナイ、故ニ私共ハ此ノ事業公債條例ニ依レル募債ノ殘リ二百九十餘萬圓、之ヲ募債スル其ノ足ラザル部分ヲ借入金ニ依テ之ヲ支辨セシメントスルノ方針ヲ取ツタデアリマス、ソレカラ其次ハ所謂拓殖局デアリマス、拓殖局ナルモノハ實テ内閣ノ直屬ヲ設ケラレテ、然モ其總裁ニハ親任官トシテ政友會ノ元田肇君ガ就カレテ、曾テ經驗ノアル局デアリマス、其當時果シテ是ガ有效ニ有利ニ活用サレルナラバ、爾來ハ廢サレル氣遣ヒハナクシテ必ズ繼續シタデアリマセウガ、是ガ廢セラレタ點カラ見マスト云フト、是ハ有效ニ活用サレナカッタ、成績モ不十分デアッタ爲デアリマセウ、然レニ今日此ノ拓殖局ヲ設ケル、然モ其ノ拓殖局ノ組織ハ前トハ一等下ツテ今度ハ勅任ノ局長デ、是ガ拓殖局ヲ置クト云フコトデアリマス、斯ノ如キ局ヲ内閣ニ直屬セシメテ果シテ我日本帝國各植民地ノ植民政策ヲ統一スルコトガ出來レバデアリマセウカ、私ハ斷ジテ出來ナイデアラウト思フ、元田君ニ敬意ヲ表スル點カラ考ヘテモ、私ハ斷ジテ出來ナイデアラウト思フ、若シ政友會ノ諸君ガ元田君ニ敬意ヲ表セラル、ナラバ、斯様ナモノガ元田君ノ時デスラ尙ホイカナイカヲト云ツテ廢案ニ御同意アツテ然ルベキコト、思フ、若シソレ今日ノ時局ニ於テ拓殖務省若クハ植民省ト云フ如キモノデモ設ケテ、サウシテ英吉利ノ例ニ倣フ植民地ノ經營ヲ統一スルト云フナラバ、是ハ暫ク別問題デアツテ、吾等ハ之ニ同意スルコトガアルカモ知レヌデアリマス、次ハ教育會議費デアリマス、教育會議費ハ唯今政友會ノ諸君モ御不滿足デアラレルヤウデアアルガ、過去ノ教育會——先年之ヲ設ケテ全部紛擾ノ間ニ終ツテ一向實績ガ舉ツテ居ラナイ、斯ノ如キモノガ幾ラ續イタ所ガ何ニモナラヌト云フコトハ諸君モ御認メニナツテ居ルヤウデアアル、然レニ今之ヲ内閣ニ直屬セシメテ、サウシテ茲ニ教育會議ト云フモノヲ起シテ、果シテ今マデノ教育會議ノ面目ヲ一新シテ、此教育會議ノ眞面目ヲ發揮スル——值打ヲ發揮スルト云フコトガ出來レバデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、私共ハ是ヲ最モ疑問トスルデアリマス、隨テ此教育會議費全部ニ反對スルデアリマス、以上ガ憲政會カラ豫算案ニ對シテ修正案ヲ提出致シマシタ反對ノ理由デアリマス

○議長(大岡育造君) 此修正意見ニハ成規ノ贊成ヲ要スルデアリマス、御贊成ガアリマスカ

〔贊成「贊成」ヲ聲起ル〕

○議長(大岡育造君) 贊成ガアルト認メマス、依テ修正ハ成立シタル旨ヲ告ゲマス——鈴木梅四郎君

(鈴木梅四郎君登壇)

○鈴木梅四郎君 諸君、私ハ我黨同志ノ慎重ニ調査致シタル豫算修正案ノ理
由ヲ説明致シマス、修正ノ項目金高ニ付キマシテハ茲ニ申シマセヌ、委員長カラ其梗概
ヲ報告サレマシタカラ之ヲ略シマス、私共ノ修正意見ハ憲政會諸君ノトモ違ヒマス、又
現内閣ノ立テラレタモノトモ大分趣意ガ違フ居リマス、其査定致シタル項目金高
ハ誠ニ少ナク御坐イマスケレドモ、之ヲ査定致シタル主義ニ付テハ非常ナ差ガアルモ
ト信ズルノデアリマス、私共ハ此歐羅巴大戰ノ始シタ以後議會ハ幾度も開カレマシタ
ガ、其都度此歐洲大亂ノ齎ラス所ノ大變化、殊ニ財政計畫ニ與フル所ノ大變革、非
常ナモノデアルト云フコトヲ度々此壇上デ主張致シタル御坐イマスルガ、今日ニ至リマ
シテモ此論ハ益々其必要ヲ認メマシテ主張スルノデアリマス、此大變局ニ當リマシテ我國
ハ如何ニスルカ、所謂國策ノ問題ニナリマスレバ我黨ガ先年來主張致シテ居リマスル學
問ノ獨立、軍器軍需ノ獨立、財政經濟ノ獨立ト云フモノヲ以テ益々此國策ノ重要ナル
點ト致シテ居ルコトハ變ラナイノデアリマス、所デ此國策樹立ノ見地カラ致シマシテ帝國ノ
前途ヲ考ヘテ見マスルト云フト、國家ノ存立ヲ圖リマスル爲メニ要スル國費ハ頗ル多イ
ノデアリマス、其ノ國費ノ主ナルモノヲ一寸數ヘテ見マスレバ、國防設備ノ充實ヲ御坐イ
マス、即チ最新科學應用ノ兵器彈藥ヲ備ヘマシタコロノ海陸軍ノ設備、是ガ最も多
額ノ金ヲ要スルモノデアリマス、次ニハ農工商即チ國富増進ニ關スル設備、農工商ヲ
盛ニ致シマシテ國富ノ増進ニ必要ナルトコロノ設備ヲ完成スルト云フ此費用モ中
少ナカラヌ、即チ主ナルモノヲ申上ケマスレバ運輸交通機關ノ完成、道路港灣ノ修築、
植林治水等ノ事業中ニ是ニモ非常ナ金ヲ要スルノデアル、次ニハ教育及衛生設備ノ改
良、是ニモ中々多額ノ金ヲ要スルノデアリマス、第四ニハ完全ナル理化學研究所ヲ設ケ
マシテ、此商工業ノ實業ハ無論ノコト、海陸軍備ノ上ニモ此理化學ノ應用ヲ遍クスルト
云フ必要ガアリマシテ、此點ニ向ッテモ相當ナ費用ヲ要スルノデアリマス、又次ニハ多數
ノ庶民階級ノ安寧幸福ヲ増進致シマス所ノ問題、政策上ニ向ッテモ今後國家ハ相當
ノ費用ヲ使ッテ行カナケレバナラヌノデアリマス、今日マデ帝國ノ經濟組織ト云フモノ
ハ至極簡單デアリマシテ、歐米ノソレト較ベテ見マスルト、餘程ノ差ガアツタ爲メニ、國民
貧富ノ懸隔ノ度ト云フモノモ甚ダ其間ガ短カッタノデアルガ、此四五年來殊ニ歐洲大亂
ノ影響ヲ受ケマシテ、此經濟組織ノ變化ガ著シキ變化ヲ生ジタ、即チ從來ハ百萬圓ヲ
持ッタル人ハ金持トシタル御坐イマスガ、今日ハ何千萬圓ト云フデナケレバ金持デナイト云
フヤウナ世ノ中ニナッテ居リマス、中々一方ニ從來ニ見ナイ所ノ大金持ガ澤山出來テ居リ
マスルガ、其反對ニ又非常ニ多數ノ貧乏人ガ出來テ居リマス、殊ニ近來ハ米價騰貴其
他諸物價ノ騰貴ノ爲メニ、下級ノ庶民階級ト云フ者ハ往々生活難ヲ叫ンデ居ルト云フ
事ガ出來テ居リマスカラ、此問題政策ノ相當ナル實行ト云フモノニモ確カニ相當ナ金ヲ
拂ッテ行カナケレバナラヌト云フ茲ニ必要ガアルノデアリマス、國家ノ前途ヲ考ヘマスルトマ
デ此外ニモアリマスケレドモ、主ナルモノヲ舉ゲタケテモ斯様ニ國費ヲ要スル問題ガ多イ
ノデアリマス、所デ此國費ノ膨脹ニ對シテ財源ヲ求メタナラバ何處ニ得ラレルカ、是レハ
諸君、憲政會ノ諸君ニモ政友會ノ諸君ニモ御尋ヲ致シタイ、此膨脹スベキ國費ノ財源
ヲ何レニ向ッテ求メルカ、私共ハ今日現在ノ所デ考ヘマスルト、此膨脹スベキ國費ノ財

源ト申シマスルモノハ、國運ノ進展ニ依テ生ジマスル國庫ノ自然增收ト云フモノハ確カニ
其ノ一ツデアリマス、ソレカラ行政ノ整理官業及官有財產ノ整理及利用、是ガ確カニ財
源ノ又一ツデアリマス、唯今日ノ稅制ノ中テ殊ニ間接稅ノ如キハ最も大整理ヲ致シマシ
テ、負擔ノ均衡ヲ計ルノ必要ハアリマス上ニ、寧ロ減稅ヲ要スベキモノガアルノデアリマス
ガ、今日現在ノ稅制ノ上ニ於キマシテハ、到底此上ニ増稅ヲシテ相當ナ收入ヲ得ラレル
見込ノモノハ無イノデアリマス、唯茲ニ吾々ガ一ツノ新財源ハ何デアルカト申シマスレバ、
英國邊リデ此時局ニ對シテ行ッテ居リマス富豪階級ニ課スベキ臨時ノ戰時稅、及此階級
ニ課スベキコロノ永久ニ互ル直接稅、此財源ガ有ルト信ズルノデアリマス、此外ニハ即チ
國運進展ノ爲メニ生ズル自然增收ト行政ノ整理、官業及官有財產ノ整理及利用ト
云フ此二ツノ外ニハ唯今申シマシタ富豪階級ニ課シマスル戰時臨時ノモノト、永久ノモ
トノ此三點ヨリ外ニハ此膨脹スベキ國費ノ財源ニ供スル所ノモノハナイデアリマス、此
事ハ如何ナル經濟學者ガ出テ來テ考ヘマシテモ、如何ナル大政治家ガ出テ來テ考ヘマシ
テモ、此外ニハ恐クハ案ガ有ルマイト私ハ確信シテ居ルノデアリマス、果シテ然ラバ此財
源ノ甚ダ豐カデナイモノニ對シテ、一方ニハ國家ノ存立上必要ナル多額ノ國費ヲ要スル
ト云フ場合デアアル以上ハ、茲ニ非常ナル覺悟ヲ持ッテカ、ラナケレバナラヌ、即チ今後ノ
整理ト云フモノハ一切舊來ノ慣習成行ト云フモノニ囚ハレテハナラヌノデアル、大小輕
重ヲ區別シテ其大ナルモノ重キモノヲ撰シテ之ニ專ラ力ヲ盡シ、其小ナルモノ輕キモノハ
ドン／＼打捨テ、行ッテ、所謂革新的ノ大鉅主義ヲ斷行シテ行カナケレバ、此大時局
ヲ無事ニ經過シテ行クコトハ出來ナイト云フ考デ御坐イマス、即チ此大鉅主義ノ一例
ヲ陸軍ノ實際ニ照シテ御話シテ見マセウ、陸軍ニ於キマシテハ師團兵員ノ増加即チ現
役兵員ノ増加モシ、ソレカラ兵役年限モ改メヌ、明治初年以來設備シタル所ノ各種
科ノ中、既ニ時世ノ進展ノ爲メニ存在ノ效力ヲ減乏シテ居ルモノデモ其儘ニ存シテ、サ
ウシテ更ニ電信、電話、自動車、飛行機、飛行船、其他最新科學應用ノ新設備ヲモ
完成シヤウト云フヤウナ陸軍ノ現在ノヤリ方デハ、到底財政ハ之ヲ許サヌノデアリマス、
斷然ト茲ニ一ノ覺悟ヲ定メナケレバナラヌ、ドウ覺悟ヲシマスルカト云ヘバ、師團及兵員
ノ所謂常備軍ト云フモノ、兵員ハ成ルベク之ヲ減少シテ費用ヲ節減スル、兵役年限ノ
如キモ或程度マデ確カニ短縮ヲシナクテハナラヌ、又時世後レノ今ノ特科隊、是ハ廢止
スル、サウシテ最新科學應用ノ新設備デアアル所ノ自動車トカ、飛行機、飛行船、其他
新ナル所ノ武器ヲ採用スルト云フコトニ專ラ力ヲ盡シテ、サウシテ一朝事アツタ時分ニ
ハ、所謂國民皆兵ノ大動員ヲ爲シ得ルヤウニ改メテ行カナケレバ、陸軍ハ此時世ニ
向ッテ到底時世後レタル免レナイ、即チ斯様ノ方法ニ陸軍ハヤッテハドウカト思ヒマス
シ、即チ是ガ陸軍ノ一例デ御坐イマスルガ、政務百般此筆法デ行カナクテハナラヌト私
共ハ信ジテ居ル、所デ寺内内閣ガ此度此議會ニ提出サレマシタ議案ニ付キマシテ、其施
政ノ方針ヲ觀察シマスルニ、相變ラズ姑息平凡デ、過去ノ所謂慣習成行ニ囚ハレタ點
ガ多イノデアリマス、尤モ之ヲ前大隈内閣ノソレニ比ベテ見マス、聊カ進歩シタ點ガアリ
マス、何故ナレバ此國策ノ中デ小ナル問題——大分此度此議會ニ提出サレマシタ問題
ガアリマス、即チ免モ角モ小ナリト雖モ國策ノ一部分ニ屬スルモノガ出テ居ルデガ前内
閣ニ優ッテ居ルト云フ位ノモノデ、此大時局ニ對スル根本施設ノ意義ト云フモノニ至ッテハ

全ク觸レテ居ラヌト云フコトハ、大隈内閣ト殆ト同一デアルト私ハ斷言スルコトヲ憚ラヌデアリマス、何故私ニ左様ニ申スカト云フト、即チ國防計畫、此一ツヲ擧ゲテ御話シテモ宜シ、御承知ノ通り國防計畫ハ帝國財政ノ中樞ノ重要ナル問題デ、一番多クノ金ヲ要スル問題ハ國防計畫、所ガ現内閣ハ此國防計畫、即チ先帝御在世ノ時分、明治四十二年頃ニ定メラレタ所ノ國防計畫ヲ其儘襲サレテ、其計畫ニ依テ矢張り此度ノ陸軍モ海軍モ少キヲ、小出シニ計畫ヲ發表サレテ居ルト云フコトデアル、是ガ私ハ所謂根本義ニ少シモ觸レテ居ラヌト云フコトヲ申スデアリマス、御承知ノ如ク此時局ノ始メ以來、種々ナ變化ハ起リマシタガ、我が國防ノ計畫ニ最モ密接ノ關係ヲ有スル重要ナル事實ヲ擧ゲマスレバ、露西亞帝國、即チ帝國主義ヲ盛ニ鼓吹シ又實行シテ世界ヲ恐レサセタ所ノ露西亞帝國ハ、民主主トスル所ノ共和國ニナッタデアリマス、今日マデ安定ヲ得ザルヤウデアリマスケレドモ、併ナガラ露西亞ノ民主的共和政治ト云フモノハ決シテ之ヲ改メルモノデハナイ、今後確ニ是ガ同國ノ政體トナッテ永續スルモノト見テ差支ナイデアリマス、ソレカラ米國ト申シマスモノハ從來平和主義ヲ唱ヘテ居リマシタ、陸軍ノ如キモ殆ト唯名目ヲ存スル許リデアル、海軍ハ聊カ見ルベキモノガ御坐イマシタガ、要スルニ米國ハ平和ヲ主トシテ軍備ト云フモノハ非常ニ大切視シテ居ラカッタ國御坐イマシタガ、此度ノ歐羅巴ノ大戰ニ當リマシテ米國ハ非常ニ金ヲ投シテ海軍ノ大擴張ヲ致シマシタ、又陸軍モ相當ニ充實ヲ致シテ居リマス、此國際關係デ太平洋ヲ隔テ居ル所ノ米國ニ於ケル此國防計畫ノ大變革、又一章海ヲ隔テ居ル所ノ露西亞ノ政體ノ變化、此外ニ武器ノ進歩ト云フモノガ非常ニ進歩ヲ致シテ居リマス、又軍器軍需ノ使用數量ト云フモノガ、武器ノ進歩ト共ニ非常ニ激増シテ居ッテ、連モ少數ノ官立ノ砲兵工廠等テ拵ヘル武器彈藥デハ戰爭ハ出來ヌト云フ大事實モ此處ニ出來テ居ルデアリマス、此ノ四ツノ事實デケデモ我國國防計畫ハ確ニ速ニ之ヲ變更シテ時勢適スル所ノ計畫ヲ立テナケレバナラヌト云フ事ハ、三尺ノ童子モ明瞭ニ分ル問題デア、然ルニ現内閣ニ於ケレマシテハ此計畫ハ無イデア、實ハ此程モ豫算委員會ニ於テ首相並ニ陸軍大臣ニモ此問題ヲ質問致シタガ、根本的ニ變更スルト云フヤウナ御考ハ無クシテ、今後變更ヲ企テル積リデアルト云フヤウナ御話デアリマス、私ハ此點ニ向ッテ希望警告ヲ申シテ置キマシタガ、要スルニ斯様ナコトデ御坐イマシテ、非常ナ大金ヲ要スル場合デ御坐イマシタカ、先づ第一ニ此時局ニ對スル政策トシテハ即チ根本的ニ財政ノ基礎ヲ立換ヘテ行ク、即チ財政計畫ノ中デ一番金ヲ要スル國防計畫ヲ先ヅ輪廊デケデモ宜シカラ之ヲ定メ、サウシテ他ノ一段ノ政務ニ要スル費用ハ國防費ト對照シテ、彼此好ク隨テ新ナタル茲ニ財政計畫ヲ立テバナラヌト云フコトハ此上ノ説明ヲ俟タズシテ明瞭デアルト信ズルデアリマス、斯様ナ見地カラシテ私共此度ノ財政計畫ニ對シテハ四ツノ主義ヲ以テ査定シタデアリマス、此四ツノ主義ハ何デア、カト云フト、根本問題ヲ解決シタ後ニ研究調査ヲシテ決定スベキモノ、ソレカラ第二ハ行政整理ノ意義ヲ以テ之ヲ査定シタルコト、ソレカラ緊急ヲ要セザルモノ、徐ニ研究ヲシテ宜シモノ、第四ハ會計法履行ノ意義ヨリスルモノ、此四ツノ主義ヲ以テ査定ヲ致シタノ御坐イマス、即チ陸軍省所屬ノ士官補充方法改正ニ關スル經費外八件、大藏省所管鹽專賣倉庫費外一件併セテ十件御坐イマシテ、此金額ガ二百九十四万七千七百九十圓デアリマスガ、是ハ所謂根本問題ヲ解決シタ後デナケレバ之ヲ決定スルコトハ出來ヌモノトシテ査定シタデアリマス、全體ヲ徹頭徹尾否認スル譯デアリマセヌ、根本問題ヲ先ヅ決定シテ云フ意義カラ之ヲ査定シタデアリマス、次ニ内務省所屬ノ警察特別施設ニ關スル經費外一件、大藏省所管國債整理基金繰入金ノ増外二件、農商務省所管油田調査費一件、文部省所管ノ東北帝國大學新設費一件、併テ七件、此金額ガ二千二百十万八千八百九十三圓、是ハ行政整理ノ意義ヲ以テ査定ヲ致シタデアリマス、唯今憲政會ノ加藤君ハ二千万圓ヲ非常ニ大問題トシテ論議サレマシタガ、私共ハ此問題ハ成程二千万圓ハ少額デアリマセヌガ、左程大問題トハ思ハナイ、之ヲ還元スルトセヌト云フコトハ餘リ大問題トシテ居ラナイ、併ナガラ吾々ハ行政整理ノ意味カラ言フデ今日法律ヲ定メテ置キマスル國債基金ハ三千万圓ヲ結構デア、後ハ剩ッタナラバ何時デモ自由償還ヲシテ宜シ、サウシテ此費用ハ他ノ必要ナル用途ニ向ケル、餘リ加藤君ノ如ク重要ニハ致シマセヌケレドモ、左様ナ意義ニ於テ之ヲ査定致シテ居ル、内務省所管ノ北海道拓殖費一件、九十六万八千八百二十九圓ト云フモノハ、第三ノ所謂緊急ヲ要セザルモノトシテ之ヲ査定ヲ致シマシタ、次ニ陸軍省所管ノ東京大阪兩砲兵工廠豫算豫備費二件、合セテ五千二百萬圓ハ第四ノ所謂會計法履行ノ意義ヨリ之ヲ査定シタデアリマス、此四ツノ主義ノ中デ第二第三即チ行政整理ノ意義緊急ヲ要セザルモノト云フ、此二ツノ點ニ於テハ殊更ニ茲ニ説明ヲ要セズシテ諸君ハ御了解ト思ヒマスカラ、ソレハ止シマスガ、此第一ノ根本問題解決後ニスベキモノト、第四ノ會計法履行ノ意義ニ反シテ査定致シタ、此二點デケハ茲ニ一言ノ説明ヲ要スルデアリマス、ソコデ此根本ヲ決定致シテ、サウシテ其後ニヤルト云フ項目モ中ニ多イノテ御坐イマスルカラ、一々ハ申シマセヌガ、砲兵工廠新設ノ件デケニ付テ一言ヲ加ヘテ置ク、御承知ノ通り是ハ朝鮮ニ砲兵工廠ヲ設クルト云フノ御坐イマスルガ、先刻説明致シマシタル如ク、今後卒サ戰爭ト云フ時ニハ、兵器彈藥ノ必要ノ量ト云フモノハ非常ニ多イト云フコトハ諸君モ御承知ノ通り、例ハ英國デハ三箇ノ官有ノ砲兵工廠ヲ拵ヘテ居ル兵器彈藥ハ足ラヌデ、所謂工業動員ヲ實行致シマシテ、全國ノ工場デ兵器彈藥ヲ拵ヘ得ル工場ハ總テ之ヲ徵發シテ、唯今兵器ヲ拵ヘテ居ル其數ハ四千六百ノ多數、是ハ昨年ノ末ノ調査デ御坐イマスガ、四千八百ノ多數ニ上ッテ居ルデア、御座イマス、サウシテ是ガ日々夜々ニ拵ヘテ、始メテ羅歐巴ニ派遣シテ居ル所ノ陸軍ノ動員ガ出來ルト云フデアリマスカラ、今日ノ戰爭デハ如何ニ多ク彈丸砲藥ヲ使フカト云フコトガ是デモ分ル、所デ我國帝國デハ大阪ノ砲兵工廠ト東京ノ砲兵工廠トノ二箇所ガ御坐イマス、其上一ニテ、此度朝鮮ハ一ツ設ケテドウナルデ御坐イマセウカ、卒サト云フ時ニ當リマシテハ、ドウシテモ、英國ガ實行致シテ居ル通りニ民間ノ工場ヲ動員シテ、サウシテ官民併セテ國ノ力ヲ擧ゲテ兵器彈藥ノ製造ニ從事セナケレバ戰爭ガ出來ヌコトハ明白デア、然ルニ之ヲヤラウト致シマスレバ、今日唯今カラ民間工場ニ就テ十分調査モシ、又獎勵スベキモノハ獎勵モシマシテ、卒サ事アッタ時ニハドレデケノ動員ヲシテ、ドレデケノ兵器彈藥ガ出來ルカト云フ計畫ヲ立テナケレバナリマセヌ、是ガ唯民間ニ放任シテ置イテハ出來ナイデア、一朝事有ツタ時分ニ工業動員ヲスルト云フ場合ニハ、平生カラ多少ハ陸海軍デ要スル所ノ兵器彈藥ノ註文ヲシテ、其技術ヲ練習シ、其動員ヲ十分ニ養ウテ置

百九十圓デアリマスガ、是ハ所謂根本問題ヲ解決シタ後デナケレバ之ヲ決定スルコトハ出來ヌモノトシテ査定シタデアリマス、全體ヲ徹頭徹尾否認スル譯デアリマセヌ、根本問題ヲ先ヅ決定シテ云フ意義カラ之ヲ査定シタデアリマス、次ニ内務省所屬ノ警察特別施設ニ關スル經費外一件、大藏省所管國債整理基金繰入金ノ増外二件、農商務省所管油田調査費一件、文部省所管ノ東北帝國大學新設費一件、併テ七件、此金額ガ二千二百十万八千八百九十三圓、是ハ行政整理ノ意義ヲ以テ査定ヲ致シタデアリマス、唯今憲政會ノ加藤君ハ二千万圓ヲ非常ニ大問題トシテ論議サレマシタガ、私共ハ此問題ハ成程二千万圓ハ少額デアリマセヌガ、左程大問題トハ思ハナイ、之ヲ還元スルトセヌト云フコトハ餘リ大問題トシテ居ラナイ、併ナガラ吾々ハ行政整理ノ意味カラ言フデ今日法律ヲ定メテ置キマスル國債基金ハ三千万圓ヲ結構デア、後ハ剩ッタナラバ何時デモ自由償還ヲシテ宜シ、サウシテ此費用ハ他ノ必要ナル用途ニ向ケル、餘リ加藤君ノ如ク重要ニハ致シマセヌケレドモ、左様ナ意義ニ於テ之ヲ査定致シテ居ル、内務省所管ノ北海道拓殖費一件、九十六万八千八百二十九圓ト云フモノハ、第三ノ所謂緊急ヲ要セザルモノトシテ之ヲ査定ヲ致シマシタ、次ニ陸軍省所管ノ東京大阪兩砲兵工廠豫算豫備費二件、合セテ五千二百萬圓ハ第四ノ所謂會計法履行ノ意義ヨリ之ヲ査定シタデアリマス、此四ツノ主義ノ中デ第二第三即チ行政整理ノ意義緊急ヲ要セザルモノト云フ、此二ツノ點ニ於テハ殊更ニ茲ニ説明ヲ要セズシテ諸君ハ御了解ト思ヒマスカラ、ソレハ止シマスガ、此第一ノ根本問題解決後ニスベキモノト、第四ノ會計法履行ノ意義ニ反シテ査定致シタ、此二點デケハ茲ニ一言ノ説明ヲ要スルデアリマス、ソコデ此根本ヲ決定致シテ、サウシテ其後ニヤルト云フ項目モ中ニ多イノテ御坐イマスルカラ、一々ハ申シマセヌガ、砲兵工廠新設ノ件デケニ付テ一言ヲ加ヘテ置ク、御承知ノ通り是ハ朝鮮ニ砲兵工廠ヲ設クルト云フノ御坐イマスルガ、先刻説明致シマシタル如ク、今後卒サ戰爭ト云フ時ニハ、兵器彈藥ノ必要ノ量ト云フモノハ非常ニ多イト云フコトハ諸君モ御承知ノ通り、例ハ英國デハ三箇ノ官有ノ砲兵工廠ヲ拵ヘテ居ル兵器彈藥ハ足ラヌデ、所謂工業動員ヲ實行致シマシテ、全國ノ工場デ兵器彈藥ヲ拵ヘ得ル工場ハ總テ之ヲ徵發シテ、唯今兵器ヲ拵ヘテ居ル其數ハ四千六百ノ多數、是ハ昨年ノ末ノ調査デ御坐イマスガ、四千八百ノ多數ニ上ッテ居ルデア、御座イマス、サウシテ是ガ日々夜々ニ拵ヘテ、始メテ羅歐巴ニ派遣シテ居ル所ノ陸軍ノ動員ガ出來ルト云フデアリマスカラ、今日ノ戰爭デハ如何ニ多ク彈丸砲藥ヲ使フカト云フコトガ是デモ分ル、所デ我國帝國デハ大阪ノ砲兵工廠ト東京ノ砲兵工廠トノ二箇所ガ御坐イマス、其上一ニテ、此度朝鮮ハ一ツ設ケテドウナルデ御坐イマセウカ、卒サト云フ時ニ當リマシテハ、ドウシテモ、英國ガ實行致シテ居ル通りニ民間ノ工場ヲ動員シテ、サウシテ官民併セテ國ノ力ヲ擧ゲテ兵器彈藥ノ製造ニ從事セナケレバ戰爭ガ出來ヌコトハ明白デア、然ルニ之ヲヤラウト致シマスレバ、今日唯今カラ民間工場ニ就テ十分調査モシ、又獎勵スベキモノハ獎勵モシマシテ、卒サ事アッタ時ニハドレデケノ動員ヲシテ、ドレデケノ兵器彈藥ガ出來ルカト云フ計畫ヲ立テナケレバナリマセヌ、是ガ唯民間ニ放任シテ置イテハ出來ナイデア、一朝事有ツタ時分ニ工業動員ヲスルト云フ場合ニハ、平生カラ多少ハ陸海軍デ要スル所ノ兵器彈藥ノ註文ヲシテ、其技術ヲ練習シ、其動員ヲ十分ニ養ウテ置

カナケレハ出來ナイノデ、即チ兵器彈藥ノ問題ニ付テハ根本問題ハ此處ニアル、之ヲ解決セシテ朝鮮ニ小ナル所ノ砲兵工廠ヲ拵ヘルナドハ、全ク此時局ニ對シテ殆ト吾ハ批評ノ言葉ノナイヤリ方アルト信ズルノデアリマス、此意義ニ於テ、此根本問題ノ解決ヲ先ヅシテ然ル後ニ是ガ決定サルベキモノトシテ査定致シタルデアリマス、次ニ第四ノ主義、會計法履行ノ意義ニ基クモノデアリマス、是ハ矢張一言ヲ茲ニ加ヘテ置キマス、由來我陸軍省所管ノ砲兵工廠ノ會計始末申シマスモ、不透明ナモノガ多カッタノデアリマス、我黨ハ先年來主トシテ之ヲ指摘致シマシテ、陸軍當局者ノ反省ヲ求メ警告ヲ致シタル御坐イマス、近頃ハ大分其忠告警告ヲ容レラレマシテ、面目ヲ改メラレタルハ相違ナイ、豫算案ニ付キマシテ見マシテモ改マデ居リマス、併ナガラ此度ノ此提案ニ五千二百萬圓ト云フ大金ヲ、此砲兵工廠ノ豫備金ト云フ名ノ下ニ之ヲ計上シテ居ルト云フコトハ、全ク會計法ノ精神ニ私ハ戾ツタヤリ方アルト思フ、斯様デモハ確ニ違法變則ノヤリ方デアリマス、若モ此二ツノ砲兵工廠ニ於テ、是ダケノ金ガ必要デアルト云フナラバ、作業費ノ上ニ何故必要ダケノ金額ヲ計上シテ其追加ヲ求メラレナイカ、之ヲ求メテ此種ノ金ノ如キハ、一般會計ノ所謂官業ト云フ官有財産ノ收入ニ繰入レラレルト云フノガ正當ノ手續デアルト考ヘルノデアリマス、斯様ナ主義ヲ以テ私共ハ之ヲ査定ヲ致シマシテ、終リニ臨ミマシテ私ハ政府當局者ニ御忠告ヲ致シテ置ク、ドウゾ斯ノ如キ大時局ニ當ッテ、從來ノ慣習成行ニ因ハレタル所ノ財政計畫ノ一切止メラレテ、一日モ早く此時局ニ應ズル所ノ計畫ヲ樹テラレルト云フコトヲ望ム、ツレハドウカト申シマスレバ、則チ財政上ノ中樞問題アル所ノ、國防計畫ノ變更ヲ十分ニ之ヲ四十年後マデモノヲ、此處デ改メ樹テラレト云フコトハ六ヶ敷イニシタ所デ、此ノ所十年十五年後ノ間ノ事ダケハ切メテ輪廊デモ立替ヘラレテ、サウシテツレニ向ッテ費用ハ凡ソドノ位デアル、ツレカラ他ノ一般ノ政務ニ所謂必要ナル所ノ費用ハドウデアル、其按排ヲ立テ、此時局ニ對スル所謂國策ノ樹立ト云フ事ヲ一日モ速ニ實行セラレンコトヲ私ハ警告要望スルノデアリマス、斯様ナ趣意ヲ以テ私共ハ此豫算案ヲ査定シタルデ、憲政會ノ諸君及政友會ノ諸君モ、私ノ此根本的問題ニ付キマシテ、若シ御論ガ御坐イマスルナラバ承リタイ、十分ニ御教誨ヲ願ヒタイ、私共ハ今日此問題ガ帝國ノ最モ大事ナ問題ト思ウテ居ルノデアリマス、諸君ガ幸ニ吾ニ教ヘラル、ナラバ、諸君ノ説ガ正シクアレバ吾ニハ過ラ改ムルニ客ナル者デアリマセヌ、ドウゾ是ハ國家ノ爲ニ重要ナル問題デアリマス、十分ニ御研究アッテ御高見ヲ承ルコトヲ希望致スノデアリマス

○議長(大岡有造君) 三士忠造君

(三士忠造君登壇)

(拍手起ル)

○三士忠造君 諸君、私ハ唯今委員長ヨリ報告サレマシタ通り、原案ニ全部賛成シマシテ修正案ニ反對致ス者デアリマス、修正案ハ加藤政之助君鈴木梅四郎君ノ兩君ヨリ御提出ニナツテ居リマス、加藤君ノ提出ノ件數ガ五件、國民黨ノ鈴木梅四郎君ノ修正案ハ餘程多數ニ上ツテ居リマス、一々之ニ對シテ辯駁ヲ試ミマスコトハ餘程煩雜デアリマスガ故ニ、單ニ敬意ヲ表シテツレダケニ止メテ置キマス、主トシテ憲政會ノ諸君ノ修

正案、就中減債基金問題、電話擴張問題、ツレカラ減債基金ノ反對ニ付テノ處分問題、是等ニ付テ主トシテ私ノ意見ヲ申上ケテ見タイト思フノデアリマス、減債基金問題ハ不幸ニシテ吾ニト憲政會諸君トハ常ニ意見ヲ異ニ致シマシテ、本議場ニ於テモ屢々論ゼラレタ問題デアリマス、時ニハ是ガ議會ノ解散問題トマデナツタデアリマス、而シテ其主義其政策等ノ根本問題ニ付キマシテハ、最早論議シ盡サレテ居ルガ故ニ、私ハ其根本ニ立入ッテ論議スルコトヲ避ケマス、唯今加藤政之助君ガ此減債基金問題ト云フモノハ戰爭以前ニ於テハ重大ナル問題デアッタケレドモ、戰爭開始後歐洲ノ經濟狀態帝國ノ經濟狀態ノ變更シタル今日ニ於テ、此問題ニ力ヲ入レル必要ハナイト斯ウ言ハレルノデアル、即チ此處ニ新ナニ追加算入シタル二千萬圓ヲ出シテ來テ、急ニ之ヲ拂ハヌケレバラス程ノ問題デアナイ、將來ヲ考ヘテ見ルト云フト、我帝國ノ國債償還期ニ於テ借換等ガ十分出來ル、ツシナ客ナ事ヲ考ヘテ置ク必要ハナイト斯ウ云フデアル、併ナガラ私共ノ考カラ申シマスルコト云フト、此時局ニ依テ生ジタル歐洲ノ經濟界ノ帝國ノ經濟界財政狀態等カラ考ヘマシテ、一層今日ニ於テ減債基金ヲ増加スルコトガ必要デアリ且ツ利益ナリト考ヘルノデアル、即チ戰爭ノ前ニ於キマシテ外債ノ償還スルト云フコトハ、正貨ノ關係ニ於テ餘程苦痛デアリマシタ、所ガ戰爭開始後時局ノ影響ニ依テ帝國ノ貿易ノ狀態ハ非常ニ有利ニナツタ、即チ逆調ノ狀態ガ續イテ居リマシタルヲ順調ニ順調ヲ重ネテ來マシテ、正貨ハ蓄積ノ一方デアリマス、此場合ニ於テ外債ノ償還スルト云フコトハ一ツハ爲替ノ調節ニ於テモ必要デアリ、一ツハ國庫ノ立場ヨリ考ヘマシテ爲替相場ノ關係カラ有利デアル、斯ノ如キ時期ニ於テ國債ヲ成ベク還シテ置クノガ必要デアナイカト云フノガ吾ニ議論デアリマス、ツレカラ基金還元問題ハ國債全體ニ關スル問題デアリマス、當面ノ問題トシテ衆議院ニ於テモ、貴族院ニ於テモ、將又院外ニ於キマシテモ始終論議サレル問題ハ、大正十四年ノ償還期ニ迫ッテ居リマス所ノ英貨四分半利附公債デアリマス、此公債ノ償還期ニ付テ考ヘテ見マスルノニ、今日ニ於テ歐洲ノ市場ハ勿論戰爭中デアリマス、勿論金利ガ高イ、此金利ガ戰爭後ニ非常ニ安ク俄ニ下ルカト云フコトハ到底考ヘラレヌ、サウ致シマスルコト云フト、大正十四年即チ西曆千九百二十五年ノ場合ヲ考ヘテ見マスル、其當時ニ於テ若シ借替ガ出來ルニ致シマシテモ、非常ニ不利ナル條件ヲ忍バナケレバナラス、殊ニ此度ノ戰爭ニ依テ交戰各國ガ起シマシタル公債中デ、千九百二十五年、即チ我大正十四年以後ニ償還期ガ屬シテ居ルモノガ幾百億圓ト云フ多額ニ上ツテ居リマス、即チ幾百億圓ノ多額ノ有利ナル公債ガ歐米ノ市場ニ横溢シテ居ル時ニ於テ、帝國ノ公債ヲ借換ヘルノハ非常ニ不利ナルコトヲ忍バナケレバナラス、遠キ將來ハ免モ角モ、今日帝國ノ財政ニ於テ都合ノ付ク限りハ千萬圓デハ二千萬圓デモ公債ヲ減シテ置クコト云フコトハ當面ノ急務デアナイカト私共考ヘル(謹聽)ト呼フ者アリ)而シテ又憲政會ノ諸君、今日加藤君ノ意見ヲ承リマスルト云フト、此問題ハ重大デナイヤウニ言ハレマス、昨年ノ二月即チ諸君ノ先輩者ガ財政上ノ問題ヲ行詰シテ貴族院ト妥協致シマシタ當時ノ狀況ハ如何デアッタカ、即チ貴族院ト妥協セラレマシタルハ二月四日デアリマス、昨年ノ二月四日デアル、而シテ其二月四日ノ貴族院ノ妥協ノ結果トシテ本院ニ其豫算案ノ追加案ヲ提出サレタルガ二月ノ十日デアリマス、其時分ニ當時ノ大藏大臣タリシ武富君ハドウ云フコトヲ言ハ

レタノデアルカ、又其前ニドウ云フコトヲ言ハレタカト云フコトヲ、今想起スコトヲ希望スル
ノデアリマス、即チ一昨年十二月二十五日ノ議場ニ於キマシテ吾々ハ此金融界ノ狀況
正貨激増ノ模様カラ考ヘマシテ、モウ少シ思切ツテ外債償還ノ基礎ヲ立テルト云フコト
ハ如何ナルカト云フコトヲ德意致シマシテ、其時分ニ武富君ハ是ガ第一杯デアル、即チ
其當時ニ於テ政府ガ大正五年度ニ計畫シテ居ル所ノ外債償還額ハ、借、換ト合セマシテ
一億二千八百六十萬圓ニ達シテ居ル、是以上ニ外債償還スルコトハ帝國ノ財政上ノ不
可能ナルモノナラズ、國庫ノ立場カラ見テ不利益デアルト云フコトヲ言ハレタノデアリマス、
然ルニ超エテ二月四日ニナリマシテ貴族院ト妥協サレタノハ、何デアルカト云フコト、即チ貴
族院ハ更ニ二千萬圓ノ減債基金ヲ増サナケレバ、豫算全部ヲ否決スルコトヲ態度ニ出
タノデアアル、ソコデ内閣ノ壽命ヲ存続スル必要上、此二千萬圓ヲ已ムラ得ズ出シテ來タ
ノデアアル、其時分ニ吾々ハ十二月二十五日ニ於テハ一億二千九百六十萬圓以上ノ
外債償還スルコト云フコトハ不可能デアリ、且不利益デアルト云フコトヲ言ハレタニモ拘ラ
ズ、今日更ニ二千萬圓出シテ來ルト云フコトハ如何デアルカト云フコトヲ責メマシタ時分
ニ、武富君ハ其當時ニ於テハ露國ノ大藏證券引受ガ問題デアッタ、即チ政府ニ於テハ
七千万圓位露國大藏證券ニ應募スル積リデアッタガ、民間ニ於テ決定シタルモノガ五千
萬圓デアッタ、此處ニ二千萬圓タケ餘裕ガ生ジタカラ更ニ此追加豫算ヲ提出シテ、而シ
テ民間カラ二千萬圓ノ資金ヲ借上ゲテ、之ヲ以テ外國債償還スルノデアアル、即チ是ハ
爲替ノ調節其他經濟界ノ必要ニ出テタノデアアル、斯ウ云フ事ヲ言ハレタノデアリマス、其
武富前藏相ノ言明ヲ誠意ニ出タルモノト私共ハ無論解シマス、サウ致シマスルト云フコト、
露國ノ大藏證券七千万圓ト思ツタノガ二千万圓減ツタ、其二千万圓ト云フ差額ガ生
ジタカラ、更ニ此議會ニ向テ議會ノ閉會ニ近イテ居ル時分ニ、他ノ豫算案ガ殆ド全
部議了シテ居ル場合ニ、更ニ二千万圓ノ追加豫算ヲ出シテ來ル程熱心ニ外債償還
シナケレバナラヌカ、斯ウ云フ問題ニナルノデアリマス、貴族院ニ要望セラレタ貴族院ニ要
求セラレタ此二出デタト云フコトハ武富君ハ非常ニ避ケタノデアアル、吾々ハ其事ヲ責メタニ
モ拘ラズ、決シテ貴族院ト妥協ノ結果デハナイ、吾々ハ財政上ニ必要ト認メテ出シタノデ
アルト斯様ニ言ハレタノデアリマス、斯ノ如クニシテ僅ニ二千万圓ノ資金ガ我帝國ノ市場
ニ於テアルコトガ財政經濟ノ上ニ不都合ナルガ故ニ、借換ヲシテ而モ是ガ爲ニ法律
ヲ——法律マデ作テテ單行法マデ作テ、二千万圓出サナケレバナラヌト云フコトハ如何ニ
其當時當局者ガ此場合ニ於テ外債ヲ少シデモ多ク返シテ置クコトガ國家ノ爲ニ有利ナ
リト信ジタカト云フコトガ分ルノデアリマス、斯ウ解釋シナケレバ諸君ノ政治道德ハ立タナ
クナル、即チ唯内閣ヲ維持スル爲ニ國民ヲ欺キ、帝國議會ヲ欺イテ、而シテ二千万圓
ヲ追加豫算トシテ出シタト云フ諸君ノ政治道德ヲ疑ハナケレバナラヌ、私ハ今日ノ場合ニ
於テ、其當時ニ溯テ諸君ノ政治道德ヲ疑ヒマセヌ、然ラバ其言論ガ誠心誠意ニ出デタ
リトスルナラバ、ソレ程ノ外國債ヲ減ジテ置ク必要アリト認メタ憲政會ノ諸君ガ、今日ニ
於テ茲ニ二千万圓ノ金ガアルノデアアル、此二千万圓ノ金ノ工夫ガ付カラ是デケ外債ヲ
返スト云フコトニ反對スルノハ私ハ其理由ヲ解スルニ苦シムノデアリマス、殊ニ此二千万
圓ヲ削リニ就テ如何ナル事ヲ致シテ居ルカト云フコト、此二千万圓ノヤリ處ニ因ツテ居ル、
即チ憲政會ノ諸君ハ此二千万圓ヲ抱ヘテ何處ヘ持ッテ行クカト云フコトニ困ツテ居ルノデ

アル、到頭色々考ヘタ末ニ斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ル、臨時軍事費ノ豫算ニ於テ、政府
ノ計畫ニ依リマスルト二千万圓ノ公債ヲ募集シテ之ヲ歲入トスル、而シテ歲入ノ部ニ於
テ、豫備費トシテ二千万圓取ツテ、此公債三千万圓ハ全部削減スル、其代リ一般會計
ニ於テ減債基金ノ償還額二千万圓ヲ削減シタ、ソレガ出テ來ルカラ、ソレヲ之ニ繰入レ
ル、サウスルト歲入ガ一千万圓減ル、ソコデ豫備金一千万圓ヲ減シテ豫算額ヲ合ハセ
ル、斯ウ云フ窮策ヲヤツテ居ル、是ハ表面ノ議論ト致シマシテハ、先刻承ル所ニ依リマス
ト、公債ヲ募集スルコト云フコトガイカヌト言フ、併ナガラ是マデノ軍事費ノ支出ニ於キマ
シテ如何ナルコトヲ致シテ居ルカ、此歐洲大戰等ニ帝國ガ參加致シマシタ以上ハ、此軍
事費ニ就テハ相當ノ計畫ヲ立テナケレバナラヌ、然ルニ前内閣ニ於テハ、全ク其日暮シノ
財政計畫ヲ立ツテ居ッタノデアアル、即チ幸ニシテ山本内閣時代ノ剩餘金ガアル、其
内——豫算不成立ノ爲ニ剩餘金ガ澤山アリマス、此剩餘金ヲ支出スルコトガ出來タガ、
終ニハ困ツテ貨幣整理資金、森林資金ニマテ手ヲ著ケタデアリマセヌカ、此ノ如クニシ
テ使ヒ果シテ仕舞ツタ、即チソコデ内閣ガ變テ仕舞ツタノデアアル、若シ前内閣ガ繼續シテ
居ッタナラバ如何ニナサル、公債募集ニ反對スルナラバ何ニ財源ヲ取ルカ、即チ此戰爭ノ
行末ハ分リマセヌガ、少クモ今年ノ財源ハ何ニ求メルカ、是ガ承リタイノデアリマス、即チ
大隈内閣ガ存続シテ居ッタナラバ諸君ハ公債ニ依ラズシテ増稅ニ頼ルト云フ御考デアッタ
ノデアアルカ、吾々ハ憲政會ノ諸君ガ此三千万圓ヲ削ツタト云フコトハドウモ其主旨ガ分ラ
ヌノデアリマス、全ク此二千万圓ノ持ッテ行キ所ニアゲンデ居ルノデハナイカト斯ウ思フ
デアリマス、何トナレバ唯今加藤君ノ御演說ヲ承ハリマス、加藤君ハ此二千万圓ヲ以
テ臨時軍事費ノ財源ニ充テ、置ク、一時充テ、置イテ、徐ロニ其用途ヲ考ヘルト言ハレ
タ、徐ロニ用途ヲ考ヘルト云フコトハ、今日諸君ガ言ハレタ義理デアリマセウカ、第一大
限内閣時代ニ於キマシテ減債基金五千万圓ヲ二千万圓ニ減額シ、其二千万圓ヲ鐵道
資金ニ融通致シマシタ時分ニ、吾々ハ反對致シタ、又貴族院ニ於テモ反對致シタ、其
時ニ其當時ノ大藏大臣タリシ若槻禮次郎君、即チ憲政會ノ總務タル若槻禮次郎君
ガ貴族院ニ於テ如何ナル説明ヲ致シタ、貴族院ニ於テ是ハ政府ガ減債基金五千万圓
ヲ維持スル必要ヲ認メナイノデアアルカ、或ハ鐵道資金ニ困ツデ已ムラ得ズ削減スルノデ
アルカト聽カレマシタ時ニ、若槻君ハ減債基金ハ成ベク多ク致シタイ、ケレドモ鐵道ノ資金
ガ足ラヌカラ已ムラ得ズ茲ニ二千万圓ヲ鐵道ニ出スノデアアル、財界ノ事情カ恢復シテ公
債募集ガ出來ル場合ニハ速ニ此二千万圓ハ還元致シマス、斯ウ云フコトヲ契約致シマ
シタ、是ガ即チ貴族院ニ於ケル基金還元問題ノ根據デアアル、大隈内閣ノ公約ニ基イテ
貴族院ガ其約束ノ通りヲ遂行致セト云フ責メタノデアアル、ソレデアリマス、鐵道ノ特
別會計資金トシテ二千万圓ヲ流用スルコトヲ廢メ、廢メタルハ當然此二千万圓ハ
減債基金ニ繰入レナケレバナラヌ、然ルニ何事ガ此二千万圓ヲ此度ノ軍事費ノ公債募
集ノ代リニ一時使ツテ置イテ、徐ロニ其用途ヲ考ヘ、詰リ二千万圓ヲ持ッテ行キ所ニ
困ツテ、今持チアゲンデ居ルノデアアル、吾々ハ解スル所ニ依ルト、今迄ノ憲政會諸君ノ御主
張ハ矢張減債基金ハ三千万圓ニシテ置イテ、已ムラ得ズ二千万圓タケテ帝國鐵道資
金ニ廻ハス、斯ウ云フ事ヲ主張サレテ居ルカト思ヒマス、其御主張ハイツ御捨テニナツタノ
デアアルカ、此主張ノ相違ノタメニ吾々ハ非常ニ爭ツタ、是ガ爲メニ議會ノ解散マデ惹起シ

タ、然ルニ此主張ハイツ御捨テニナツタカ、内閣更迭ト同時ニ御捨テニナツタノデアルカ、今日諸君ガ此主張ヲ有ツテ居ルナラバ、此二千萬圓ヲ此處ニ持ツテ來テ、臨時軍事費ノ財源ニ充テルト云フコトハ天下ニ向ツテ言ハレタ義理アリマセヌ(拍手起ル)ソレカラ電話ノ問題デアリマスガ、電話ノ問題ニ就キマシテハ、此特別會計ノ法律案ガ出マシタ時分ニ、大體ニ於テ委員長ノ報告ニ依テ盡キテ居ルト思ヒマス、之ニ對シテ早速君ガ反對論ヲ御述ベニナリマシタガ、其ノ大要ヲ伺ヒマス、大體ニ於テ憲政會諸君ノ御主張ガ分ル、又其上ニ唯今加藤君ノ御主張ニ依テ大抵御精神ガ分リマシタガ、要スルニ諸君ノ言ハレル所ハ電話擴張事業ハ宜シ、電話急設ノ必要ハ非常ニ迫ツテ居ル、故ニ事業ハ認メル、ケレドモ財源ガ宜シクナイ、財源ガ公債ニ依ルト云フコトハ不確定デアル、不確定デアルニ依テ此ノ如キ計畫ヲ立テルコトハ、イカスト云フ主ニ財源論ノヤウニ伺ヒマシタ、所ガ早速君ノ御意見ハ私ハドウモ其間ニ非常ナ矛盾ガアツテ了解ニ苦シムデアリマス、早速君ノ御議論ヲ聽イテ居リマス、政府ハ再ビ元トノ借金政策ニ立還ツテ來タ、借金政策ノ弊ニ堪ヘナカッタノヲ、段々公債支辨事業ヲ止シテ來タニ、借金政策ヲ再ビ起シテ來タノデアル、吾々ハ借金政策ニハ反對デアル、斯ウ云フ御議論デ一方ハアル、サウスルト憲政會ノ諸君ノ言ハレル通り、今日之ヲ延バシテ置ク、或ハ一年限リノモノヲ認メテ置イテ、來年度カラノ計畫ヲ立テルニ於テモ先ヅ借金——公債ニ財源ヲ求メルト云フコトハ絶望ト認メナケレバナラス、反對ト見ナケレバナラス、然ラバ公債ニ財源ヲ求メナケレバ何ニ財源ヲ求メルカト云フト、一般會計カラ求メルヨリ仕方ガナイ、所ガ一般會計ニ於テ憲政會ノ諸君ノ御主張モ數、伺ヒマシタガ、海軍ノ擴張、海軍ノ軍備補充ノ財源ガ極ツテ居ラス、不安定デアルト云フコトヲ數、言ハレタ、殊ニ武富前藏省ハ前内閣ノ終リニ於キマシテ天下ニ聲明シテ言ハレタコトガアル、即チ海軍擴張、海軍補充計畫ノ財源ハドウシテモ減債基金ニ繰入レナケレバナラス、二千萬圓ヲ増加スルコトハ到底行ハレナイ、將來ニ於テ海軍ノ財源ニ充テナケレバナラスカラシテ、減債基金ノ五千万圓ヲ維持スルコトハ困難デアルト云フコトヲ言ハレテ居ル、即チ一般會計ニ於テ海軍ノ財源ガ考ヘテ見マシテモ、減債基金ニマテ繰入レナケレバ計畫ガ立たヌト云フ御議論デアル、然ルニ又今日日程ニ上ル答デアリマシタ所ノ義務教育費國庫補助法案ナルモノガ憲政會カラ出テ居ル、此案ニ依リマスルト初メ千万圓ヲ支出シテ、段々ニ増加シテ二千万圓ニスル、即チ國庫カラ二千万圓ノ金ヲ市町村ニ交付シテ、而シテ之ニ依テ市町村ノ負擔ノ輕減ヲ圖ルト云フ御議論デアル、サウシマスルト其財源ハ何所ニ求メルカ、一般會計カラ鐵道ニモ資金ヲ持ツテ行カナケレバナラス、海軍ニモ持ツテ行カナケレバナラス、義務教育費ノ方ニモ持ツテ行カナケレバナラスト云フコトニナリマスルト、電話ニ持ツテ行ク金ハ何所ニアルカ、公債支辨ニ依ラズシテ電話ノ擴張ヲ望ムコトハ全ク出來ナイ相談ヲスルノデアル(拍手起ル)即チ諸君ハ非募債主義ヲ唱ヘ來ツタ所ガ、天下ノ財政經濟狀態ガ急ニ變化シタニ拘ラズ、其言論ニ因ハレテ今日餘程不自由ニナツテ居ル、自由ヲ失シテ居ル、而モ一方ニ於テ電話擴張ト云フ事ハ國民ノ輿論デアル、非常ニ希望スル事デアラカシテ、之ニ反對ハ出來ズ、ソレカト云ツテ非募債政策ハ拾ルコトハ出來ヌ、此二ツノ間ニ挾マレテ四苦八苦ヲシテ居ルノデアル(拍手起ル)更ニ適切ナ問題ニ入リマシテ、私共ハ此電話ノ財源タル公債募集ト云フコトハ、此處數年即チ電話擴張事

業ノ完成ニ就キマシテハサウ不可能トハ思ハヌノデアル、何故ナラバ公債支辨事業ニハ限リガアリマス、主トシテ今マデヤツテ居リマスルノハ、鐵道事業バカリデアリマス、今日マデノ狀況カラ考ヘマスルト、此帝國鐵道ノ資金ト朝鮮臺灣ノ事業資金ト其他ニ電話ヲ加ヘマシテモ、僅ニ電話ノ擴張費ノ一番大キクナリマシタ所、即チ千五百万圓ノ公債ヲ要スル場合ニ於キマシテモ、四千万圓乃至四千五百万圓ノ公債ヲ濟ムト思ヒマス、四千万乃至四千五百万ノ資金ヲ帝國ノ市場若クハ海外ニ仰グト云フコトハ、此處七八年ノ後マデ續イテ出來ナイト云フコトヲ私共ハ考ヘナイ、ソレ程ニ帝國ノ力、經濟界ノ力ト云フモノガ貧弱ナリト私共ハ信ジナイノデアリマス、(拍手起ル)矛盾セリ予盾セリ能ク考ヘテ見給ヘ、前ノ方ト大矛盾「又「分ラナイ奴能ク聞ケ」ト呼フ者アリ」大體ソレガケデ電話擴張費ニ對スル議論ハ盡キタト思ヒマスガ、最後ニ私ハ教育會議ノ事ニ就キマシテハ、私ハ多少關係シタ者デアリマスカラ、贊成意見ヲ申シテ置キマス、加藤君ノ御説ニ依リマスルト、是迄ノ教育調查會ナルモノガ長ク會議ヲシテ居ッタケレドモ、小田原評議ニ終ツテ殆ド何等ノ效果ヲ收メテ居ラス、斯ノ如キ事ヲ幾度繰返シテモ同ジデアラカラ此費用ヲ削除スルト云フノガ御趣旨デアリマス、私共モ之ニ對シテ同様ノ感ジヲ有ツテ居リマス、誠ニ耻入ツタ話デアリマスガ、私モ其會員ノ一人トシテ數年間非常ニ勉強シタ積リデアリマス、ケレドモ一向議事ガ進行セズシテ行詰リノ狀態ニ陥ツタデアリマス、併ナガラ其責任者ハ誰デアアルカト云フト、私ハ此前ノ大隈内閣時代ノ文部大臣其人ニアルト考ヘマス(拍手起ル)即チ高田君ガ文部大臣タリシ時代ニ於テ、教育調查會ノ操縱其宜シキヲ得ズ、其前ノ會員タリシ時代カラ自分ガ私心ヲ以テ此會ニ臨ンダ爲ニ、此會ニ向ツテ非常ナ行詰リヲ生ゼシメタノデアル、今日誰ガ其局ニ當リマシテモ、アノ會ノ儘デハ進行ハ出來ナイノデアル、而シテナラズ歐洲戰爭ノ結果トシテ帝國ノ學制ノ上ニ於テ非常ナ改革ヲ要スルモノガアル、而シテナラズ財政經濟ノ上ニモ關係スル問題ガ澤山アルノデアリマスカラ、是マデノ會員以外ニ其會員ヲ増加シ、且之ヲ内閣直屬トシテヤルト云フコトガ、今迄行詰ツテ居ル所ノ教育調查會ヲ復活シテ、而シテ其事務ヲ進行セシメ、速ニ教育事業ノ實績ヲ擧ケ、滿天下ノ不安ヲ懷イテ居ル青年ニ安心ヲ與ヘルノガ重要ト考ヘマスカラ、吾々ハ是迄ノ經過ニ懲リマシテ特ニ一箇年ト云フ期限ヲ切ツテ贊成シタノデアリマス、私ハ其他ノ小サナ問題ニ就テハ議論ヲスル必要ガナイト思ヒマスカラ、是丈ノ問題ニ就テ贊成ノ意見ヲ述ベテ置キマス

(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 早速整肅君

(早速整肅君登壇)

(早速整肅君登壇)

(拍手起ル)

○早速整肅君 諸君、私ハ加藤政之助君ノ提出セラレタル修正案ニ同意ヲスルモノデアリマス、此修正ハ別ニ多岐ニ亘ツテ居ルト云フ譯デハナイノデアリマス、此追加豫算案ヲ議スルニ當リマシテハ、私ハ先ヅ大體ニ於テ此案ノ根柢ヲ批評シ置クノ必要ガアルト考ヘテ居ルノデアリマス、午前ノ電話ノ事業公債法案ノ議事ニ際シマシテモ、私ハ此席ニ於テ一言ヲ申シタノデアリマス、政府ハ財政ノ將來ニ對シテ何等ノ計畫ヲモ示シ得ナイ、斯様ニ私ハ申シタノデアリマス、大藏大臣ハ此豫算案ヲ本會ニ紹介セラル、ニ當リマ

シテ、財政ノ基礎ヲ鞏固ニシテ云々ト云フコトハ口ヲ極メテ此席ニ於テ言明セラレタノデアリマス、ツレニモ拘ラズ將來ノ財政計畫ニ對シテハ大體ノ方針ヲモテス、豫算委員等ニ於テ説明シ得ナイノデアアル、而シテハ大正七年度ノ豫算ヲ紹介スル場合ニ次ノ議會マデハ其計畫ヲ示スコトガ出來ルデアラウト云フ御辯解ニ止マテ居ルノデアリマス、財政ノ前途ヲ考ヘレバ吾々ハ頗ル不安心ニ堪ヘナイ、今日ハ時局ノ發展ニ際シテ、財界頗ル好況ヲ呈シテ居ル、國庫ニハ自然增收ノ金ガ非常ニ殖ヘテ來ル、段々ニ剩餘金ガ澤山アル、又公債ヲ募集スルコトニ關シテモ、非常ニ好キ時期ヲ得テ居ルノデアアル、總テ財源ガ頗ル豊富デアルト云フコトニ任セテ、隨分放漫ナル財政計畫ヲ立テ、居ルノデアリマス、幾年後ニ互ツテノ財政上ノ計畫ハ大藏大臣ノ眼中ニハ無イ、唯眼前ノ辻褄ヲ合セバ宜イト云フコトヲ主眼トシテ、此追加豫算ヲ編成セラレテ居ルノデアリマス、言換ヘテ見ルト追加豫算ノ真正ノ意義ヲ失ヒタル此案ヲ鵜呑ミニセヨト云フ今回ノ提案ノ仕方デアアル、實際ダラシナイ豫算ノ立テ方デアルト私ハ明言ヲ致スノデアアル、大藏大臣ハ此豫算ヲ説明スルニ當ツテ、戰時財政ノ基礎ヲ固クスルニ付テハ頗ル慎重ナル注意ヲ拂ツタ、慎重ナル考慮ヲ廻ラシタナド、稱シテ、又此追加豫算ノ編成ニ際シテハ緊縮主義ヲ採ツテ其方針ヲ定メタト云フヤウナ、頗ル殊勝ナル言葉ヲ放ツテ居ルノデアリマス、併ナガラ此龐大ナル豫算案ハ餘程注意ヲ拂フニ非ザレバ、將來ニ對シテ非常ナル禍ヲ貽スコトヲ免レヌデアラウト云フコトヲ私ハ此席ニ於テ斷言シ得ルノデアリマス、諸君、此豫算案ノ中ニ計上シテアリマス海軍ノ補充費、軍艦製造費二億六千万餘圓、此軍艦製造費ノ財源ニ付テスラ大藏大臣ハ全ク説明ヲ爲シ得ナイノデアリマス（武富君ハドウウデシタト呼フ者アリ）先刻三土君ガ此事ニ付テ一言セラレタヤウデアリマス、私ハ實ニ此財政當局者ノ無政策無方針無責任ヲ非難セザルヲ得ナイノデアリマス、是ハ吾々ノ修正意見ノ材料ニ供スルニモ足ル點デアリマスカラ、私ハ豫算委員會ニ於ケル大藏大臣ノ言葉ノ一節ヲ此處ニ讀上ゲテ見ヤウト思フ「海軍ノ財源ニ付キマシテハ此春ノ議會ニ於キマシテ私ヨリ申シテ置キマシタノデアリマスガ、其趣旨ハ今日海軍ノ將來ニ互ル計畫ガ出テ、之ニ對シマシテ財源ヲ宛行ツテ見テ辻褄ヲ合スト云フコトヲ表ニシテ出スト云フコトデアリマスレバ、所謂減債基金ノ一部ヲ矢張り其一部ニ充テ、表ニ作ツテ御示シシテ説明致サナケレバナラヌ、併ナガラ將來ノ國庫ノ收支其他ノ關係ヲ見マスルト、然レバ減債基金ハドウナルカト斯ウ申シマスレバ、減債基金ハ大體ニ於テ五千万圓ヲ維持スル見込デアアル併ナガラ是ハ七年度ノ豫算ヲ編成致ス其際ニナリマセヌト云フコトハハッキリシタ數字ヲ此處ニ申上ゲルト云フコトハ出來ナイ、斯様ナ事情デアリマス云々」（武富大藏大臣ハ減債基金ハドウシマシタカツレヲ一ツ承リタイト呼フ者アリ）

○議長（大岡育造君） 靜肅ニ……

○早速整肅爾君 大正七年度ノ豫算ヲ編成スルニ當ツテハ、將來ノ財政計畫ヲ示スト明言シテ居ケレドモ、此處ニ計上シテアル軍艦製造費ノ財源ニ付テスラ、何等ノ成案ガ無イノデアリマス、私ハ實ニ財政當局者ノ意見ガ洵ニ曖昧デアアル、洵ニ不得要領デアルト云フコトヲ繰返シテ此席ニ申サナケレバナライ、今日ノ財政當局者ノ無定見ト云フ事ハ此點ノミニ付テモ證據立テ得ルデアリマセヌカ（武富ハドウウデシタト呼フ者アリ）

呼フ者アリ）

○議長（大岡育造君） 靜肅ニ……

○早速整肅爾君 丁度ツレト同シコトヲ公債政策ノ上ニ付テモ、今日ノ財政當局者ノ執ル所ノ方針ト云フモノハ、吾々ハ其精神ヲ了解スルコトガ出來ナイノデアリマス、今日ノ財界ノ狀況ニ於テハ、公債ヲ募集スルコト云フコトハ固ヨリ困難デアナイノデアリマス、今日ノ（降參々々）ト呼フ者アリ）是カラ後ヲ如何ニスルカ、將來ヲ如何ニスルカト云フコトニ付テハ、財政當局者ヲ殆ド考ヘ及シテ居ラスノデアリマスカラ、此點ニ關シテモ吾々ハ此財政計畫ガ頗ル杜撰デアルト云フコトヲ繰返サナケレバナラヌデアアル、私ハ將來ノ財政ガ頗ル不安定ヲ洵ニ不安心ニ堪ヘナイト云フコトヲ申スタメニ唯今ノ言論ヲ致シタノデアリマス、ツレニ關シテ吾々ガ修正意見ヲ提出シタル其修正案ニ對シテ、私ハ是カラ申上ゲル積リデアリマス、第一ハ減債基金ノ問題デアリマス、唯今三土君ハ今日ノ如キ財政狀態ニ於テハ、殊ニ此減債基金ヲ増加スル必要ガアルト云フ御言葉ガアツタノデアリマス、私ハ其言葉ノ意味ガ少シモ了解ガ出來ナイノデアアル、元來此減債基金ヲ設ケタル最初ノ趣意ニ於テ、元々日本ノ内地ニ於ケル金融市場ヲ緩和シナケレバナラナイ、内債ノ償還ヲ主トシテ桂内閣當時ニ於テ五千万圓償還ト云フ一ノ内規ヲ定メタノ起ツタノデアアル、公債ノ市價ヲ維持シナケレバナラナイ、公債ノ信用ヲ保タナケレバナラナイト云フコトガ、現金五千万圓償還ト云フ所ノ主題トナツテ居タノデアリマス、是ハ政友會ノ諸君モ御認メニナラナケレバナラヌ答デアアル、然ルニ今日ノ如キ日本ノ經濟狀態ニ於テ公債ノ市價ヲ保タナケレバナラヌト云フ言論ヲ弄スル必要ガ何レニアリマス（拍手起ル）公債ノ信用ヲ保持シナケレバナラヌト云フ議論ヲスベキ必要ガ何レニアリマス、寧ロ對外ノ問題トシテ之ヲ考ヘレバ、日本ニ減債基金ノ制度ガアルト云フコトハ、却テ日本帝國ノ不面目ヲ表シテ居ルモノト云ハナケレバナラヌ（拍手起ル）私共ハ——私共ハ公債ヲ償還スルナト論ズル者デアナイ、公債ヲ償還スル必要ガ無イトハ論ジナイ（「シナイ譯ニハイカナイヨ」ト呼フ者アリ）國庫ニ剩餘ノアル場合ニ當ツテハ、事情ノ許ス限り多クノ公債ヲ償還スルコト云フコトハ素ヨリ何等ノ妨ゲハナイノデアリマス、併ナガラ法律ニ於テ規定シタルト同時ニ豫算ニ於テ必ズ此二千万圓ヲ増加シナケレバナラヌト云フ理由ハ、今日ノ狀態ニ於テハ吾々其理由ヲ解スルニ苦ムノデアリマス（拍手起ル）國債貸借ノ關係ハ餘程變化ヲシテ參ツテ居ル、先刻加藤君ノ言ハレタ如ク昨年一昨年ノ狀況ニ照シマスレバ、或ハ此五千万圓ノ還元論ヲ維持シナケレバナラヌ必要ガアツタカハ知ラナイノデアルケレドモ、今日ノ狀態ニ於テハ少シモ此二千万圓ヲ増加シナケレバナラヌト云フ必要ハ感ジナイノデアアル（「ヒヤッ」ト呼フ者アリ）而モ德斯——而モ財政上ニ餘裕ガアルニ當ツテハ外債ヲ償還スルコト云フコトハ、今日ノ狀況ニ於テハ十分ニ出來得ルノデアリマス、此豫算ニ於テ計上セズトモ、政府ハ既ニツレヤツテ居ルデアナイカ、内外債ノ借換ト云フコトニ就テハ種々ノ方法ヲ執ルコトガ出來ル今日ノ情況デアリマスカラ、此豫算ニ於テ何處迄モ此五千万圓還元ノ論ヲ固執スルコト云フニ至ツテハ、私ハ諸君ノ淺見ヲ驚カサルヲ得ナイノデアリマス（拍手起ル）止セヨ「早速老イタリ」ト呼フ者アリ）一方ニ於テハ此五千万圓還元論ヲ主張スル者ガアルト見レバ、先刻申ス如ク大藏大臣ハ何ト云フテ居ル、此將來ノ軍艦製造費ノ財源ヲ求ムルニ當リテハ、或ハ此還元ト云フモノハ實行ガ出來ナイカモ

知ラヌト云フコトヲ明言シテ居ルデハナキカ(拍手起ル)政友會ノ諸君ハ頻リニ還元論ノ御供ヲシテ居ル間ニ、大藏大臣ハ動モスレバ此還元論ヲ打消サントシテ居ルノデアリマス(拍手起ル)私ハ財政上ノ見地ヨリシテ、大藏大臣ノ見識ガ諸君ヨリ一段高イト云フコトヲ此席ニ於テ明言セザルヲ得ナイノデアリマス(拍手起ル)三土君ノ言ハレル如ク種々ノ問題ニ就テ將來ニ財源ヲ要スル事業ハ多クアリマス——多クアリマス、國防ノ問題モアル、或ハ教育費ノ問題モアル、其他緊急ノ事業ト云フモノガ多クアル場合ニ、總テノ財源ヲ確定セシガ爲ニハ、大藏大臣ハ今日デハ計畫ヲ示スコト能ハザルガ如ク、將來ニ於テ其財政計畫ヲ立ツルニ當ツテハ此二千萬圓ノ財源ト云フモノハ(大正六年度ノ豫算ナリ)ト呼フ者アリ(大正七年度以降ニ於テハ頗ル重要ナル財源デアルト云フコトヲ明言シナケレバナラス)(拍手起ル)何ヲ言フデ居ルカ分ラナイヨト呼フ者アリ(三土君ハ此二千萬圓ノ振當ニ就テ吾々ハ二千萬圓ヲ減ジテ其持ツテ行キ所ガ無イノ窮シテ居ルト云フ御話デアアル、總豫算ヲ議スル場合ニ於テハ吾々ハソレニ對シテ一通リノ意見ヲ有ツテ居ルノデアリマス、此追加豫算ヲ議スル場合ニ當ツテハ二千萬圓ノ持ツテ行キ所ガナイト云フ、吾々ハ豫算ノ發案權ガ無イノデアリマス(ヒヤノ)「ソコデ」ト呼フ者アリ豫算ノ發案權ガ無キ爲メニ此追加豫算案ニ就テハ二千萬圓ノ持ツテ行キ所ト云フノハ、即チ此追加豫算案ケノ假ニ——假ニ此二千萬圓ノ處分ヲ政友會ニシテナラヌ、大正七年度ノ豫算ヲ議スルニ當ツテハ、此二千萬圓ノ財源ヲ孰レニ用ヒルカト云フコトハ是ハ今日ニ於テ、之ヲ明言スル限リデハナイ、即チ三土君ガ臨時軍事費ニ向ツテ之ヲ使フト云フ案ノ如キハ、甚ダ姑息デアアルガ如ク論セラレタノデアリマスケレドモ、是ハ吾々ガ將來ノ財政計畫ニ向ツテノ確定的ノ意見デハナイト云フコトヲ御了承ヲ願ヒタイ(モウ宜シイ)「モウ止メタガ宜イヨ」汗ヲ拭イテヤレノ「幾ラデモ」其位分ラナイコトヲ言ハバ言譯ガ立ツ「ノウ」ト呼フ者アリ要スルニ減債基金ヲ還元シナケレバナラヌト云フコトハ、現内閣ヲ組織セラレテ居ル所ノ貴族院議員ノ或ル一部ノ方々ガ、貴族院ニ於テ當テ政爭ノ目的ヲ達センガ爲ニ殊更ニ唱ヘラレタル所ノ議論デアリマス(ヒヤノ)「ト呼ビ拍手起ル」今日ニ於テハ其諸君モ何處マデモ還元論ヲ固執シナケレバナラナイトハ考ヘテ居ラレナイデアラウ、即チ將來ノ財政計畫ヲ立ツルニ當ツテハ或ハ此還元論ヲ打切ルト云フコトモ蓋シ已ムヲ得ズト御考ニナツテ居ルニハ相違ナイト私ハ思フノデアリマス(拍手起ル)吾々ハ一時ノ政爭ノ爲ニ當テ唱ヘタリシ議論ヲ何處マデモ固執シナケレバナラヌトハ考ヘテ居ラス、即チ今日ノ狀況ニ於テ此二千萬圓ヲ他ノ財源ニ用ヒルト云フコトハ、將來ノ財政計畫ニ對シテハ現内閣ノ諸公ト雖モ吾々ノ意見ニ御同意ガアルコト、信ジテ疑ハヌノデアリマス(拍手起ル)既ニ電話ノ擴張費ニ關シマシテハ(止セヨ止セヨ)ト呼フ者アリ(私ハ既ニ午前ノ會ニ於テ私ノ意見ヲ申述ベタノデ御坐イマスルカラ素ヨリ此席ニ於テハ之ヲ略シマス(有難イ)「エライ」ト呼フ者アリ)唯終リニ三土君ハ臨時教育會議ノ費用ニ就テ御一言ニナツタノデアリマス、是ハ委員長ガ御報告ニナリマシタル昨日ノ豫算委員總會ニ於テ堀切君ガ希望ヲ述ベラレテ、其希望ノ一箇條ヲ能ク考慮スレバ、此費用ヲ削減スルト云フ精神ニハ政友會ノ諸君モ或ハ御同意ニナラナケレバナラヌノデアアルマシカ(拍手起ル)從來ノ教育調查會ハ、殆ド何等ノ成績モナク謂ハバ無用ノ長物デアアル、此無用ノ長物デアルト云フコトヲ今日以後ニ於テ繰返スト云フコトハ、諸君ト共ニ

之ニ甘シズルコトガ出來ナイ、私ハ思フ、文部大臣責任ヲ有スルヲ自ラ進ンデ諸種ノ經綸ノ策ヲ立テ、可ナリ、是迄既ニ調查會ガ何等ノ功績ヲ擧ゲナイニ拘ハラズ、再ビ之ヲ繰返シ——組織ハ或ハ多少ノ變更ガアルデ御坐イマセウケレドモ、斯ノ如キモノヲ設ケルト云フコトハ、寧ロ文部大臣自ラノ無責任ヲ表白スルニ止マルノデアッテ、斷ジテ其效果無キコトヲ斷言致スニ躊躇シナイノデアリマス(モウ宜シイ)ト呼フ者アリ)斯ノ如キ理由ヲ以テ私ハ加藤君ノ提出シタル修正案ヲ維持シタイト思フノデアアル、ソレト同時ニ私ガ前半ニ於テ申述ベマシタル財政計畫ノ無責任ナルコト、財政計畫ノ無方針ナルコトハ、私此壇ヲ降ルニ就テ更ニ之ヲ繰返シテ置カナケレバナラヌ點デアアル

(拍手起ル)

○恆松隆慶君 緊急動議ヲ提出致シマス、論旨盡キタリト認メマス、討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 討論終結ノ動議ニ定規ノ贊成ガアリマスカ

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 有リト認メマス、討論終結ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、討論ハ終結ニナリマシタ、採決ノ方法ヲ豫メ申シマス、採決ノ順序ハ鈴木君ノ修正案、次ニ加藤政之助君ノ修正案、即チ修正意見デアリマス、此順序ニ採リマス、但シ鈴木君加藤君ノ修正中同一ノ點、即チ國債整理基金繰入額減少及拓殖局新設ニ伴フ經費ノ修正ヲ先ツ採決致シマス、此採決ハ記名投票ヲ用ヒマス、修正ニ同意ノ諸君ハ白票、反對ノ諸君ハ青票——閉鎖ヲ命ジマス——今一應投票ノ方法ニ付テ宣告ヲ致シマス、贊成ノ諸君ハ白票、反對ノ諸君ハ青票、即チ修正案ニ付テマス

(「分リマシタ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 其修正案ト申スハ鈴木君加藤君ノ修正中同一ノ件、即チ國債整理基金繰入額減少及拓殖局新設ニ伴フ經費ノ修正デアリマス、此修正ニ同意ノ諸君ハ白票、之ニ反對ノ諸君ハ青票

(「分ツタ分ツタ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 氏名點呼ヲ命ジマス

(書記氏名ヲ點呼ス)

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハ無シト認メマス——閉鎖——投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致シマス

(寺田書記官長期讀)

投票總數 三百四十二

可トスル者 百四十三

否トスル者 百九十九

(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 此結果トシテ唯今ノ議ニ付シタル修正意見ハ否決トアリマシタ

(修正意見ヲ可トスル議員ノ氏名左ノ如シ)

井原 百介君	井島 茂作君	磯貝 浩君	今村 七平君
石田 孝吉君	井戸 文四郎君	石川 又八君	井原喜代太郎君
岩佐 善太郎君	原 脩次郎君	半谷 清壽君	早速 整爾君
西 英太郎君	本田 恆之君	戸井 嘉作君	富田 幸次郎君
大森 與三郎君	大津 淳一郎君	尾崎 行雄君	小山 東助君
奥田 柳藏君	岡 辰喜君	互理 胤正君	片岡 直温君
川崎 安之助君	片木 政治郎君	唐端 清太郎君	加藤 政之助君
川村 惇君	川崎 克君	加藤 定吉君	河西 豐太郎君
河野 廣中君	川村 精之君	加治 壽衛吉君	河波 荒次郎君
横山 勝太郎君	横田 孝史君	横山 金太郎君	頼母 水桂吉君
高木 正年君	田中 萬逸君	竹村 良貞君	高田 耘平君
田中 善立君	高橋 久次郎君	武市 彰一君	武富 時敏君
添田 飛雄太郎君	長島 律太郎君	永田 吉右衛門君	長尾 元太郎君
紫安 新九郎君	上村 耕作君	上島 長久君	白田 久内君
黒須 龍太郎君	久須美 東馬君	山口 俊一君	山道 襄一君
山田 珠一君	正木 照藏君	牧口 義短君	松岡 勝太郎君
町田 忠治君	松田 三德君	古屋 慶隆君	降旗 元太郎君
藤澤 幾之輔君	小寺 謙吉君	小林 嘉平治君	小山 松壽君
小池 仁郎君	護得 久朝惟君	荒川 五郎君	齋藤 隆夫君
櫻井 庄平君	坂口 仁二郎君	柵瀬 軍之佐君	齋藤 宇一郎君
櫻井 兵五郎君	佐々木 正藏君	菊池 良一君	行德 健男君
三水 武吉君	箕浦 勝人君	島田 三郎君	下岡 忠治君
日比野 寛君	樋口 秀雄君	平島 松尾君	平山 岩彦君
森田 茂君	森 秀次君	望月 小太郎君	關 和知君
仙石 貢君	鈴置 倉次郎君	杉山 東太郎君	鈴木 富士彌君
今村 勤三君	伊東 知也君	犬養 毅君	犬飼 源太郎君
濱田 國松君	西村 丹次郎君	堀川 美哉君	土井 權大君
大口 喜六君	大堀 孝君	大内 暢三君	渡邊 昭君
柏原 文太郎君	高木 益太郎君	高松 正道君	高戸 郁三君
中川 幸太郎君	中山 梅治郎君	村松 恆一郎君	植原 悦二郎君
野添 宗三君	野口 孝治君	藤井 善助君	古島 一雄君
近藤 達兒君	小橋 藻三衛君	有森 新吉君	湯淺 凡平君
白河 次郎君	望月 長夫君	關 直彦君	今井 嘉幸君
橋本 太吉君	花井 卓藏君	小川 郷太郎君	尾崎 元次郎君

(修正意見ヲ否トスル議員ノ氏名左ノ如シ)

押川 方義君	神谷 卓男君	加瀬 禧逸君	河崎 助太郎君
吉田 羊治郎君	平田 健太郎君	關原 彌里君	
磯部 尙君	今井 今助君	磯野 敬君	岩崎 勳君
井上 敬之助君	石射 文五郎君	伊東 重君	池田 龜治君
井上 角五郎君	一宮 房治郎君	鳩山 一郎君	秦 豐助君
生原 忠右衛門君	八田 宗吉君	原 敬君	板東 勘五郎君
原田 十衛君	萩 亮君	林 爲真君	西村 正則君
西村 種禮君	堀切 善兵衛君	戸狩 權之助君	戸水 寛人君
友枝 梅次郎君	床次 竹二郎君	陣 軍吉君	長田 桃藏君
小山田 信藏君	尾見 濱五郎君	奥村 三樹之助君	大島 久満次君
小川 平吉君	小田 切磐太郎君	奥田 龜造君	小川 藏次郎君
岡崎 邦輔君	奥田 榮之助君	若尾 幾造君	渡邊 陳平君
粕谷 義三君	河上 哲太君	川原 茂輔君	神川 長久君
吉植 庄一郎君	横田 千之助君	米田 穰君	吉原 正隆君
田邊 熊一君	高橋 光威君	高島 順作君	田村 順之助君
龍 正雄君	高橋 嘉太郎君	高橋 辰二君	田中 隆三君
高橋 本吉君	高見 之通君	竹内 明太郎君	土谷 全次君
恆松 隆慶君	根本 正君	中倉 万次郎君	中村 喜平君
鳴海 文四郎君	中橋 德五郎君	中村 啓次郎君	成田 榮信君
中野 寅次郎君	南里 琢一君	長峰 與一君	中西 六三郎君
村野 常右衛門君	武藤 金吉君	漆 昌巖君	鵜澤 總明君
上野 松次郎君	牛田 唯一君	上埜 安太郎君	則元 由庸君
野田 卯太郎君	工藤 善助君	工藤 吉次君	工藤 卓爾君
熊谷 直太郎君	熊谷 五右衛門君	藏内 次郎作君	山本 悌二郎君
八木 逸郎君	柳原 九兵衛君	山内 範造君	山口 恆太郎君
前田 米藏君	牧山 耕藏君	丸山 豐治郎君	丸山 巖藏一郎君
松浦 五兵衛君	政尾 藤吉君	松田 源治君	氣賀 勘重君
福井 三郎君	古谷 久綱君	藤野 正年君	小久保 喜七君
小泉 策太郎君	小林 源藏君	兒玉 亮太郎君	兒玉 好熊君
遠藤 良吉君	江藤 哲藏君	秋本 喜七君	赤尾 彦作君
天春 文衛君	阿部 德三郎君	阿部 武智雄君	赤間 嘉之吉君
東 武君	指田 義雄君	齋藤 安雄君	齋藤 珪次君
齋藤 壽雄君	佐々木 文一君	澤來 太郎君	齋藤 紀一君
榊田 清兵衛君	水村 政次郎君	三輪 市太郎君	南澤 宇忠治君
三土 忠造君	清水 市太郎君	島田 俊雄君	白石 直治君
志々目 藤彦君	廣岡 宇一郎君	匹田 銳吉君	廣瀬 鎮之君

附則
本法ハ大正六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス
(高木益太郎君登壇)

百瀬 清治君 望月 圭介君 毛里 保太郎君 森田 正路君
元田 肇君 關矢 儀八君 清 峯 太郎君 鈴木 錠藏君
諏訪部庄左衛門君 菅野傳右衛門君 隅田 豐吉君 石川 玄三君
石黒 函一郎君 飯田 精一君 林 平四郎君 堀尾 茂助君
富田 暢夫君 大林 森次郎君 大藪 房次郎君 若尾 璋八君
金杉 英五郎君 我如古樂一郎君 吉村 鐵之助君 横井 藤四郎君
吉田 中君 吉田三郎右衛門君 田島 達策君 津田 毅一君
土屋 清三郎君 佃 安之丞君 頭本 元貞君 中川 隣之輔君
中村 靜興君 山根 正次君 松本 剛吉君 松本 誠之君
松井 文太郎君 松浦 與三郎君 福田 辰五郎君 古川 清君
小鹽八郎右衛門君 兒玉 右二君 近藤 慶一君 秋田 寅之介君
秋田 清君 坂本 金彌君 佐々木平次郎君 北井 波治目君
美禰 龍彦君 白井 新太郎君 肥田 景之君 森本 是一郎君
林 毅 陸君 尾崎 敬義君 金澤 仁作君 河野 徹志君
津末 良介君 上田 彌兵衛君 白井 哲夫君 松島 肇君
松永安左衛門君 北田 豐三郎君 木下 謙次郎君
○議長(大岡育造君) 此以外ニ鈴木君ノ修正全部ニ付テ採決ヲ致シマス、鈴木君ノ修正ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
起立者 少數
○議長(大岡育造君) 少數ト認メマス、依テ否決サレマシタ、其次ニ少數者ノ意見全部ニ付テ採決ヲ致シマス、少數意見ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
(分ヲヌノ「ト呼フ者アリ」)
起立者 少數
○議長(大岡育造君) 少數意見ノ提出ガアリマス、即チ名テ言ヘバ加藤君ノ案デアリマス、之ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
起立者 少數
○議長(大岡育造君) 少數デアリマス、否決サレマシタ、總テ少數ヲ否決ニナリマシタニ付テ、次ニ原案ニ付テ採決ヲ致シマス、豫算案全部ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
起立者 多數
○議長(大岡育造君) 大多數(拍手起ル)依テ原案ノ通りニ決定致シマス、是ニ於テ追加豫算第一號乃至第四號、特第一號乃至第三號、外三件ハ全部可決確定シタルコトヲ告ゲマス(拍手起ル)次ハ日程第四十二、通行税法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——高木益太郎君

第四十二 通行税法中改正法律案(高木益太郎君外 第一讀會 二名提出)

通行税法中改正法律案
通行税法中左ノ通改正ス

第一條第一項ニ左ノ但書ヲ加ヘ第四號ヲ削ル
但シ五十哩又ハ五十海里未滿ハ通行税ヲ課セス

議會ニ於テハ此通行税ノ全廢ヲ唱ヘラレタト云フコトハ議事録ノ證明スル所デアリマス、又政黨以外ニ於テモ商業會議所、實業聯合會等ニ於テモ甚ダシク之ヲ主張シテ居ルト云フ事ハ國民全體ノ記憶シテ居ル所デアリマス、又政府側ニ於テモ第二十六議會、即チ桂内閣ノ當時、或ハ地租ニ付テ前後二回ニ八厘ト二厘ト合セテ一步ノ減稅ヲ爲シ、營業稅ニ付テ殆ド二分ノ一ノ減稅ヲ爲シ、所得稅ニ於テ六百萬圓ノ減稅ヲ爲シ、其外專賣代金ノ引下等ヲ爲シテ、各種ノ稅ニ向テ多少ノ減稅ガアッタデアリマシ、レドモ、單行通行稅ニ付テハ何等ノ減稅ト云フモノヲ見ナカッタデアリマス、甚ダ残念ナル次第デアル、併ナガラ政府ノ意見ハドウデアッタカト云フト、第二十六議會、桂内閣ノ當時市又ハ市ニ準スベキ區域、其外二箇ノ場合ニ於テ、通行稅ヲ廢スルト云フ提案ガアッタト云フトハ明白ナル次第デアリマス、此提案ニハ現總理大臣タル所ノ寺内伯竝ニ大藏大臣タル所ノ勝田氏ガ共ニ參與セラレタト云フトハ、國民全體ノ記憶ニ存スル所デアル、政治家ハ苟モ言責ヲ負フ以上ハ斯ノ如クニ市又ハ市ニ準スベキ區域、又ハ其外二箇ノ場合ニ於テ通行稅ヲ廢スルト云フ案ヲ、桂内閣ノ當時提出セラレタル其政治家ガ現内閣ニ居ラル、以上ハ、自己ノ宣言ノ斷行ニ盡力セラル、ト云コトハ、固ヨリ當然ノ次第ト存シマス、又大正三年山本内閣ノ當時ニ於キマシテモ、政友會ヨリ提出ニ係ル所ノ學生勞動者兵卒等ニ對シテ特典ヲ與フルト云フトノ提案ガアリマシタ、此提案ニ付テモ現大藏大臣タル所ノ勝田君ハ確ニ參與セラレタルハ疑ナコトデアリマス、即チ減稅計畫ノ緩急大小ノ點ニ於テコソ、政府ト在野黨トノ間ニ多少異同ハアリマシケレドモ、此通行稅ト云フモノヲ減稅スルト云フトニ付テハ一人ノ反對スル者モ無イノデアリマス、今日ノ時代ハ國家ノ富源ヲ最も有効ニ利用シテ、人間ノ勞力ノ能率ヲ極度迄ニ發展スル必要ガアル、先進國ノ都市ニナルト、僅カ一町カ二町ノ所ヲ電車ニ飛乗リ飛降りラスルト云フ有様デアルノニ、我國ニ於テハ通行稅ノ高イ爲ニ、比較的長イ區間デナケレバ乗ル者カ少ナイト云フトハ、我日本國發展ノ上ニ於テ非常ナ不都合ヲ生ズルモノデアルト信ジマス、現ニ其證據ハ此間東京市ニ於テ一錢電車賃ヲ上ゲタ結果ハドウデアルカト云フト、二分五厘ノ乗客ヲ減シテ居ルト云フトハ、此論ヲ確ル所ノ有力ナル證據デアルト存ジマス、斯ノ如キ次第デアリマシテ、而シテ此通行稅ヲ廢スル財源如何ト云フトニ付テハ、本員カラ豫算委員會ニ於テ詳細陳述シテアルコトデアリマスカラ、此壇上ニ於テハ之ヲ略シマス、ドウゾ本案ハ最も細民ノ苦痛ヲ想フル所ノモノデアリマスカラ、全會一致ヲ以テ御可決ノ上、之ガ實行ノ日ノ近カラシコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス(拍手起ル)

○恆松隆慶君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 異議ナキモノト認メマス、恆松君ノ動議ノ如ク決シマシタ
日程第四十三、東方調查局設置ニ關スル建議案、伊東知也君

第四十三 東方調查局設置ニ關スル建議案(伊東知也君提出)
東方調查局設置ニ關スル建議案

東方調查局設置ニ關スル建議

東方ノ國情調査ニ關スル特別機關ヲ設ケ在朝在野ヲ問ハス廣ク其ノ事情ニ精通セ
ル人士ヲ集メ完全ナル調査機關ヲ設ケ以テ我カ國對東方政策ノ根柢ヲ確立セム
トヲ望ム

右建議ス

(伊東知也君登壇)

(拍手起ル)

○伊東知也君 本案ハ是マデ幾回トナク提出致シマシテ、常ニ滿場一致ヲ以テ通過シ
テ居ル案デアリマス、詳シク説明スル必要ハ認メマセヌ、唯茲ニ揭ゲテアリマスル通
リ、東方ノ事情ヲ調査スル特別ノ機關ヲ設クルト云フ趣意デアリマス、私ガ初メテ本案ヲ
出シマシタノハ、大正元年ノ議會デアルト思ッテ居リマスガ、ソレ以來東方ノ中ノ支那ノ
事情ノ如キハ常ニ變化ヲシテ居ル、而シテ之ニ對スル我當局ノ設備、或ハ措置、又民間
有志家ノ之ニ對スル研究等ノ如キモノモ、甚ダ要領ヲ得テ居ラヌ、現ニ諸君御承知ノ
通り、此間來所謂野黨ト申シマセウカ、民間黨ト政府當局者トノ間ニ、支那問題ニ關
シテ色々ノ言議ヲセラレマシタガ、恰モ是レ群盲象ヲ摩スルノ形デアリマス、何處ガ手デア
ルカ或ハ何處ガ耳デアルカ、耳ニ觸ツ者ハ或ハ笠ノヤウデアルト云ヒ、足ヲ押ヘタ者ハ稗
ノヤウデアルト云ッテ居ル有様デ、殆ド支那ノ真相ハ御分リニナラヌト評シタイト私ハ思フ
ノデアル、ドウシテモ此點カラ見マシテモ、今日ノ千載一遇ノ機會、國家百年ノ大計ノ岐
ル、際ニ方ッテハ、私ノ多年主張スル此位ノ機關ハ今日ハ焦眉ノ急ニ迫ッテ居ルト云ッ
宜シイノデアリマス、而モ僅カバカリノ金デアル、今度ノ外交調査會ハ雲ノ上ニ議論ヲサ
レルサウデアルガ、私ノハモット適切ニ誰デモ宜シイ、免モ角モ東方ノ事情ニ精通シタ者
ハ皆集ッテ、雲ノ上デナク人間ノ的ニモット研究シヤウト云フノデアリマス(贊成「贊成」ト
呼フ者アリ)願クハドウゾ詳細ニ事ヲ述ベマシラベシアリマス、モウ皆様ガ年來
御分リノ事デアリマスカラ簡單ニシテ措キマスガ、ドウゾ此度ハ滿場一致ヲ以テ可決下
サルノミナラズ、政府ヲ督勵シテ是非トモ實行ノ出來ルヤウニ御盡力ヲ願ヒマス(拍手起
ル)

○恆松隆慶君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 異議ナキモノト認メマス依テ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付
託スルコトニ決シマシタ
日程第四十四、單科大學令發布ニ關スル建議案ヲ議題ト
致シマス、八木逸郎君

第四十四 單科大學令發布ニ關スル建議案(八木逸郎君提
出)

單科大學令發布ニ關スル建議案

單科大學令發布ニ關スル建議
我カ國ニ於テ單科大學ヲ認ムルハ百利アリテ一害ナシ是レ數年前以來學者政治家

實業家ノ一致セル輿論タリ而シテ將來官公私立高等教育機關促進上必要ナルノミナラス現在ニ於テ已ニ大ナル支障ニ遭遇セル事實アリ政府ハ宜シク單科大學令ヲ發布シ其ノ促進ヲ圖ルヘシ

右建議ス

(八木逸郎君登壇)

(拍手起ル)

○八木逸郎君 單科大學令發布ニ關スル建議案ニ付テ其趣旨ヲ述ベタイト存シマス、我國ニ於キマシテ今日認メテ居リマスルハ、唯タ一ノ綜合大學アルノミデアアルデアリマス、而シテ綜合大學ヲ支配スル法規ハ、一ノ帝國大學令アルノミデアアルデアリマス、此帝國大學令ハ明治十九年前後ト思フ居リマスガ、森文相ノ時代ニ於テ東校ト稱セラル、所ノ東京醫學部、南校ト稱セラル、所ノ法理文ノ二學部、霞ヶ關ニ在ル工部大學、駒場ニ在ル農學部、此六種類ヲ寄セテ一ノ帝國大學ヲ稱ヘラレタデアリマス、帝國大學令ノ第二條ニハ、大學院及分科大學ヲ以テ構成スル書イテアル、而シテ第九條ニ於テハ大學ハ法科大學、醫科大學、理科大學、工科大學、文科大學、農科大學ノ六分科ト規定シテアルデアリマス、無論其當時ニ於キマシテハ、學級ノ生徒數ハ多クテ二十人、少ナクハ一二人、理科文科ノ如キ學級ニ於テハ、全ク生徒ガ無カッタ學級ガアッタデアリマス、故ニ其當時ノ政治家、其當時ノ教育家ハ、近キ未來ニ於テ更ニ大學ナルモノ、起ルコトヲ夢ニモ認メナカッタデアリマス、一ノ帝國大學ヲ以テ高等教育ハ日本ニ充テサレテ居ルト考ヘタノモ道理デアリマスルガ、日清戰爭後ニ於テ教育ノ勃興ノ結果、京都大學ヲ起スコトニナッタデアリマス、而シテ其際ニ於キマシテ私ハ文章ニ依リ、若クハ當局者ニ依ッテ、今ノ帝國大學令ヲ支配セラル、時ニハ、必要ナル大學ヲ多ク持ヘルコトヲ抑制シ、需要ノ少ナク大學ヲ多ク持ヘルコトヲ弊ニ陷ルカラ、單科大學ヲ認メルカ、然ラズンバ帝國大學令ノ改正ヲ要スルト云フコトヲ申シタデアリマスガ、差詰メ京都帝國大學ヲ持ヘル場合ニ於キマシテ、第九條ノ帝國大學令ニ觸リマスカラ、勅令ノ上ニ勅令ヲ出シテ、京都帝國大學ハ帝國大學令第九條ニ依ラズシテ、法科、醫科、工科、理科、文科ノ五分科大學トスト勅令ニ加ヘタデアリマス、其後ニ於キマシテ九州福岡ニ醫科大學ヲ起ス必要ガ起ッテ來タ、併ナガラ唯タ一ノ醫科大學デアアル、帝國大學令ヲ支配スルコトハ出來ヌト云フ結果デ、京都帝國大學、福岡醫科大學ト云フヤウナ妙ナ名ニ依ッテ之ヲ支配シタデアリマス、明治四十年ニ於キマシテ、福岡ニ工科大學、仙臺ニ理科大學ノ案ガ通過致シマシテ、其場合ニ工科大學ト醫科大學ヲ併セテ九州帝國大學ト爲シ、仙臺ニ於ケル理科大學ニ百里ヲ隔ツタ札幌ノ農學校ヲ大學ニ進メテ、東北帝國大學ト云フ名ヲ附シタデアリマス、而シテ尙ホ帝國大學令ニ合ハナイカラ、文科大學及學科ハ文部大臣追テ之ヲ定ムト云ツタヤウナ、勅令ニ勅令ヲ加ヘタデアリマス、其前後ニ於キマシテ大阪府立ノ醫學學校ハ專門學校ノ資格デアリマス、即チ中學校卒業若クハ是ト同等以上ノ者ヲ收容スルト云フコトヲ、大阪ノ公立ノ醫學學校ハ單科大學ヲ認メテ賞ヒタサニ豫科ヲ二年其上ニ置イタデアリマス、而シテ單科大學タラムコトヲ文部省ニ稟請シタ所ガ、文部省ハ肯カナイ、肯カナイ結果色々交渉シテ大阪高等醫學學校ト云フ名ヲ附シ、而シテ專門學校ノ卒業生ハ得業士ト云フ稱號

ヲ與ヘテ居ッタノニ、大阪ニ對シテハ大阪醫學士ト云フ稱號ヲ與ヘルコトニシタデアリマス、然後ニ各專門學校ハ亦之ニ均霑セムコトヲ欲シテ、茲ニ岡山醫學士、長崎醫學士、金澤醫學士、千葉醫學士、仙臺醫學士ト云フヤウナ妙ナ醫學士ノ稱號ガ許サレタデアリマス、進ンデ公立私立ノ各專門學校ハ京都醫學士、名古屋醫學士、慈惠醫學士ト云フ様ナ稱號ヲ許シタデアリマス、其後ニ於テ大阪ノ高等醫學學校ガ更ニ一步ヲ進メテ二年ノ豫科ヲ二年ニシテ而シテ本科ノ充實ヲ圖ッテ醫科大學ト同等ノモノト看做シテ吳レト云フコトヲ文部省ニ追ッタデアリマス、文部省ハ青山醫科大學長ニ命ジテ彼ノ本科ノ内容ノ充實ヲ認メシメ、内容ガ充實デアルト云フ報告ヲ得、而シテ其豫科ハ高等學校ト同一ノ三年ノ豫科ヲ置イテ居ルノデアアルカラ、ドウシテモ大學ト同等以上ト看做サナケレバナラヌコトニナッタデアリマス、此ニ於テ文部省ト大阪府知事ト文書ノ交換ニ依テ必ズ許スト云フ約束ガ出來マシタガ、單科大學令ノ無イガ爲ニ之ヲ許スコトガ出來ヌ、其時代ニ於キマシテ丁度文相ガ奥田君デアリマシテ、奥田文相ハ二三箇月ヲ待テバ教育調查會ニ於テ單科大學令ガ認メラレカラ、ウレ迄許スヲ待ッテ吳レト云ッテ待テ居ッタデアリマス、然ルニ山本内閣ガ潰レテ而シテ一木博士ガ文相ニナラレタデアリマス、サウシテ一木博士ハ文相トシテ單科大學——帝國大學令ハ其儘ニシテ置イテ、更ニ單純ナル單科大學令ヲ發布ヲ教育調查會ニ諮リマシタ、所ガ年限短縮若クハ學制改革ナド、混合シマシテ、其案モ教育調查會デハ有耶無耶ニナッテ仕舞ッタ、一面ニ於テハ大阪醫學學校ノ生徒ハ特約ガアルカラ二年ノ豫科ヲ履ンデ卒業ニ垂ントシテ居ッタデアリマス、而シテ垂ントシテ大阪醫科大學ト云フコトヲ認メラレナイ、及ビ單純ナル醫學士ト云フ稱號ヲ貰フコトモ出來ナイト云ッテ大ニ迫ッタ結果、文部省ト非常ニ折衝シテ變則ノ殆ド異例ナル所ノ專門學校令ニ依ッテ大阪醫科大學ト云フ名前ヲ許シ、醫學士ト云フ稱號ヲ與ヘルコトニシタデアリマス、現在ニ於テ官設ノ大學ト同一程度ノモノニ向ッテ其取締ヲ專門學校ヲ取締リ、而シテ專門學校令ニ依テ許スコトニナリ、昨年慶應醫科大學ガ許サレタノモ亦此例ニ依テ、專門學校令ニ依テ許サレタデアリマス、斯ノ如ク現在ニ於テ唯一ノ單科大學令無キガ爲ニ支障ヲ來タシテ居ルデアリマス、而シテ未來ニ於キマシテハ日本ノ富豪ガ此節教育ニ向ッテ頗ル義捐ヲスル景況ニナッテ來マシテ、吾々國家ノ爲ニ非常ニ喜ブデアリマスガ、若シ一八若クハ數人ニ於テ高等教育ヲ全部引受ケテ持ヘルト云フヤウナガアッテ、此人ガ文部省ニ相談シ若クハ大學ノ教授ニ相談シタ場合ニ於テ、單科大學令ノ無キガ爲ニ遂ニ此希望ヲ滿タサヌト云フヤウナコトガ起ルカモ期シ難イデアリマス、更ニ最モ必要ナルノハ、外ノ學科ハ免ニ角、醫學ハ未來ニ於テドウシテモ統一シナケレバナラヌデアリマス、醫育統一ハ明治四十一年ニ於テ私ガ建議ヲシテ本會デ滿場一致決ニナリ、其理想ハ文部省ニ於テモ認メテ此醫育統一ヲ漸次圖ルト云フコトヲ聲明致シテ居ルデアリマス、歐羅巴諸國ニ於テモ、日本ノ如キ國家ガ醫者ヲ持ヘルノニ上王侯ヨリ下庶人ニ至ル迄人間トシテハ變リガ無イ、而シテ人間ノ侵サレル病氣ニ變リガナイノニ、違ッタ醫者ヲ持ヘルト云フコトハ爲スベカラザルコトデアアル(贊成)ト呼フ者アリ、徳川時代ニ於テ漢方醫カラ實驗醫學ヲヤラナケレバナラヌ爲メニ七色モ八色モ醫者ヲ持ヘタノハ已マラ得マセヌガ、現在ハ醫者ノ死ヌコトガ八百人、而シテ醫者ノ出來ルコトガ千

四五百人ニナリテ居リマスカラ、今日ニ於テ醫育ノ統一ヲ圖ルト云フコトハ容易ナ譯デア
リマス、而シテ最モ容易ナルノハ現ニ各醫學專門學校ヲ一ツ宛デモ醫科大學ニ入レルト
云フコトニナリタラバ、八年若クハ十年ニシテ此醫育統一ノ目的ガ遂ゲラレルノデアリマ
ス、唯遂ゲラレルノニ、若シ茲ニ岡山若クハ新潟ニ於テ醫科大學ニ變ヘヤウト云フ場合
ニ於テ、又先般ノ如ク東京帝國大學新瀉醫科大學ト云ッタヤウナ、變テ名ヲ附セナケレ
バナラヌト云フヤウナ窮困ナ羽目ニナルノデアリマス、而シテ單科大學ヲ認メルト何ノ弊ガ
アルカ、更ニ弊ハ一ツモ無イノデアリマス、教育調査會ニ於テモ聞ク處ニ依リマレバ、單科
大學ハ誰モ餘リ此言ヲ言フテ居ル人ガナイト云フコトデアリマス、唯外ノ厄介ナ錯雜シタ
モノノ爲メニ妨ゲラレテ居ルノデアリマスカラ、此單純ナル單科大學令ヲ教育調査會員ニ
遠慮シナイテ早ク出シテ、此解決ヲ爲サルコトガ當然デハナイカト思フノデアリマス(簡
單々々)ト呼フ者アリ唯現在ノ文相岡田君ハ、小松原文相ノ時代ニ次官デアッタ時ニ
ハ非常ナ綜合論者デアリマシテ、單科ヲ認メルコトニ反對サレタノデアリマス、此議會ニ於
キマシテモ、佛蘭西ガ單科大學制デアッタノヲ綜合大學制ニシテカラ大變良クナッデ居ル
ト云フコトヲ言ハレタノデアリマスガ、私が佛蘭西ニ於テ聞キマシタ所ニ依リマスルト、單科
大學ヲ綜合大學ニスルト云フコトニ向テ(簡單々々)ト呼フ者アリ錯雜デ閉口シテ居
ルト云フコトヲ聞イタノデアリマス、其見方ハ色々違フト致シマシテモ、佛蘭西ガ變ヘタノ
ハ、獨逸ガ綜合大學デ——獨逸ノ文運ノ隆盛ニナッダノハ綜合大學ガ大ナル力有リト
シテツレヲ眞似タノデアリマスガ、其獨逸ノ綜合大學ハ綜合大學ニナラナケレバナラヌ歴
史ガアッデシタノデアリマシテ、單科大學可ナリヤ、綜合大學可ナリヤト云フコトノ論ニ於
テ探究シテ起ツタノデハナイノデアリマス(贊成)ト呼フ者アリ笑聲起ル御承知ノ通り各
聯邦ノ經費——一大學ヲ拵ヘタノデ其處ヘ附加ヘテ色々ナ大學ヲ加ヘタノガ、今日ヲ
成シタト云フノガ綜合大學ノ歴史デアリマス、右様ナ次第デアリマシテ、而シテ其外ニハ
反對ノ理由ガナイ、有レバ此單科大學ニ向テ博士號ノ檢定權ヲ與ヘナケレバナラヌト
云フト、博士ヲ馬鹿ニ出スト云フノデアル、而シテ今綜合大學ニシテモ論文ヲ出セバ醫
學ノ論文ハ法科ノ理科ニ見セナイデ、矢張醫學ノ教授連ガ檢定スル、民間ノ單科大
學ニ於テモ亦左様ニシテ宜イノデアル、民間ノ教授ハ卑シイ事ヲスルト云フヤウナ卑劣
教授ナラバ、文部省ハ監督權ヲ以テ此教授ヲ罷メサセルガ宜シイ、又學者ガ左様ナ卑
劣ナ行動ヲ執ルトハ認メラレヌノデアリマス、博士ノ簇生スルコトハ國家ノ爲ニ喜ブベキ
事デアルノデアル、故ニ單科大學令ヲ認メテ、サウシテ博士ノ檢定審査ノ權ヲ與ヘテ、
此單科大學ノ施設ヲ容易ナラシメルト云フコトハ、目下ノ教育界ニ於テ非常ニ急務ナ
リト感ジマシテ、此單科令ノ發布ヲ促シタ所以デアリマスカラ、ドウゾ御賛成ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス

(拍手起ル)

○恆松隆慶君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレムコトノ動議ヲ提出シマス
○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ異議アリマセヌカ

(異議ナシ)「ト呼フ者アリ」

○議長(大岡育造君) 異議ガナケレバ議長指名九名ノ委員ニ本案ハ付託スルコトニ
決シマシタ、此場合報告ガアリマス

(書記朗讀)
一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
決議案
提出者 森田 茂君 齋藤 隆夫君 古屋 慶隆君
漁港避難港修築國庫補助法制定ニ關スル建議案
提出者 高島 順作君 成田 榮信君 奥田 龜造君
一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ
臨時外交調査委員會設置ニ關スル質問主意書
提出者 石黑 涵一郎君 金杉 英五郎君 頭本 元貞君
山根 正次君 肥田 景之君

○議長(大岡育造君) 次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ散
會
午後四時四十一分散會

衆議院議事速記録第六號中正誤

頁	段	誤	正
一一	上	學術的論文デ	學術的論文デハナイガ